

ChatGPT

Gemini

Claude

生成AIプロンプト エンジニア検定

[改訂版]2025年度版

公式テキスト&問題集

生成AIプロンプト研究所
チャプロ

*Generative AI
Prompt Engineer
Certification*

生成AIを
使いこなすための
最適な1冊!

最新の知識を盛り込んだ
アップデート改訂版!

検定受講料込み

はじめに

この度は、「生成AIプロンプトエンジニア検定公式テキスト＆問題集 改訂版」をお手に取っていただき、誠にありがとうございます。初版発行以来、生成AIを取り巻く環境は劇的な変化を遂げ、その進化のスピードは私たちの予想をはるかに超えています。この改訂版では、最新の知識と技術を皆様にお届けするため、全面的な見直しを行いました。

生成AIは今や、あらゆる産業、職種で活用される「社会のインフラ」となりつつあります。この変化の中で、生成AIを効果的に活用し、新たな価値を創造できる人材へのニーズは、ますます高まっています。

本書は、生成AIのスペシャリストである「プロンプトエンジニア」を養成するための、包括的で実践的な学習ガイドです。初版で高く評価された「プロンプト8+1の公式」はそのままだに、最新の生成AIツールの情報や活用事例を大幅に拡充しました。

なぜ今、プロンプトエンジニアリングなのか？

AI技術、特に生成AIの進化は、私たちの働き方、学び方、創造のあり方そのものを根底から変えようとしています。文章、画像、音声、動画、音楽など、あらゆるコンテンツをAIが自動生成する時代において、AIに「何を」「どのように」生成させるかを指示する能力、すなわちプロンプトエンジニアリングの重要性はますます高まっています。

本書で身につく能力

- ① 文章生成AIから画像、音声、映像、音楽生成AIまで、幅広い生成AIツールの特徴と活用方法を学べます。目的に応じて最適なツールを選択し、効果的に活用するための知識を習得できます。
- ② 本書独自のフレームワーク「プロンプト8+1の公式」により、AIへの指示を構成する9つの要素を明確に理解し、思い通りのアウトプットを安定して引き出せるようになります。
- ③ ビジネスシーンや創作活動を想定した問題演習を通じて、実践的な問題解決能力を養うことができます。
- ④ 生成AIプロンプトエンジニア検定の合格を通じて、生成AIの専門家としてのキャリアを切り拓くことができます。

プロンプトエンジニアの未来

プロンプトエンジニアは、生成AI時代をリードする将来性のある職業です。企業は、プロンプトエンジニアのスキルを活用して、業務効率化、新製品・サービスの開発、マーケティング戦略の革新などを実現し、競争優位性を確立することが期待されます。

生成AIは、私たちの未来を大きく変える可能性を秘めています。その力を真に引き出し、社会に貢献するためには、高度な知識と実践的なスキル、そしてAIと協働する「人間力」が不可欠です。

本書が、生成AIの力をあなたの力に変え、あなたの未来を輝かせるための一助となることを願っています。

生成AIプロンプト研究所「チャプロ」

2025年2月

はじめに	2
------------	---

第 1 章

生成AIとは何か？

1-1 生成AIとは何か？	8
1-2 主要な文章生成AI	10
1-3 主要な画像生成AI	16
1-4 主要な音声生成AI	25
1-5 主要な映像生成AI	28
1-6 音楽生成AI	36
1-7 対話型検索AI	42
1-8 生成AIの進歩	48
1-9 プロンプトエンジニアリングの重要性	50

第 2 章

生成AIでできること

2 生成AIでできること	54
--------------------	----

第 3 章

プロンプト8+1の公式

3-1 プロンプト8+1の全体像を説明	64
3-2 前提条件(羅針盤をセット!)	69
3-3 ペルソナ設定(キャラ設定で共感を呼ぶ!)	71
3-4 参考情報(道しるべを与える!)	78
3-5 名詞+動詞(行動を命令!)	81
3-6 形容詞+副詞(魔法の言葉で彩る!)	86
3-7 出力形式(形を整える!)	89
3-8 出力フォーマット(お手本を見せる!)	92
3-9 文体指定	96
3-10 追加指示(+1:さらなる高みを目指して)	103
3-11 「8+1の公式」について	108

第 4 章

プロンプト応用編

4-1 変数を使うプロンプト技術	112
4-2 生成AIを段階的に使うメリット	117
4-3 初期入力値の参考情報の重要性	120

第 5 章

プロンプト8+1の記載方法

- 5-1 #を使った段落分け 126
- 5-2 2種類の変数を使う 127
- 5-3 補足の重要性 129

問題編

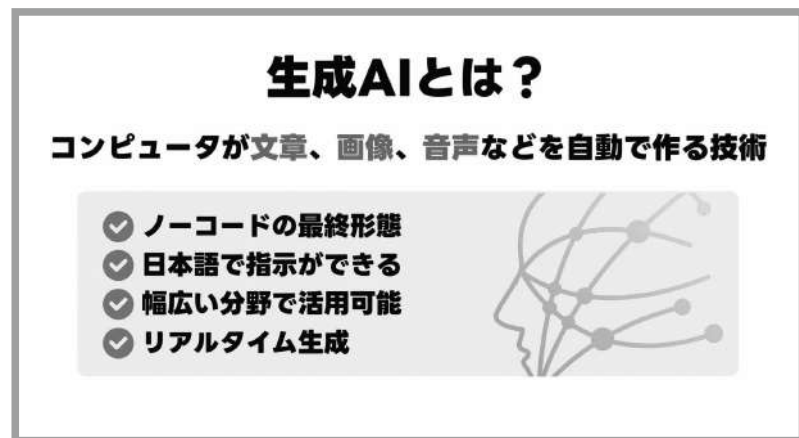
- 第1章 生成AIとは何か？ 問題 132
- 第2章 生成AIでできること 問題 154
- 第3章 プロンプト8+1の公式 問題 170
- 第4章 プロンプト応用編 問題 196
- 第5章 プロンプト8+1の記載方法 問題 206

第 1 章

生成AIとは何か？



1-1 生成AIとは何か？



生成AI (Generative AI) は、既存のデータや情報を学習し、新たなテキスト、画像、音声、動画などのデジタルコンテンツを生成する人工知能技術です。従来のAIが主にデータ分析や予測に用いられていたのに対し、生成AIは創造的なタスクを実行し、人間の創作活動を支援・代替できる点が特徴です。

日本語での指示によるコンテンツ生成

従来のソフトウェアは、ユーザーが特定の操作手順やコマンドを理解し、それに従って操作する必要がありました。専門的な知識やスキルが求められ、初心者にはハードルが高いものでした。しかし、生成AIの登場により、その状況は劇的に変化しました。

Word、Excel、Photoshopが自我を持った

従来のソフトウェアであるWord、Excel、Photoshopなどは、ユーザーが明確な指示や操作手順を実行することで目的の結果を

得るものでした。しかし、生成AIの技術革新により、これらのソフトウェアがまるで自我を持ったかのようにユーザーの意図を理解し、自発的に最適なコンテンツを生成できるようになりました。

例えば、Wordにおいては、「営業部向けのプレゼン資料を作成してほしい」といった抽象的な指示でも、生成AIが過去のデータや一般的なビジネス文書のパターンを学習しているため、適切な構成や内容の資料を自動的に作成します。Excelでは、「売上データを分析して今後のトレンドを予測してほしい」と依頼すれば、複雑な数式や関数を駆使してデータ分析を行い、視覚的に分かりやすいグラフやチャートを生成します。Photoshopでも、「夕焼けの海辺で佇む人物のイラストを描いて」といった要望に応じて、高品質な画像を瞬時に作成します。

ChatGPT

■ChatGPTとは

ChatGPTは、OpenAIが開発した対話型AIで、生成AIの象徴的存在として広く利用されています。文章作成、学習支援、プログラミングの補助など、幅広いタスクに対応する「万能AIアシスタント」として注目されています。

テキスト、音声、画像に対応したマルチモーダル機能を備え、DALL-Eによる画像生成やPythonを活用したデータ分析も可能です。また、音声対話やリアルタイム検索機能を通じて、自然で効率的なコミュニケーションを提供します。その柔軟性と多用途性から、個人から企業まで幅広い場面で活用されています。

■モデルの進化と最新モデル「o1」

ChatGPTは、リリース以来、各バージョンで着実に性能を向上させてきました。2022年に登場したGPT-3.5は、自然な対話と高い汎用性を提供し、対話型AIとしての基盤を築きました。2023年にはGPT-4が登場し、文章理解能力と生成能力が向上したことで、より専門的なタスクにも対応可能となりました。

2024年に登場したGPT-4o (Omni) は、音声や画像を含むマルチモーダル対応が可能となり、音声認識や画像解析の精度向上に加え、DALL-Eとの連携による画像生成やPythonを利用した複雑なデータ分析機能が搭載されました。

さらに、2024年9月にリリースされた最新モデル「o1」は、複雑な推論能力や理数系の問題解決に特化しています。内部で「推

論トークン」を用いた緻密な思考プロセスを実行することで、数学やプログラミングの分野で専門家レベルの応答を可能にしました。o1モデルは、安全性の向上も図られており、プロンプトインジェクションなどの攻撃への耐性を強化しています。また、処理効率を重視した軽量版「o1-mini」も提供されており、用途に応じた柔軟な選択が可能です。

■GPTs機能 (Custom GPTs)

GPTs (Custom GPTs) は、ChatGPTをカスタマイズして特定の用途に特化したAIを作成できる機能です。プログラミングの知識がなくても簡単に独自のAIアシスタントを作成でき、様々な分野で活用されています。例えば、社内資料を活用した業務特化型ツールや、企業の製品やサービスに特化した顧客対応チャットボットの構築が可能です。また、個人プロジェクトにおいても、翻訳や文章校正、データ整理など特定のタスクを効率化するアシスタントとして利用されています。

作成したGPTsは、個人利用だけでなく、チームで共有したり、他のユーザーと公開して利用することも可能です。この機能は、ユーザーの個別ニーズに応じた柔軟な対応を可能にします。

■料金プラン

●無料版

- ・利用可能モデル：GPT-4oおよびGPT-4o miniが使用可能。
- ・制限事項：質問回数や高度な機能（データ分析、画像生成、Webブラウジングなど）の利用に制限あり。

●有料版 (Proプラン)

- ・料金：月額20ドル。
- ・利用可能モデル：GPT-4、GPT-4o、o1がフルアクセス可能。

・ **主な特典**：データ分析、画像生成、Webブラウジングなどの高度な機能が十分に使用可能。高速応答や新機能への早期アクセスが提供され、さらに GPTs (カスタムGPT) の作成も可能

Gemini

■Geminiとは

Googleが開発した次世代の生成AIで、テキスト、画像、音声、動画など多様なデータ形式を処理・生成できるマルチモーダルAIモデルです。自然言語処理や画像認識などの高度な技術を活用し、ユーザーとの対話を通じて様々なタスクをサポートします。特にGoogleサービスとの緊密な連携により、日常的なタスクから専門的な作業まで幅広く対応できる点が特徴です。

■マルチモーダル機能と高度な統合

Geminiの最大の特徴は、その優れたマルチモーダル対応能力です。テキストだけでなく、画像、音声、動画など様々な形式のデータを処理・生成できます。特に Googleサービス (Gmail、Googleマップ、YouTube) との緊密な連携により、メール作成や経路検索、コンテンツ管理などを効率的に行えます。画像生成機能では、詳細なプロンプトによって様々なスタイルの画像を作成でき、創造的な作業をサポートします。

■カスタマイズ性とGems機能

Gemini Advancedユーザー向けに提供される「Gems」は、ユーザー独自のAIチャットボットを作成・管理できる機能です。特定のタスクや目的に合わせてカスタマイズされたAIエージェントを構築でき、業務効率化や学習支援など、様々な用途に活用

できます。また、オンデバイス処理をサポートしており、プライバシーの保護や通信環境に依存しない利用が可能です。

■料金プラン

●無料版

- ・ **概要**：Gemini 1.5 Flashモデルを利用可能。
- ・ **主な機能**：テキストの編集・生成、リアルタイムのウェブ検索。
- ・ **制限事項**：最大32,000トークン、人物画像生成の制限あり。

●Gemini Advanced (有料版)

- ・ **料金**：月額20ドル (初月無料トライアル)。
- ・ **利用可能な機能**：
 - Gemini 1.5 Proモデルの利用 (最大100万トークン)
 - テキスト、画像、コードの高度な生成機能
 - Googleサービスとの完全統合
 - Gemsカスタマイズ機能
 - Google One 2TBストレージ付属

Claude

■Claudeとは

Claude (クロード) は、Anthropic社が開発した対話型生成AIです。高度な大規模言語モデルを基盤に設計されており、自然な言語理解と生成能力を特徴としています。特に安全性と倫理性を重視した設計が際立っており、自然な対話を可能にするツールとして、ビジネスや個人利用で幅広い用途が期待されています。

■安全性と応答能力を両立した設計

Claudeは、「憲法AI (Constitution AI)」という独自の設計原則

に基づき開発されており、安全性と倫理性を兼ね備えています。このアプローチにより、有害なコンテンツの生成を抑制し、ユーザーとの適切なやり取りを実現します。また、最大20万トークン（約15万文字）の長文データ処理が可能で、複雑な文書の分析や要約に優れています。さらに、自然で人間らしい文章生成が可能で、ユーザーが求める高度な応答能力を提供します。

■進化するバージョンと高度な機能

Claudeは継続的な改良が加えられており、以下のバージョンが提供されています。

・ Claude 2 (2023年7月リリース)

米国司法試験での高い正答率やGREテストで上位10%の成績を記録するなど、学術的な性能が強化されました。

・ Claude 3 (2024年3月リリース)

3つのモデル (Opus、Sonnet、Haiku) が提供され、Opusは初めてIQ 100を超えたAIモデルとして注目されました。

・ Claude 3.5 Sonnet (2024年6月リリース)

速度が2倍、コストが1/5に削減され、ベンチマークスコアで従来モデルを上回る性能を示しました。

■料金プラン

●無料版

- ・ **概要**：個人利用向けの基本機能が利用可能。
- ・ **制限事項**：1日あたりのメッセージ回数に制限（約4～5時間で10回程度）があります。

●有料版 (Proプラン)

- ・ **料金**：月額20ドル（約2,990円）。
- ・ **特徴**：無料版の5倍の利用量、優先帯域、新機能への早期アク

セス。複数モデル (Claude 3.5 Sonnet、Claude 3 Opus、Claude 3 Haiku) を利用可能。

●法人向けプラン (Team・Enterprise)

- ・ **料金**：Teamプランは月額25ドル/ユーザー（5名から利用可能）。Enterpriseプランは要問い合わせ。
- ・ **特徴**：コラボレーション機能、拡張コンテキストウィンドウ、シングルサインオン (SSO) など、企業向けの高度な管理機能や拡張性を提供。

Adobe Firefly

■Adobe Fireflyとは

Adobe Fireflyは、Adobeが提供する生成AI (Generative AI) モデルで、テキストプロンプトを基に高品質な画像やベクターグラフィックスを生成するツールです。

2023年3月にベータ版がリリースされ、同年9月に正式版が公開されました。PhotoshopやIllustratorと統合されており、クリエイティブな制作を効率化するだけでなく、商用利用にも適したツールとして注目されています。

■生成の多様性と品質

Adobe Fireflyの大きな特徴は、その生成精度と多彩なスタイルです。テキストプロンプトを入力するだけで、写真風からアートスタイルまで幅広いビジュアルを生成可能です。特にアートスタイルでは水彩画や油絵風の画像生成に優れ、カスタマイズも容易です。また、Adobe製品との連携により、生成した画像を即座に編集可能で、ワークフローを一元化できます。一方で、写真のようなリアルな画像生成については他のツールよりも精度が劣る場合があります。

■ユーザーインターフェースとカスタマイズ機能

Adobe Fireflyは、直感的でシンプルなインターフェースを備えており、初心者からプロフェッショナルまで幅広いユーザーに適しています。また、生成プロセスでは、色合いやスタイル、解

像度を調整でき、独自のデザインを簡単に作成可能です。さらに、画像の特定部分を選択し、AIを活用して新しい要素を追加する「生成塗りつぶし」機能や、テキストにスタイルを適用する「テキストエフェクト」機能など、多様な編集オプションが充実しています。

■クレジットシステムと料金プラン

●**生成クレジット**：テキストや画像生成ごとに消費するポイント制。各プランで毎月一定数のクレジットが付与され、使い切っても低速モードで利用可能。

●**無料プラン**：毎月25クレジットを提供。生成画像にはウォーターマークが付与されます。

●**Fireflyプレミアムプラン**：月額680円で毎月100クレジットを提供。ウォーターマークなしの画像を生成可能。

●**その他のプラン**：月額1,078円からのフォトプラン (Photoshopなど利用可) や、月額7,780円のコンプリートプラン (全Adobeアプリ利用可) など、多様な選択肢を提供。

FLUX

■FLUXとは

FLUX.1は、元Stable Diffusionの開発者が設立したBlack Forest Labsによって開発された最先端の画像生成AIです。高品質な画像生成能力と商用利用可能なモデルを提供し、特に実写風の画像生成において優れた性能を発揮します。手や顔などの細部の描写に強みを持ち、クリエイティブなプロジェクトやビジネス用途に幅広く活用できます。

■多彩なモデルと高品質な画像生成

FLUXは用途に応じて3つの主要なモデルを提供しています。最高品質の画像を生成できる商用利用可能な「FLUX.1 [pro]」、研究・開発向けの「FLUX.1 [dev]」、高速処理が可能な「FLUX.1 [schnell]」です。実写風の画像生成において特に高い評価を得ており、アニメ・イラスト風の画像生成については専用モデル（blue_pencil- flux1、raemuFlux_v10、WAI-Ani-Fluxなど）を使用することで高品質な結果が得られます。なお、プロンプトは英語での入力が推奨されており、より精度の高い画像生成が可能です。

■最新ツール群とユーザビリティ

FLUX.1 Toolsの提供により、画像生成のコントロール性と操作性が大幅に向上しています。実写と生成画像の修正・再作成が可能になり、初心者でも簡単に高品質な画像生成を実現できます。クラウドプラットフォームやローカル環境での利用が可能で、Stable Diffusion WebUI ForgeやComfyUIなどのツールを使用してローカル環境に導入することもできます。

■料金プラン

●Starterプラン（スタンダード）

- ・ **料金**：月額9.9ドル。
- ・ **機能**：500枚の画像生成が可能。
- ・ **特徴**：全モデルへのアクセス、プライベート生成、高画質出力に対応。

●Premiumプラン（上級者向け）

- ・ **料金**：月額12.9ドル。

- ・ **機能**：1,000枚の画像生成が可能。
- ・ **特徴**：Starterプランの機能に加え、より多くの生成枚数を提供。

●その他のプラン

利用頻度や目的に応じて、月額29.9ドルの大容量Proプランや年間契約による割引プラン、メガピクセル単位での従量制プラン、1回限りのクレジット購入オプションなど、多様な選択肢が用意されています。新規登録時には、GitHubアカウントでのサインアップで1ドル分の無料クレジットが提供されます。

DALL-E 3

■DALL-E 3とは

DALL-E 3は、OpenAIが2023年9月に公開した最新の画像生成AIモデルです。テキストプロンプトから高品質な画像を生成できる技術で、ユーザーの意図を正確に理解し、詳細なニュアンスまで反映した画像を作成することができます。アーティストやデザイナーはもちろん、ビジネスでのビジュアル制作や個人での創作活動まで、幅広い用途で活用できます。

■高度なテキスト理解と画像生成の精度

DALL-E 3の最大の特徴は、ChatGPTの言語理解能力を活かした高度なプロンプト解釈です。複雑な指示や細かいニュアンスを正確に理解し、ユーザーの意図に沿った画像を生成することができます。例えば、「夕暮れの海辺で、古い灯台の横でギターを弾く若い女性」といった具体的な描写から、光の表現や細部の質感まで忠実に反映した画像を作成できます。また、日本語を含む多言語でのプロンプト入力に対応しており、言語の壁を越えて直感的に利用できます。

■商用利用の柔軟性とコンテンツ管理

DALL-E 3で生成した画像の所有権はユーザーに帰属し、商用利用も可能です。これにより、広告やマーケティング素材、書籍の挿絵など、ビジネスでの活用の幅が広がります。ただし、暴力的なコンテンツや成人向けコンテンツ、憎悪的な表現の生成は禁止されており、公共の人物の名前を使用したリクエストも拒否されます。このような倫理的な配慮により、安全で信頼性の高い画像生成が可能です。

■料金プラン

●無料版

- ・概要：ChatGPTの無料アカウントで1日2枚までの画像生成が可能。
- ・主な制限事項：生成枚数の制限、画像サイズの制限あり。

●ChatGPT Plus (有料版)

- ・料金：月額20ドル。
- ・利用可能な機能：無制限の画像生成、高品質な画像出力、商用利用可能。

●Microsoft Bing Image Creator

- ・概要：Microsoftのサービスを通じて無料で利用可能。
- ・制限事項：個人の非商業目的での利用に限定、商用利用は不可。

Midjourney

■Midjourneyとは

Midjourneyは、テキストプロンプトから高品質な画像を生成するAIツールです。アート風からフォトリアルな表現まで幅広い

いスタイルに対応し、クリエイターの創造性を拡張する強力なツールとして注目を集めています。Discordを通じて利用する独特のインターフェースを持ち、商用利用も可能な画像生成AIとして、デザイナーやアーティストを中心に幅広く活用されています。

■高度なパラメータ制御とバッチ処理

Midjourneyの特徴的な機能として、詳細なパラメータ制御があります。アスペクト比(-ar)、画質(-quality)、スタイル(-style)、シード値(-seed)など、多彩なパラメータを組み合わせることで、生成される画像を細かく制御できます。また、プロンプトに--repeatパラメータを追加することで、同じプロンプトを連続して実行できるバッチ処理機能も搭載。効率的な画像生成ワークフローを実現します。

■特化型モデルと高度な画像操作

Midjourneyは、アニメ・マンガ調の画像生成に特化した「Niji」モデルを提供しています。また、画像ブレンド機能を使用することで、複数の画像(2～5枚)を組み合わせで新しい画像を生成できます。さらに、キャラクターリファレンス機能(-cref)により、特定のキャラクターの特徴を保持しながら新しい画像を生成することが可能です。これらの機能により、創造的な画像生成の可能性が大きく広がっています。

■料金プラン

- Basic - 月額10ドル：基本的な機能に加え、約3時間/月の高速生成と同時生成数3が可能。
- Standard - 月額30ドル：約15時間/月の高速生成と同時生成数3が可能。

●Pro - 月額60ドル：約30時間/月の高速生成、同時生成数12、ステルスモード利用可。

●Mega - 月額120ドル：約60時間/月の高速生成、同時生成数12、ステルスモード利用可。

全プランで商用利用が可能で、年払いの場合は割引が適用されます。無料プランの提供はありません。

Stable Diffusion

■Stable Diffusionとは

Stability AIが開発したオープンソースの画像生成AIモデルです。テキストから高品質な画像を生成でき、特に高い自由度とカスタマイズ性が特徴です。ローカル環境での実行が可能で、商用・非商用を問わず幅広い用途で活用できます。最新バージョンの「Stable Diffusion 3.5」では、1メガピクセルの高解像度画像生成を実現しています。

■柔軟な画像生成とスタイル表現

Stable Diffusionの大きな強みは、多様な画風やスタイルの画像生成が可能な点です。特にアニメやイラスト調の画像生成に優れており、LoRA (Low-Rank Adaptation) という技術を活用することで、特定のキャラクターやスタイルの再現も可能です。一方で、完全にリアルな写真風の画像生成や、特定の芸術家のスタイル再現には課題が残ります。

■高度なカスタマイズ性と開発環境

オープンソースという特性を活かし、モデルのカスタマイズやファインチューニングが可能です。独自モデルの開発やLoRAに

よる追加学習で、特定のニーズに合わせた画像生成が実現できます。ただし、ローカル環境での実行には高性能なGPUが必要で、セットアップには技術的な知識が求められます。

■料金プラン

●無料版

・概要：オープンソースとして公開されており、基本的な機能は無料で利用可能。

・商用利用：年間収益100万ドル未満まで可能(※)。

※年間収益が100万ドルを超える場合は、Stability AI Community Licenseに基づくライセンス契約が必要となります。具体的なライセンス料については、Stability AIとの個別契約となります。

ImageFX

■ImageFXとは

ImageFXは、Googleが開発した最新の画像生成AIツールです。Imagen 3モデルを基盤とし、テキストプロンプトから高品質でリアルな画像を生成できます。特に写真のようなリアルな表現に優れており、人物の顔や手などの複雑な要素も自然に描写できる点が特徴です。

■高精度な画像生成と安全性への配慮

ImageFXは、Googleの高度な画像生成モデル「Imagen 3」を活用し、細部まで精密な画像生成を実現します。特筆すべき点として、生成された画像には「SynthID」という電子透かしが自動的に埋め込まれます。これにより、AI生成画像であることを明確に識別でき、フェイク画像の拡散リスクを軽減する工夫がなされています。

■直感的な操作性とスタイルカスタマイズ

ユーザーフレンドリーな操作性を重視し、テキストプロンプトを入力するだけで画像生成が可能です。「エクスプレッシブチップス」機能を通じて、異なるスタイルやバリエーションを簡単に試すことができます。ただし、他のAIツールと比較すると、詳細なパラメータ調整やカスタマイズ性は限定的です。また、イラストやアニメ風の画像生成は得意ではなく、写真風のリアルな画像生成に特化しています。

■料金プラン

●無料プラン

- ・ Googleアカウントで無料利用可能
- ・ 生成枚数に上限あり（具体的な制限枚数は非公表）
- ・ 商用利用のガイドラインは未発表
- ・ 将来的な有料プラン導入の可能性あり



1-4 主要な音声生成AI

（2024年12月時点の情報）

ElevenLabs

■ElevenLabsとは

ElevenLabsは、高度なAI技術を活用した音声合成プラットフォームです。人間らしい自然な抑揚と感情表現を実現し、30以上の言語に対応する多言語音声生成が可能です。ナレーションやキャラクターボイス、教育コンテンツなど、幅広い用途で活用できる音声生成AIとして注目を集めています。特に、声質の多様性と音声の自然さに定評があり、プロフェッショナルな音声コンテンツの制作を可能にします。

■圧倒的な言語と音声の表現力

ElevenLabsは30以上の言語に対応するだけでなく、各言語において文脈を考慮した自然な音声を生成できます。さらに、英語だけでも30種類以上のプリセット音声を用意しており、用途やターゲットに応じた最適な音声表現を選択可能です。特に国際的なプロジェクトや多言語対応が必要な場面で強力なツールとなります。

■音声と環境音を融合するクリエイティブな機能

ElevenLabsでは、音声生成に加えて効果音や環境音をテキストから生成する機能を提供しています。この「Sound Effects」機能により、シーンや状況を再現した没入感のある音声コンテンツを制作可能です。例えば、物語の語りにならせた背景音や効果音を付けることで、より印象的でプロフェッショナルな表現を実現

現します。

■料金プラン

●無料版

- ・ **概要**：基本的な音声生成機能を試用できる入門プラン。
- ・ **主な制限事項**：月間10,000文字までの制限、商用利用不可、生成音声へのクレジット表記必須。

●有料版 (Starterプラン)

- ・ **料金**：プランに応じて段階的に設定。
- ・ **利用可能な機能**：商用利用可能、月間30,000文字まで生成可能、クレジット表記不要、カスタム音声作成機能。

●その他のプラン

- ・ **Creatorプラン**：月間100,000文字まで生成可能、より高度な音声カスタマイズ機能。
- ・ **Business/Enterpriseプラン**：大容量の文字数制限、専用サポート、カスタマイズオプション、API利用など企業向けの特別機能を提供。

VoiceSpace

■VoiceSpaceとは

VoiceSpaceは、stand.fmの14万人以上の配信者データを活用した高品質なAI音声生成サービスです。200種類以上の音声モデルと53カ国語への対応により、プロのナレーターからアニメ声まで幅広い声質を実現し、教育コンテンツから企業向けナレーション作成まで、様々な用途で活用されています。

■リアルタイム対応のボイスチェンジャー

VoiceSpaceは、ユーザーの声を200以上の音声モデルにリアル

タイムで変換するボイスチェンジャー機能を提供しています。自然なイントネーションと抑揚を備えた音声変換が可能で、VTuberやライブ配信、オンライン会議など幅広い用途で利用されています。また、プロフェッショナルな場面でも使用できる品質を提供し、教育コンテンツやエンターテインメント制作など多岐にわたるニーズに対応します。

■実務重視のシーン特化エンジン

VoiceSpaceは、ニュース読み上げや館内放送、eラーニングなど、特定のシーンに最適化された音声生成を得意としています。特に実務的なシーンで必要とされる安定性や明瞭さを重視し、ノイズを抑えたクリアな音質を提供。商業利用や教育現場での活用において、多くの支持を集めています。

■料金プラン

●無料版

- ・ 7種類の音声モデル、月間5,000文字まで利用可能。
- ・ 商用利用不可、クレジット表記必須。

●有料版

- ・ **Creator (月額3,000円～)**：200種類以上の音声モデル、月間10万文字まで、商用利用可。
- ・ **Professional (月額21,000円～)**：高度な機能、大容量利用、チーム管理機能付き。
- ・ **Enterprise**：大規模利用向けカスタマイズプラン (要相談)。

Sora

■Soraとは

Soraは、OpenAIが開発した動画生成AIで、ユーザーが入力したテキストから短い動画を生成する革新的なツールです。これにより、映像制作の効率化やコスト削減が可能となり、クリエイターに新たな表現の可能性を提供します。

■映像の品質とスタイルの多様性

Soraは最大1080 pの高解像度で動画を生成でき、細部まで鮮明な映像を作成可能です。また、「Film noir」や「段ボール工作風」など、多彩なスタイルプリセットを利用して、様々な雰囲気 of 動画を作成できます。ただし、人間の動作を含む動画では、手の動きが不自然であったり、複雑なシーンの再現性に課題があると指摘されています。

■カスタマイズ性と操作性

Soraは、ユーザーが入力したテキストや画像から多様なスタイルの動画を生成できます。さらに、ストーリーボード機能を使用すると、シーンごとに詳細な設定が可能で、複数のシーンを組み合わせた動画制作が簡単に行えます。これにより、物語性のあるコンテンツの作成が促進されます。

■料金プラン

●ChatGPT Plus

- ・概要：月額20ドルで、最大50本の動画高速生成(1,000クレジット)が可能です。
- ・主な制限事項：最大720 p解像度、5秒の動画生成が可能で、ウォーターマークの除去は不可です。

●ChatGPT Pro

- ・料金：月額200ドル。
- ・利用可能な機能：最大500本の動画高速生成(10,000クレジット)に加え、無制限モードも利用可能です。最大1080 p解像度、20秒の動画生成が可能で、同時に最大5本の動画生成や、ウォーターマークなしでのダウンロードが可能です。

Luma AI

■Luma AIとは

Luma AIは、高品質な映像や3Dモデルを生成するAIサービスであり、特に「Dream Machine」という動画生成AIが注目されています。ユーザーは、テキストプロンプトや画像を入力するだけで、アニメや映画のようなクオリティの動画を作成可能です。

■映像の品質とスタイルの多様性

Dream Machineは、最大5秒間の高品質な映像を生成できます。生成された動画は、シーンの変化や動きのタイミングが適切で、視覚的に違和感のない仕上がりとなっています。また、ユーザーがプロジェクトのスタイルに応じて異なる作業環境を選択できるサブツールが豊富に揃っており、様々な3Dプロジェクトを

柔軟に作成できます。

■カスタマイズ性と操作性

Luma AIのDream Machineは、誰でも無料で、スマートフォンからも利用可能です。これにより、専門的な知識がなくても高品質な動画を簡単に生成できる点が強みです。さらに、ユーザーインターフェースの刷新や、キャラクターのバリエーション生成機能が追加され、より直感的で多様な動画生成が可能となっています。

■料金プラン

●無料版

・概要：無料で利用可能な基本機能を提供し、月に最大30回まで動画を生成できます。生成された動画には「Luma」のロゴが表示され、商用利用は不可となっています。

●有料版（スタンダードプラン）

・料金：月額29.99ドル。
・利用可能な機能：月に150本の動画生成が可能で、透かし（ウォーターマーク）の削除や商用利用が可能です。また、サーバー混雑時でも優先的に動画生成が行われます。

●有料版（プロプラン）

・料金：月額99.99ドル。
・利用可能な機能：スタンダードプランの機能に加え、さらに多くの動画生成が可能です。
●有料版（プレミアムプラン）
・料金：月額499.99ドル。
・利用可能な機能：大量の動画生成や追加機能が利用可能で、企業やプロフェッショナル向けのオプションとして提供されています。

Runway

■Runwayとは

Runwayは、AIを活用した動画生成・編集ツールで、テキストや画像を入力することで短時間で高品質な映像を生成します。特に、アーティスティックな表現や映画風のシネマティック効果に強みを持ち、クリエイティブなプロジェクトを支える強力なプラットフォームです。プロモーション動画や教育コンテンツの制作から、映画や音楽ビデオなど多岐にわたる分野で活用されています。

■映像の品質と多様なスタイル

Runwayの最新モデル「Gen-3 Alpha」は、自然で滑らかな動きと正確なタイミングで映像を生成します。生成された映像は、高解像度でノイズが少なく安定しており、アニメ風や映画風など多様なスタイルを自由に適用できます。これにより、ユーザーのプロンプトに応じた多彩な映像表現が可能です。特に、複雑な物理法則を伴うモーションの再現や、映画のようなカメラワークの導入が高く評価されています。

■高度なカスタマイズ性と操作性

Runwayでは、既存の動画や画像に新たなスタイルを適用する「Video to Video」機能や、スマートフォンの動画をAIキャラクターのアニメーションに転写する「Act-One」機能が利用可能です。さらに、動きの速度調整やカメラの視点変更など、細部までカスタマイズできます。直感的なインターフェースにより、初心者でも簡単に操作でき、プロフェッショナルな映像を短時間で制作できます。

■料金プラン

●無料版

- ・ **概要**：最大解像度720 pでの映像生成が可能です。月間クレジットは125までで、生成した映像にはウォーターマークが付加されます。
- ・ **主な制限事項**：プロジェクト数3つまで、動画生成時間最大16秒、利用可能なスタイルが限定的。

●有料版 (例：Standardプラン)

- ・ **料金**：月額15ドル。
- ・ **利用可能な機能**：最大4 K解像度での映像生成、プロジェクト数無制限、ウォーターマーク除去、625クレジット/月が利用可能。

●有料版 (例：Proプラン)

- ・ **料金**：月額35ドル。
- ・ **利用可能な機能**：Standardの全機能に加え、2,250クレジット/月、高速生成モード、より高度な編集機能が利用可能。

●企業向けプラン (Enterprise)

- ・ **概要**：大規模プロジェクト向けのカスタマイズプランで、APIアクセス、専用モデル開発、高度なサポートなどが含まれます。企業のニーズに応じて柔軟に対応可能です。

HeyGen

■HeyGenとは

HeyGenは、AI技術を活用して高品質な動画を簡単に作成できるオンラインプラットフォームです。ユーザーはテキストを入力するだけで、リアルなアバターが自然な表情や動きでスクリプトを読み上げる動画を生成できます。これにより、専門的な撮影機

材やスタジオを必要とせず、プロフェッショナルな映像制作が可能となります。

■映像の品質

HeyGenのAIアバターは非常にリアルで、自然な表情や動きを再現します。これにより、視聴者に違和感を与えず、質の高い動画を作成できます。また、リップシンク機能により、アバターの口の動きがスクリプトと正確に同期し、より自然な映像表現が可能です。

■カスタマイズ性と操作性

HeyGenは、数百種類のプリセットアバターから選択できるだけでなく、自分自身の写真をアップロードしてカスタムアバターを作成することも可能です。さらに、背景やBGM、テロップの追加など、多彩なカスタマイズオプションが用意されており、ユーザーのニーズに合わせた映像制作が可能です。直感的なインターフェースにより、専門的な知識がなくても簡単に操作できます。

■料金プラン

●無料版

- ・ **概要**：無料で利用可能な基本機能を提供しています。
- ・ **主な制限事項**：月に3本までの動画作成、最大3分の動画長さ、解像度は720 p、商用利用不可、HeyGenのロゴが表示されます。

●有料版 (プラン名：Creatorプラン)

- ・ **料金**：月額24ドル (年間契約時)。
- ・ **利用可能な機能**：無制限の動画作成、最大5分の動画長さ、解像度は1080 p、商用利用可能、個人ユーザー向けの基本プランです。

●その他のプラン (例：企業向けプランなど)

・ **概要**：チームでの利用に適したTeamプラン (月額69ドル/人、年間契約時) や、企業向けのカスタマイズ可能なEnterpriseプラン (要問い合わせ) がある。Teamプランでは最大30分の動画長さ、Enterpriseプランでは無制限の動画長さや4K解像度に対応しています。

Veو 2

■Veو 2とは

Veو 2は、Googleが2024年12月に発表した先進的な動画生成AIツールです。最大4K解像度の高品質な映像生成、多彩なスタイル、シネマティックな効果が可能であり、広告制作、エンターテインメント、教育など多様な分野で活用されています。また、物理シミュレーションや複雑なカメラワークの再現が得意で、プロフェッショナルな映像制作を支援する能力を持ちます。

■Veو 2の特徴的な要素1：映像の品質と表現力

Veو 2は、リアルな物理表現と詳細な描写力を備えています。

- ・ **高解像度出力**：最大4Kでの動画生成が可能で、商用利用や映画制作にも耐えうる品質です。
- ・ **長尺動画生成**：数分間の映像生成に対応しており、短尺動画が主流の他AIと比較して優位性があります。
- ・ **リアルな表現力**：水の動きや風による物体の揺れ、光の反射など、現実世界に即した物理現象を精密に再現可能です。
- ・ **シネマトグラフィーの対応**：レンズの指定や被写界深度、カメラの動きなど、映画的な効果を細かく指定できます。

■Veو 2の特徴的な要素2：カスタマイズ性と操作性

Veو 2は、高度なカスタマイズ機能と直感的な操作性で、クリエイターのニーズに応えます。

- ・ **スタイルとアニメーション調整**：実写、アニメ、タイムラプスなど、多様なスタイルに対応。光の方向や強さ、色調、フレームレートの調整も可能です。
- ・ **特殊機能**：ドローン視点の空撮やトラッキングショットなど、複雑なカメラワークも簡単に指定できます。また、静止画から動画を生成する機能も搭載されています。
- ・ **安全性**：SynthIDによる不可視の透かしを付与し、AI生成物であることを識別可能にしています。

■料金プラン

●無料版

Veو 2には無料版は提供されていません。

●有料版 (プラン名：Proプラン)

- ・ **料金**：現在、料金の詳細は公開されていません。
- ・ **利用可能な機能**：高解像度出力 (最大4K)、長尺動画生成、複雑な物理シミュレーションやスタイルのカスタマイズが可能。商用利用も予測されます。

●その他のプラン (例：企業向けプラン)

- ・ **概要**：API利用や大量生成、企業ブランディングに合わせたカスタマイズ、セキュリティ機能の拡張など、企業向けの特別プランが用意される可能性があります。

SOUNDRAW

■SOUNDRAWとは

SOUNDRAWは日本発のAI音楽生成ツールで、ユーザーの指示に従って楽曲を即座に生成できる仕組みを持っています。その目的は、音楽制作の効率化と多様なニーズへの対応です。特に著作権フリーで高品質な音楽を提供する点が特徴的で、商用利用が可能なため幅広い業界で活用されています。

■音楽品質とスタイルの多様性

SOUNDRAWは社内のプロデューサーが作成したオリジナルビートをAIに学習させることで、自然なメロディと流れのある楽曲を提供します。以下の要素で多様性を実現しています。

- ・ **対応ジャンル**：ヒップホップ、ロック、ジャズ、クラシック、エレクトロニカなど、多岐にわたるジャンルに対応。
- ・ **ムード**：ハッピー、ロマンチック、ダーク、癒しなど、感情やテーマに合わせた25種類のムード。
- ・ **テーマ**：企業動画、ゲーム、旅行、スポーツなど、具体的な用途に応じた22種類のテーマ。

このように、あらゆる用途に合う楽曲が瞬時に生成可能です。

■カスタマイズ性と操作性

SOUNDRAWでは楽曲の細部を以下のように調整することができます。

- ・ **テンポ (BPM)**：楽曲の速度を柔軟に設定可能。

- ・ **キー (調)**：音の高さを調整し、楽曲の雰囲気や色合いを自在に変えられます。
- ・ **構成の編集**：楽曲の長さやセクションの追加・削除、エネルギーレベルの調整が可能。
- ・ **特殊機能**：自動作曲や動画プレビュー機能を活用し、映像と音楽の同期をリアルタイムで確認。

初心者にも使いやすい日本語対応のインターフェースが提供されており、音楽制作経験がなくても直感的に操作できます。

■料金プラン

●無料版

- ・ **概要**：無料で楽曲生成を試すことが可能。ただし、生成した楽曲のダウンロードは不可。

●有料版 (クリエイタープラン)

- ・ **料金**：月額1,650円 (税込)。
- ・ **特典**：無制限の楽曲ダウンロード、商用利用ライセンス。動画、ゲーム、SNSなどの幅広い用途で使用可能。

●有料版 (アーティストプラン)

- ・ **料金**：月額19.49ドル～32.49ドル (プランによる)。
- ・ **特典**：無制限のトラックダウンロードやステムデータの提供。生成した楽曲にボーカルを追加して配信することも可能。

●企業向けオプション

- ・ 現在、特別な企業プランは確認されていないが、商用利用可能なライセンスが提供されており、幅広いプロジェクトに対応可能。

Udio

■Udioとは

Udioは、ユーザーが入力したテキストプロンプトを基に、高品質な音楽を自動生成する音楽生成AIツールです。48 kHzのステレオ音源で楽曲を提供し、幅広いジャンルやスタイルに対応しています。初心者からプロの音楽制作者まで、多様なニーズを満たすことを目的としており、特に作曲や編曲にかかる時間を短縮しながら、創造性を高めるためのサポートを提供します。

■高品質な音楽生成と多様性

Udioが生成する楽曲は、プロの作曲家が制作したようなクオリティを持っています。48 kHzのステレオ音源で、楽器の音色や立体感がリアルに再現され、ジャンルの多様性も魅力です。クラシック、ポップス、ジャズ、ヒップホップなどに対応し、日本語の歌詞を取り入れたJ-POPスタイルの楽曲生成も可能です。この多様性は、動画制作、広告、ゲーム開発などの幅広い分野での活用を支えています。

■カスタマイズ性と操作性

Udioはユーザーが希望する楽曲のテンポ、キー(調)、構成を細かく調整することが可能です。特にキーの指定機能や、楽曲の展開を決定できる構成設定(Aメロ、サビ、ブリッジなど)が特徴的です。また、自動編曲機能により、元の楽曲をリミックスし、多彩なバリエーションを生成できます。さらに、入力された歌詞やテーマに基づいてAIが歌声を生成する機能も備えており、自然な発音での多言語対応が可能です。

■料金プラン

●無料版

・概要：月間100クレジットが付与され、制限付きで音楽生成を利用可能。すべての楽曲で商用利用が可能ですが、「Udioを使用して作成した」旨のクレジット表記が必要です。

・主な制限事項：同時生成可能な楽曲は2曲、処理速度は標準。Udio- 130モデルは利用できません。

●有料版(例：Standardプラン)

・料金：月額10ドル。

・利用可能な機能：月間1,200クレジットが付与され、同時生成可能な楽曲は3曲。優先処理が可能で、Udio- 130モデルの利用も可能。商用利用時のクレジット表記は不要。

●有料版(例：Proプラン)

・料金：月額30ドル。

・利用可能な機能：月間4,800クレジットが付与され、同時生成可能な楽曲は4曲。処理速度が優先され、大規模なプロジェクトにも対応可能。

●その他のプラン

現在、企業向けの特別プランは提供されていませんが、詳細は公式サイトやサポート窓口での確認が推奨されます。

SunoAI

■SunoAIとは

SunoAIは、ユーザーがテキストを入力することでボーカル入りの音楽を自動生成する音声生成AIです。この技術により、音楽制作の専門的な知識がなくても多様なジャンルの楽曲を制作す

ることが可能です。特に、SunoAIの生成する音声は、自然な抑揚や間の取り方が特徴で、多様な声色や感情表現に富んでいます。

■音声品質とAIモデルの仕組み

SunoAIは、最新のAI技術を活用しており、特に音声の自然さと音質の高さが特筆されます。最新バージョンであるSuno v4では、ジャンル指定機能の向上により、指定した楽器や音色に忠実な楽曲生成が可能です。AIが生成する音声は、ノイズが少なく安定した品質を提供し、プロの音楽スタジオで録音されたかのような高音質を実現しています。

■カスタマイズ性と多言語対応

SunoAIはカスタマイズ性に優れ、ユーザーは音声のトーン、速度、ピッチを調整することで、カスタマイズした音声を生成できます。また、日本語を含む50以上の言語に対応しており、これにより多言語での音楽生成が可能です。SunoAIのインターフェースはユーザーフレンドリーで、初心者でも直感的に操作できる点が強みです。

■料金プラン

●無料版

- ・ **概要**：SunoAIの基本機能を無料で利用できます。月に10曲までの楽曲を生成可能で、非商用目的でのみ使用が許可されています。
- ・ **主な制限事項**：WAV形式での音声保存ができない、商用利用不可。

●有料版 (Proプラン)

- ・ **料金**：月額10ドル (年間プランでは月額8ドル)。

- ・ **利用可能な機能**：月に500曲まで生成可能で、商用利用も認められています。また、高品質なWAV形式での音声保存が可能です。

●その他のプラン (Premierプラン)

- ・ **概要**：大量生成が必要なユーザー向けに月に2,000曲まで生成可能なプランです。商用利用も可能で、より多くの機能が開放されます。
- ・ **料金**：月額30ドル (年間プランでは月額24ドル)。

Perplexity AI

■Perplexity AIとは

Perplexity AIは、自然言語処理技術を活用した対話型のAI検索エンジンです。このAIは、インターネット上から関連情報を収集し、質問に基づいて要約した回答を提供します。従来の検索エンジンとは異なり、ユーザーが探している情報を効率的に整理し、信頼性の高い結果を提示することを目的としています。その結果、複数のウェブサイトを閲覧する手間を減らし、迅速かつ正確に情報を得ることが可能です。

■検索精度とユーザーフレンドリーなインターフェース

Perplexity AIは、質問に対する回答の精度と関連性が高い点で優れています。リアルタイムにウェブをクロールし、信頼性の高い情報源から最新の情報を収集します。また、出典を明示した上で要約された結果を提示するため、ユーザーが情報の信頼性を自ら確認することが可能です。

さらに、直感的なユーザーインターフェースを備え、AI初心者でも簡単に利用できます。質問を入力するだけで整理された形で情報が表示されるため、効率的な情報収集が可能です。例えば、学術論文を対象とした検索や、動画コンテンツに特化したフィルタリングなど、利用シナリオに応じて検索範囲を調整できます。

■リアルタイム性と外部連携機能

Perplexity AIは、リアルタイム検索機能を備えており、最新の

ニュースやトレンドに基づいた情報を瞬時に提供します。このため、特に時事問題や最新技術に関する調査に役立ちます。また、API連携を通じて他のアプリケーションやサービスと統合が可能で、企業やプロジェクトでの利用にも適しています。複数のAIモデル（例：GPT-4やClaude）や画像生成モデル（例：DALL-E 3）を選択することで、柔軟にカスタマイズされた情報提供が可能です。

■料金プラン

●無料版

- ・概要：基本的な検索機能を無制限で利用可能。特定の機能（Pro Search、ファイルアップロード）は制限付きで提供されます。
- ・主な制限事項：Pro Searchは4時間ごとに3回まで、ファイルアップロードは1日3回まで。Pages機能や画像生成モデルは利用不可。

●有料版（Proプラン）

- ・料金：月額20ドル。
- ・利用可能な機能：
 - 無制限の検索回数
 - Pro Searchの拡張利用（1日300回以上）
 - ファイルアップロードの無制限化
 - Pages機能や高性能AIモデルの利用
 - 優先サポート（Discordチャンネルで対応）
 - 画像生成機能の利用（DALL-E 3など）

●企業向けプラン（Enterpriseプラン）

- ・概要：中規模から大規模なチームや企業向けに特化したプラン。専用サポートや高度なセキュリティ機能（SOC 2認証、SSO対応）を提供。

- ・ **料金**：Self-Serveプラン（1ユーザーあたり月額40ドル）およびCustomプラン（要問い合わせ）。
- ・ **特徴**：大量検索のサポート、高度なユーザー管理機能、データプライバシー強化（データの7日後自動削除）など。

Felo

■Feloとは

Feloは、日本発の次世代対話型AI検索エンジンです。自然言語による質問入力に対応し、膨大なWeb情報を収集・分析して高精度の回答を提供します。多言語対応やリアルタイム情報の取得機能を備え、ビジネス、教育、マーケティングなど幅広い分野での活用が可能です。利用者のニーズに応じた検索結果のカスタマイズやマインドマップを活用した資料作成支援を行い、情報収集の効率化を目指しています。

■検索の精度と多言語対応

Feloの最大の特徴は、最新のAIモデル（GPT-4やClaude 3.5など）を活用した高精度な検索機能です。検索結果の関連性や正確さを重視し、質問の意図を深く理解して最適な回答を提供します。さらに、複数の言語での検索が可能で、ユーザーが日本語で入力した質問に対し、世界中の情報を収集して翻訳し、同じ言語で要約します。これにより、グローバルな情報へのアクセスが簡便化されます。

具体例として、学術研究者が英語の論文を基に調査を行う場合、Feloを使用すれば母国語での簡単な指示で必要な情報を取得でき、翻訳の手間を省けます。

■リアルタイム性とマインドマップ機能

Feloは、SNS（X/TwitterやRedditなど）からの情報をリアルタイムで取得する機能を持ち、迅速なトレンド把握が可能です。また、検索結果を基にしたマインドマップの自動生成機能を提供。これにより、情報を視覚化し、全体像を把握しやすくするとともに、整理された形で次のアクションに活かせる点が大きな特徴です。

さらに、ユーザーは検索フィルタを設定することで、特定の情報源やドメインに限定して検索を行えます。必要な情報だけを効率的に収集し、取得した情報をマインドマップとして構造的に活用することで、プロジェクトの計画立案や課題解決に役立ちます。

■料金プラン

●無料版（スタンダードプラン）

- ・ **概要**：基本的な検索機能を無料で利用可能。高速検索は無制限、プロフェッショナル検索は1日最大5回まで利用可能です。
- ・ **主な制限事項**：商用利用には制限がある場合があります。また、高精度なAIモデルやマインドマップ機能の一部は利用できません。

●有料版（プロフェッショナルプラン）

- ・ **料金**：月額2,099円または年額20,998円（1,750円/月相当）。
- ・ **利用可能な機能**：

高度なAIモデル（GPT-4、Claude 3.5）を使用可能

プロフェッショナル検索が1日最大300回まで利用可能

マインドマップの無制限生成

回答の深掘り機能や新機能への優先アクセス

商用利用が可能

●その他のプラン（企業向けプラン）

- ・ **概要**：チームや企業向けの特別プランが提供されており、API

連携、大量検索、高度なカスタマイズが可能。専用モデルの活用やマインドマップ機能のカスタマイズも検討できます。

Genspark

■Gensparkとは

Gensparkは、最新のAI技術を活用した対話型検索エンジンで、情報検索において新たな体験を提供します。このサービスは、ユーザーが自然言語で質問を入力すると、複数のAIエージェントが協力して情報を収集し、整理して回答を提供します。Gensparkの特徴は、カスタムページ (Sparkpages) を生成することで、必要な情報を1つの画面で効率的に確認できる点にあります。広告のないクリーンなインターフェースと高い検索精度により、個人から企業まで幅広いニーズに対応可能です。

■検索精度とカスタムページ生成

Gensparkは「AI Parallel Search」機能を搭載しており、ユーザーが入力した検索クエリに基づき、複数のAIモデルが情報を収集・分析します。この情報はリアルタイムで統合され、「Sparkpages」として提供されます。これにより、ユーザーは関連性の高い情報を効率的に得られます。例えば、学術研究や市場調査、旅行計画など、幅広いシナリオで情報収集の手間を削減します。また、情報の正確性と関連性が高く、リアルタイム性が求められる検索においても優れた性能を発揮します。

■応答のカスタマイズ性と特殊機能

Gensparkは、検索結果をユーザーのニーズに合わせてカスタマイズする柔軟性を提供します。

1. 検索フィルタとモード：

ユーザーは、特定の分野 (例：旅行、金融、教育) に特化したモードを選択可能です。これにより、関連性の高い結果を素早く取得できます。

2. リアルタイム情報取得：

市場の動向や最新ニュースなど、時間に敏感な情報もリアルタイムで収集・表示します。

3. ノイズの排除：

検索結果は広告や不要な情報が取り除かれ、ユーザーが本当に必要なデータに集中できる設計です。

■料金プラン

●無料版

・概要：現在はベータ版として全機能を無料で提供中。検索回数の制限なしで利用可能です。

・主な制限事項：将来的に制限が追加される可能性あり。

●有料版 (計画中)

・概要：サブスクリプションモデルを検討中。高度なフィルタリングやAPIアクセスなどが含まれる予定。

・利用可能な機能：無制限の検索、優先サポート、企業向けカスタマイズ機能。

●企業向けプラン

・概要：専用APIや大規模検索機能、特定業界に特化した検索モデルの提供が検討されています。

1-8 生成AIの進歩



生成AIの技術は、近年急速な進歩を遂げています。その進歩は、私たちがデジタルデータを作成・活用する方法を根本から変えつつあります。従来、デジタルコンテンツ（テキスト、画像、音楽など）の制作には専門知識・スキルと時間が必要でしたが、生成AIによって大幅に簡略化されました。

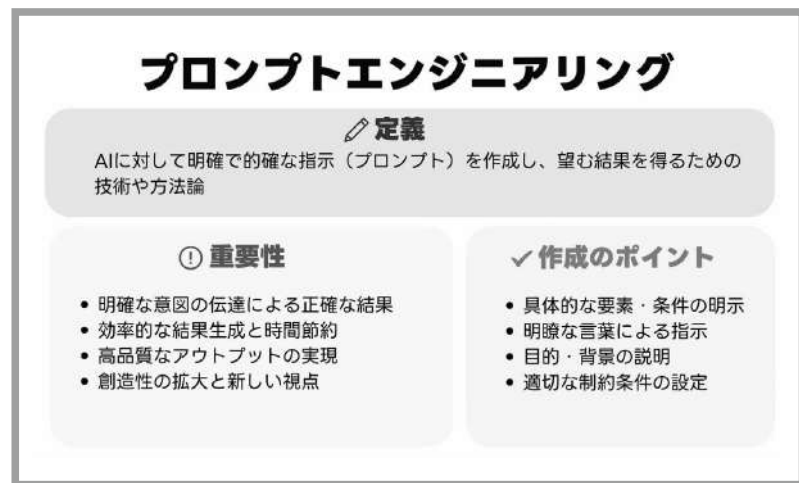
現在では、ユーザーが成果物のイメージや要望を自然な言葉で伝えるだけで、AIが意図を理解し、具現化してくれます。例えば、「夏の海辺を舞台にした明るい雰囲気のパosterを作成してほしい」とプロンプトを入力すると、AIがその要望に沿ったデザインを生成します。これにより、専門的なデザインソフトの操作方法を学ばなくても、高品質なビジュアルコンテンツを手に入れることが可能となりました。

この進歩は、ディープラーニング技術や大規模言語モデル（LLM）の発展によるものです。AIは大量のデータを学習することで、人間の言語や視覚情報を高度に理解し、テキストから画像や音声を生成したり、対話を通してユーザーのニーズを汲み取りコンテンツを提供したりできるようになりました。

一方で、生成AIを最大限に活用するためには、プロンプトエンジニアリングのスキルが重要です。これは、AIに対して的確な指示を出すための技術であり、ユーザーが望む結果を得るためにプロンプトの内容や構造を工夫する必要があります。具体的には、詳細な要件を明確に伝える、適切なキーワードを用いる、目的やコンテキストを明示するなどの手法があります。正確で効果的なプロンプトを作成することで、AIからより精度の高い、期待通りのアウトプットを得ることが可能になります。

生成AIの進歩は、ビジネスや教育、エンターテインメントなど多岐にわたる分野に影響を与えています。ビジネスでは、マーケティング資料の自動生成やデータ分析の効率化、教育では個別学習コンテンツの作成、エンターテインメントではゲームデザインやストーリーテリングの支援など、その活用範囲は広がり続けています。今後も技術のさらなる発展が予想され、私たちの生活や社会を大きく変えていくことでしょう。

プロンプトエンジニアリングの重要性



生成AIを効果的に活用するためには、「プロンプトエンジニアリング」のスキルが不可欠です。プロンプトエンジニアリングとは、AIに対して明確で的確な指示（プロンプト）を作成し、望む結果を得るための技術や方法論です。優れたプロンプトは、AIにユーザーの意図を正確に伝える羅針盤となり、期待通りの成果を生み出す鍵となります。

高度な知能を持つ生成AIであっても、与えられた指示が曖昧であれば、ユーザーの期待に沿った結果を提供することは困難です。これは、人間のデザイナーやエンジニアに仕事を依頼する際、要望を具体的かつ詳細に伝えることで質の高い成果物が得られるのと同じ原理です。例えば、デザインの依頼で「カッコいいロゴ

を作ってください」と漠然と伝えるよりも、「若者向けのスポーティなイメージを持つ、青と白を基調としたロゴを作ってください」と詳細に伝える方が、期待に近い結果を得やすくなります。

プロンプトエンジニアリングの重要性は以下の点にあります。

- 1. 明確な意図の伝達：**詳細なプロンプトにより、AIはユーザーの意図を正確に理解し、望む結果を生成できます。必要な情報を過不足なく伝えることで、誤解を防ぎます。
- 2. 効率的な結果の生成：**明瞭な指示は、不要な試行錯誤を減らし、時間とリソースの節約につながります。的確なプロンプトは、一度で満足のいく結果を得る可能性を高めます。
- 3. 高品質なアウトプット：**プロンプトの質が高いほど、AIが生成するコンテンツの質も向上します。詳細な要件を含むプロンプトは、AIが高度な能力を発揮するための土台となります。
- 4. 創造性の拡大：**プロンプトエンジニアリングを通じて自分のアイデアを明確に伝えることで、AIから新たな視点や斬新なアイデアを引き出せる可能性が高まります。

具体的な例として、以下のようなプロンプトの違いが成果に影響します。

● **不明瞭なプロンプト：**「物語を書いてください。」

→どのようなジャンルやテーマの物語か分からず、ユーザーの期待と異なる可能性が高い。

● **明確なプロンプト：**「中世のファンタジー世界を舞台に、若い勇者がドラゴンを倒す冒険物語を書いてください。友情と成長をテーマにしてください。」

→ユーザーの意図に沿った具体的な物語が生成され、満足度が高まる。

プロンプトエンジニアリングは、AIとの協働におけるコミュニケーションの質を高める重要な技術です。ユーザー自身の目的や期待を明確にすることで、AIはその能力を最大限に発揮し、より価値のある成果を生み出します。

プロンプトエンジニアリングを行う際のポイント

- 具体性を持たせる**：望む結果を詳細に記述し、必要な要素や条件を明示します。
- 明瞭な言葉を使う**：曖昧な表現や専門用語の乱用を避け、誰にでも理解できる言葉で指示します。
- 目的を伝える**：プロジェクトの背景や目標を含めることで、AIが適切な文脈で応答できます。
- 制約条件を示す**：必要に応じて、文字数やスタイル、フォーマットなどの制限を指定します。

生成AIの活用が広がる現代において、プロンプトエンジニアリングの重要性はますます高まっています。効果的なプロンプトを作成する能力は、ビジネスの効率化やクリエイティブな創作活動の成功に直結します。ユーザー一人ひとりがこのスキルを磨くことで、生成AIがもたらす可能性を最大限に引き出すことができるでしょう。

第2章

生成AIで できること



生成AIでできること



マルチメディアコンテンツの制作

生成AIは、文章、画像、音声、動画といった様々なメディアを組み合わせた、リッチなコンテンツ制作を可能にします。例えば、ブログ記事にAI生成のイラストを挿入したり、動画にAI生成のナレーションやBGMを追加したり、プレゼンテーション資料にアニメーションを組み込んだりすることができます。

ChatGPTやGeminiは文章やコード生成に、Midjourneyは画像生成に特化しています。他にも音声や動画生成に特化したAIツールがあり、これらを組み合わせることで、よりリッチで魅力的なコンテンツ制作が可能になります。

ブログ記事やSNS投稿の自動生成

ブログ記事やSNS投稿の自動作成は、生成AIの主要な機能の1つです。キーワードやテーマ、希望する長さなどを指定すること

で、AIが自動的にテキストを生成します。ChatGPTやGeminiは、SEO（キーワードを使い検索エンジンのランキングで上位表示を行う対策）に最適化された記事や、特定のターゲット層に向けた魅力的な投稿を作成できます。また、これらのツールは、タイトルや見出し、ハッシュタグの提案も行ってくれます。さらに、画像生成AIと連携させることで、アイキャッチ画像なども自動生成可能です。

プレゼンテーション資料の作成

生成AIは、プレゼンテーション資料の作成にも活用できます。ChatGPTやGeminiは、発表のテーマやキーワードに基づいて、プレゼンテーションの構成や内容、話すポイントなどを提案します。また、スライドに使用するテキストコンテンツや、図表、グラフなども自動生成できます。さらに、画像生成AIと連携することで、視覚的に訴求力のあるスライドを作成できます。例えば、Microsoft PowerPointと連携できるAIツールも存在し、より効率的に資料を作成することが可能です。

プロジェクト管理と計画（旅行計画、買い物計画、学習計画）

生成AIは、旅行計画、買い物計画、学習計画といったプロジェクト管理においても活用できます。旅行計画では、目的地、日程、予算を入力することで、最適な旅程、交通手段、宿泊施設の提案を受けられます。買い物計画では、購入したい商品リストに基づき、価格比較や在庫状況の確認、代替商品の提案が可能です。学習計画では、目標とする資格やスキル、学習期間を入力することで、最適な学習教材、スケジュール、進捗管理ツールを提案してくれます。

製造プロセス (カレーの作り方、ワイン製造、システム開発)

生成AIは、カレーの作り方やワイン製造、システム開発といった複雑な製造プロセスを文書化するのに役立ちます。カレーの作り方では、材料、分量、手順を詳細に記述し、画像や動画を生成して分かりやすく説明できます。ワイン製造では、ブドウの品種、栽培方法、醸造工程を記録し、品質管理に役立てることができます。システム開発では、設計書、仕様書、テストケースを自動生成し、開発効率を向上させることが可能です。

イベントの準備 (セミナー準備、イベント計画)

イベントの準備、特にセミナー準備やイベント計画においても生成AIは強力なツールとなります。セミナー準備では、テーマに基づいた構成案、講演内容の草案、質疑応答の予想、必要な機材リストなどを生成できます。イベント計画では、イベントの目的、ターゲット層、予算、会場、スケジュールなどを入力することで、企画立案、集客戦略、タイムテーブル作成、リスク管理などを支援してくれます。例えば、イベント告知用の魅力的なキャッチコピーやプレスリリースの作成、SNS投稿の自動生成なども可能です。

アイデア生成 (プロジェクトに関するアイデアを提供)

生成AIは、プロジェクトに関する多様なアイデアを提案できます。例えば、新規事業のアイデア、既存製品の改良案、マーケティングキャンペーンの企画など、様々な分野で活用可能です。ユーザーは、プロジェクトの概要や目標、制約条件などをAIに入力することで、斬新なアイデアや既存の枠にとらわれない発想を得ることができ、ブレインストーミングの効率化や新しい視点

の獲得に役立ちます。ChatGPTや Geminiなどのツールが利用可能です。

問題解決 (特定の課題や問題に対する解決策)

生成AIは、特定の課題や問題に対する解決策の提示も可能です。「ウェブサイトのアクセス数が減少している」「顧客からのクレームが多い」といった具体的な問題に対し、AIはデータ分析に基づいた解決策や、過去の事例を参考に最適なアプローチを提案します。これは、経営課題の解決から日々の業務における問題解決まで幅広く適用できます。ChatGPTや Geminiなどのツールが活用可能です。

意思決定支援 (選択肢のアドバイス提供)

生成AIは、複数の選択肢の中から最適なものを選ぶための意思決定支援も可能です。例えば、新規事業への投資、製品開発の方向性、人事に関する意思決定など、様々な場面で活用できます。AIは、それぞれの選択肢のメリット・デメリットやリスクを分析し、ユーザーの目標達成に最適な選択肢を提示します。これにより、より客観的で合理的な意思決定が可能になります。ChatGPTや Geminiなどのツールが活用可能です。

電話応答・問い合わせ

生成AIは、顧客からの電話応答や問い合わせ対応を自動化できます。音声認識と自然言語処理技術を用いて、顧客の質問を理解し、適切な回答を生成、音声合成で返答します。FAQデータベースとの連携で、よくある質問に迅速に対応可能です。例えば、ChatGPTを活用したチャットボットを電話システムに統合することで、24時間 365日対応を実現し、顧客満足度向上とオペレー

ターの負担軽減に貢献します。

多言語対応の同時通訳

生成AIは、リアルタイムで多言語翻訳を可能にし、グローバルな顧客対応を実現します。音声認識で顧客の音声をテキスト化し、翻訳エンジンで目的の言語に変換後、音声合成で出力することで、同時通訳を行います。例えば、Google翻訳やDeepLのようなツールをAPI経由で連携させることで、多言語対応の顧客サポートを自動化し、言語の壁を越えたシームレスなコミュニケーションを可能にします。

チケットや予約管理

生成AIは、チケットや予約管理の自動化を支援します。顧客からの問い合わせに基づき、希望の日時や人数、座席などをAIが理解し、予約システムと連携して自動的にチケットを発行・管理します。変更やキャンセルにも対応可能で、顧客と担当者の負担を軽減します。例えば、ChatGPTと連携したチャットボットで予約を受け付け、Googleカレンダーと連携してスケジュール管理を行うことで、効率的な予約管理を実現します。

クレーム処理

生成AIは、クレーム処理の効率化と顧客満足度向上に貢献します。顧客からのクレーム内容を自然言語処理で分析し、過去のクレームデータやFAQデータベースと照合することで、適切な対応策を提案します。また、感情分析を用いて顧客の感情を理解し、適切な言葉遣いで対応することで、状況の悪化を防ぎます。例えば、クレーム内容を自動的に分類し、担当部署に割り振ることで、迅速な対応を実現します。さらに、分析結果を基に、サービス改

善や再発防止策につなげることが可能です。

学校学習、言語学習、国家試験

生成AIは、様々な学習場面で活用できます。例えば、学校学習では、宿題の補助や理解不足の分野の補足説明を生成AIで得られます。言語学習では、AIとの会話練習や文法チェック、翻訳支援が可能です。国家試験対策としても、過去問の分析や模擬試験の作成、弱点分野の学習プラン提案など、効果的な学習をサポートします。DuolingoやQuizletのような既存の学習アプリに加え、ChatGPTやGeminiのような生成AIツールも活用することで、学習効率を飛躍的に向上させることが期待できます。

完全オーダーメイドの教育

生成AIは、個々の学習者のレベル、学習スタイル、目標に合わせた完全オーダーメイドの教育を実現します。得意な分野は応用問題で深掘りし、苦手な分野は基本から丁寧に解説するなど、最適な学習パスを提供できます。学習履歴や進捗状況をAIが分析し、リアルタイムで学習内容を調整することで、一人ひとりに最適化された学習体験を提供。例えば、Khan Academyのようなプラットフォームに生成AIを組み込むことで、さらにパーソナライズされた学習支援が可能になります。

学習者に合わせた多角的な説明

生成AIは、1つの概念に対して様々な説明方法を提供できます。例えば、数学の公式を図解、例題、具体的な数値を用いたシミュレーションなど、学習者の理解度や学習スタイルに合わせて多角的に説明することが可能です。視覚的な学習が得意な学習者には図やグラフを用いた説明を、論理的な思考が得意な学習者に

は数式を用いた説明を提供するなど、柔軟な対応が可能です。これにより、従来の一律的な説明では理解が難しかった学習者も、より深く理解できるようになります。

学習履歴を基に成長をサポート

生成AIは、学習者の学習履歴（学習時間、理解度、正答率、つまりポイントなど）を詳細に記録・分析し、個々の成長を効果的にサポートします。過去の学習データに基づいて、弱点分野の克服に向けた個別学習プランを提案したり、学習ペースの調整をアドバイスしたりすることで、学習目標の達成を支援します。さらに、モチベーション維持のためのフィードバックや、学習成果の可視化なども行い、継続的な学習を促進。例えば、Duolingoのような言語学習アプリに生成AIを統合することで、さらにパーソナライズされた学習支援が可能になります。

教育コンテンツの平等な提供

生成AIは、地理的、経済的、身体的な制約にかかわらず、すべての人々に質の高い教育コンテンツへのアクセスを提供する可能性を秘めています。インターネット環境さえあれば、場所や時間に縛られずに学習できます。また、音声認識や音声合成技術を活用することで、視覚障害者や聴覚障害者も学習コンテンツにアクセスできます。多言語対応も容易なため、母語が異なる学習者にも平等な学習機会を提供できます。これにより、教育格差の是正に貢献し、より公平な社会の実現に寄与することが期待されます。

選択と指示だけの時代

生成AIは、プログラミングにおいても変革をもたらしていま

す。従来のコーディングとは異なり、GUIツールを用いて機能を選択し、指示を与えるだけで、AIが自動的にコードを生成する時代になりつつあります。これにより、専門知識がなくてもソフトウェア開発が可能になり、開発期間の短縮やコスト削減につながります。例えば、ChatGPTに「Pythonで〇〇の機能を実装するコードを書いて」と指示すれば、コード例や実装方法を提示してくれます。

90%のエンジニアは不要になる

生成AIによるコーディングの自動化は、一部のエンジニアの役割を変化させる可能性があります。特に、単純なコーディングや反復作業はAIによって代替される可能性が高く、高度な専門知識や創造性を必要としないエンジニアの需要は減少するかもしれません。しかし、AIを理解し、活用できるエンジニア、AIモデルの開発や保守を行うエンジニア、AIでは代替できない高度な設計やアーキテクチャを構築するエンジニアなど、新たな需要も生まれます。そのため、すべてのエンジニアが不要になるのではなく、求められるスキルセットが変化していくと考えられます。

規約・契約書の作成

生成AIは、規約や契約書の作成を支援できます。例えば、雇用契約書、賃貸借契約書、秘密保持契約書など、様々な種類の契約書の雛形を生成することができます。また、特定の条項や文言を追加したり、修正したりすることも可能です。利用可能なツールとしては、ChatGPT、Geminiなどがあります。これにより、法的文書作成の手間と時間を大幅に削減できます。

チェックと修正提案

生成AIは既存の規約や契約書のチェックと修正提案も可能です。例えば、曖昧な表現や矛盾点、法的な問題点などを指摘し、より明確で正確な表現を提案してくれます。また、最新の法令や判例に基づいて、規約の内容が適切かどうかを確認することも可能です。利用可能なツールとしては、ChatGPT、Geminiなどがあります。これにより、規約の精度向上と法務リスクの軽減に貢献します。

要約とアドバイス

生成AIは、複雑な規約や契約書を要約し、重要なポイントを分かりやすく説明することができます。例えば、長文の契約書を数行の要約にしたり、特定の条項についてかみ砕いた解説を提供したりすることが可能です。さらに、規約の内容に基づいて、具体的な行動に関するアドバイスを提供することもできます。利用可能なツールとしては、ChatGPT、Geminiなどがあります。これにより、規約の理解促進と適切な意思決定を支援します。

第3章

プロンプト8+1の公式



3-1

プロンプト8+1の全体像を説明

プロンプト8+1の公式

1.前提条件	タイトル、依頼者情報、前提知識、目的で方向性を決定
2.ペルソナ設定	読み手と書き手のペルソナを指示する
3.参考情報	必要な背景知識や具体例などの参考情報を提示する
4.名詞と動詞	実行内容を名詞と動詞を使って具体的に指示する
5.形容詞と副詞	名詞と動詞を修飾して回答の精度を上げる
6.出力形式	箇条書き、段落構成など、文章の基本形式を指定する
7.出力フォーマット	テンプレート形式で出力テキストの構造を指定する
8.文体指定	使用する言葉のスタイルやトーンを定義
+1 追加指示	追加指示による精度の向上や修正が可能

公式の紹介

- ①前提条件：タイトル、依頼者、前提知識、目的と目標で方向性を指示
- ②ペルソナ設定：読み手と書き手のペルソナを指示する
- ③参考情報：回答を作成するために情報を示す
- ④名詞と動詞：何をすべきかを名詞と動詞を使って指示
- ⑤形容詞と副詞：名詞と動詞を修飾して回答の精度を上げる
- ⑥出力形式：出力を形式で指定する
- ⑦出力フォーマット：文章構造を参考にするように指定する
- ⑧文体指定：使用する言葉のスタイルやトーンを定義
- +1追加指示：再度指示で精度が上がる、繰り返しできる

何を作るのか

- ①前提条件
- ②ペルソナ設定
- ③参考情報
- ④名詞と動詞
- ⑤形容詞と副詞

8+1の公式の中で、①②③④⑤の5つは、何を書くか、内容を決める

どのように作るのか

- ⑥出力形式
- ⑦出力フォーマット
- ⑧文体指定

8+1の公式の中で、⑥⑦⑧の3つは、どのように書くか、表現方法を決める

追加の指示

+1追加指示

8+1の公式の中で生成された成果物に追加で指示を出して回答精度を調整する

参考のプロンプト

以下は、8+1の公式のサンプルプロンプト例です。

①前提条件:

タイトル: 奥さんに感謝の手紙を書く

依頼者条件: 奥さんに感謝の気持ちを伝えたい旦那

前提条件: 感情を心から伝える手紙を作成する

目的と目標: 感謝を心から伝える手紙を作成する

②読み手ペルソナ:

名前: さちえ

年齢: 48歳

性別: 女性

職業: 専業主婦

性格: 内向的、おとなしい

②書き手ペルソナ:

◆ 基本情報

- **名前:** てつや

- **年齢:** 40歳

- **性別:** 男性

- **職業:** カフェ経営(自営業)

- **性格:** 明るく前向きで、友人想いの気さくな性格

- **趣味:** カフェ巡り、サーフィン、アウトドア活動

◆ 文章スタイル

- **基本文体:** 打ち解けた親しみやすい文体

- **表現手法:** 日常的な出来事や感情を素直に伝える

- **構成方法:** 近況報告から始まり、相手を気遣う内容へと展開

◆ 文章トーン

- **基本姿勢:** フレンドリーで親密な雰囲気

- **感情表現:** 素直な感情表現と相手への思いやりを示す

- **対話方針:** 対面で話すような自然な会話の流れを意識

◆ 表現設定

- **人称表現:**

- 一人称: 「僕」「俺」

- 二人称: 「きみ」「(名前)」

- 三人称: 「(名前)」 「あいつ」

- **定型表現:**

- **導入・展開句:** 「元気にしてる?」「そういえば最近ね」「実はこんなことがあってさ」

- **特徴的表現:** 「～だったりして」「～なんだよね」「覚えてる?」

- **文末表現:**

- **基本:** 「～だよ」「～ね」「～さ」

- **バリエーション:** 「～かな」「～よね」

③参考情報:

奥さんと旦那との出会い: 高校の同級生

感謝の具体例: 美味しい料理と家族愛

お礼: 二泊三日北海道旅行

④⑤名詞と動詞と形容詞と副詞を使った実行指示:

{書き手ペルソナ}が
 {読み手ペルソナ}に対して、
 {参考情報}を活用して、
 感謝を伝えるための感動する手紙を
 [#出力フォーマット]を参考にして描いてください。

⑥出力形式:

手紙形式で書き出してください。

⑦出力フォーマット:

[宛名] ○○様
 [本文] ~~~~
 [差出人] △△より

⑧文体指定:

カジュアルスタイルで、
 フレンドリーなトーンで書いてください。

【注意】

分かりやすくするため正しいプロンプトの書き方ではないです。
 詳しくは第5章のプロンプト8+1の記載方法をご覧ください。

3-2

前提条件 (羅針盤をセット!)

1. 羅針盤をセット! 「前提条件」

タイトル : 奥さんに感謝の手紙を書く

依頼者情報: 感謝の気持ちを伝えたい夫

前提知識 : 感情を言葉に表現する能力

目的と目標: 感謝を心から伝える手紙を作成する

前提条件の例

タイトル: 奥さんに感謝の手紙を書く

依頼者情報: 感謝の気持ちを伝えたい夫

前提知識: 感情を言葉に表現する能力

目的と目標: 感謝を心から伝える手紙を作成する

前提条件が必要な場合

長文作成、複雑なタスク: 小説、企画書、詳細なレポートなど、複雑な構成や多くの情報を扱う場合は、前提条件が重要になります。
創造性の高いアウトプットを求める場合: 詩、キャッチコピー、アイデア出しなど、創造性を必要とするタスクの場合、前提条件によって方向性や制約を与えることで、AIがよりユニークで質

の高いアウトプットを生み出すことができます。

前提条件が不必要な場合

短文作成、シンプルなタスク：句読点の修正、誤字脱字の修正、文章の要約、簡単な質問への回答など、シンプルなタスクの場合は、前提条件は基本的に不要です。AIは与えられたテキストに対して直接的な処理を行うことができます。

一般的な指示の場合：「文章を綺麗にしてください」「アイデアを3つ出してください」など、一般的な指示の場合は、詳細な前提条件は不要です。

既存の文章の編集や校正：既存の文章に対して修正や校正を行う場合は、元の文章自体が前提条件となるため、改めて詳細な前提条件を設定する必要はありません。

3-3

ペルソナ設定 (キャラ設定で共感を呼ぶ!)

読み手ペルソナとは何か

読み手ペルソナ



基本情報	：年齢、性別、居住地、職業、家族構成など
性格・価値観	：どのような性格で、どのような価値観を持つか
興味関心	：何に興味があり、どのような情報を求めているか
知識レベル	：どの程度の知識レベルを持っているか
悩み・課題	：どのような悩みや課題を抱えているか
情報収集の方法	：どのような媒体で情報を収集しているか
期待すること	：AIからのアウトプットに何を期待しているか

読み手ペルソナとは、AIへの指示（プロンプト）によって生成されるアウトプットの対象となる**仮想の読者像**のことです。年齢、性別、職業、興味関心、価値観、知識レベルなど、具体的な属性や特徴を設定します。

読み手ペルソナを設定する目的は、AIに**誰に向けて**情報を発信しているかを明確に認識させ、その読者に響くような表現や内容でアウトプットを生成させることです。

なぜ読み手ペルソナを設定するのか

読み手ペルソナを設定することには、以下のようなメリットがあります。

●**AIの出力の精度向上：**読み手のニーズや興味関心に合致した、より適切な情報を生成できます。

●**共感性の高い文章の生成**：読み手の感情や価値観に寄り添った、共感を呼ぶ文章を生成できます。

●**効果的なコミュニケーション**：読み手に合わせた表現やトーンで情報を伝えることで、より効果的なコミュニケーションを実現できます。

●**ミスマッチの防止**：意図しない相手に情報が伝わることを防ぎ、誤解や不快感を与えるリスクを軽減します。

読み手ペルソナの設定項目

読み手ペルソナを設定する際には、以下の項目を考慮すると良いでしょう。

- 基本情報**：年齢、性別、居住地、職業、家族構成など
- 性格・価値観**：どのような性格で、どのような価値観を持っているか
- 興味関心**：何に興味があり、どのような情報を求めているか
- 知識レベル**：どの程度の知識レベルを持っているか（専門家、初心者など）
- 悩み・課題**：どのような悩みや課題を抱えているか
- 情報収集の方法**：どのような媒体で情報を収集しているか
- 期待すること**：AIからのアウトプットに何を期待しているか

これらの項目を参考に、できるだけ詳細なペルソナを設定することが重要です。

設定例

例として、以下のような読み手ペルソナを設定できます。

例：健康食品の購入を検討している主婦

- 名前**：田中 さゆり
- 年齢**：45歳

●**性別**：女性

●**職業**：専業主婦

●**家族構成**：夫、子供2人

●**性格**：健康意識が高く、情報収集好き

●**興味関心**：健康食品、美容、ダイエット

●**知識レベル**：健康に関する一般的な知識はあるが、専門知識は少ない

●**悩み・課題**：最近、疲れやすく、健康に不安を感じている

●**情報収集の方法**：インターネット、SNS、友人からの口コミ

●**期待すること**：信頼できる情報に基づいた、効果的な健康食品の提案

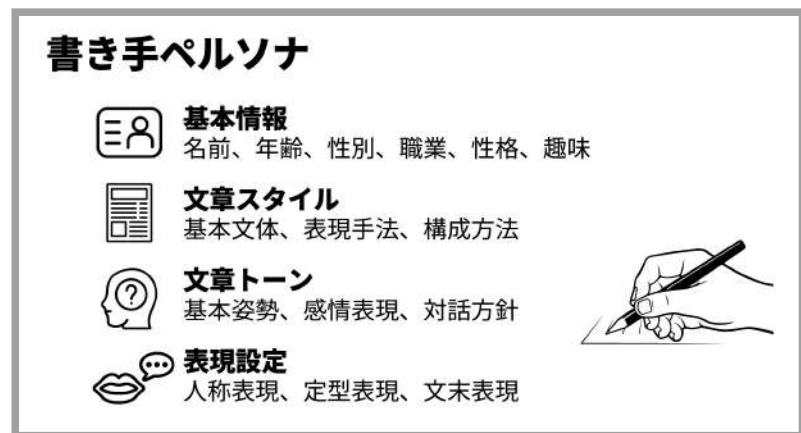
読み手ペルソナを活用する際の注意点

●**固定観念にとらわれない**：読み手ペルソナはあくまでも仮想の人物像であり、現実の個人を完全に反映するものではありません。固定観念にとらわれず、柔軟に設定することが重要です。

●**状況に合わせて調整する**：一度設定したペルソナが常に適切であるとは限りません。状況に合わせてペルソナを調整したり、複数のペルソナを使い分けることが効果的です。

●**過剰な期待をしない**：読み手ペルソナはAIの出力を改善するためのツールであり、万能ではありません。AIの限界を理解した上で、適切に活用することが重要です。

書き手ペルソナとは何か



書き手ペルソナとは、AIにどのような人物としてアウトプットを生成させるかを設定する仮想の人物像のことです。基本情報、文章スタイル、文章トーン、表現設定などの具体的な属性や特徴を設定します。

書き手ペルソナを設定する目的は、AIに特定の役割や個性を持たせ、その書き手らしい表現や内容でアウトプットを生成させることです。

なぜ書き手ペルソナを設定するのか

書き手ペルソナを設定することには、以下のようなメリットがあります。

- **AIの出力の多様性向上**：同じテーマや内容でも、異なる書き手ペルソナを設定することで、多様な視点や表現のアウトプットを生成できます。
- **親近感の醸成**：読者に寄り添うような、親しみやすいペルソナを設定することで、共感と呼ぶ文章を生成できます。
- **表現スタイルの一貫性**：文体や表現方法を明確に設定すること

で、一貫性のある文章を生成できます。

- **情報発信の適切化**：基本情報と表現設定を組み合わせることで、目的に合った情報発信を行えます。

書き手ペルソナの設定項目

書き手ペルソナを設定する際には、以下の項目を考慮すると良いでしょう。

- **基本情報**：名前、年齢、性別、職業、性格、趣味
- **文章スタイル**：基本文体、表現手法、構成方法
- **文章トーン**：基本姿勢、感情表現、対話方針
- **表現設定**：人称表現、定型表現（導入・展開句、特徴的表現）、文末表現

これらの項目を参考に、AIに演じさせたい役割や個性を具体的に設定することが重要です。

設定例

例として、以下のような書き手ペルソナを設定できます。

例：旅行ブログを運営する若手ライター

◆ 基本情報

- 名前：佐藤ユキ
- 年齢：28歳
- 性別：女性
- 職業：フリーランスライター
- 性格：好奇心旺盛で明るく、新しい発見を楽しむ
- 趣味：旅行、写真撮影、カフェ巡り

◆ 文章スタイル

- 基本文体：カジュアルで親しみやすい

- 表現手法：体験に基づく具体的な描写
- 構成方法：時系列や場面ごとの臨場感のある展開

◆ 文章トーン

- 基本姿勢：読者と同じ目線での情報共有
- 感情表現：素直な感動や発見を生き生きと表現
- 対話方針：友人との会話のような親しみやすさ

◆ 表現設定

- 人称表現：
 - 一人称：「私」
 - 二人称：「みなさん」
 - 三人称：「〇〇さん」
- 定型表現：
 - 導入・展開句：「今日は素敵な場所を見つけました！」「これがおすすめポイントです」
 - 特徴的表現：「～がかわいい！」「すごく素敵でした」
- 文末表現：
 - 基本：「です」「ます」「～ね」
 - バリエーション：「かも！」「だと思います」

書き手ペルソナを活用する際の注意点

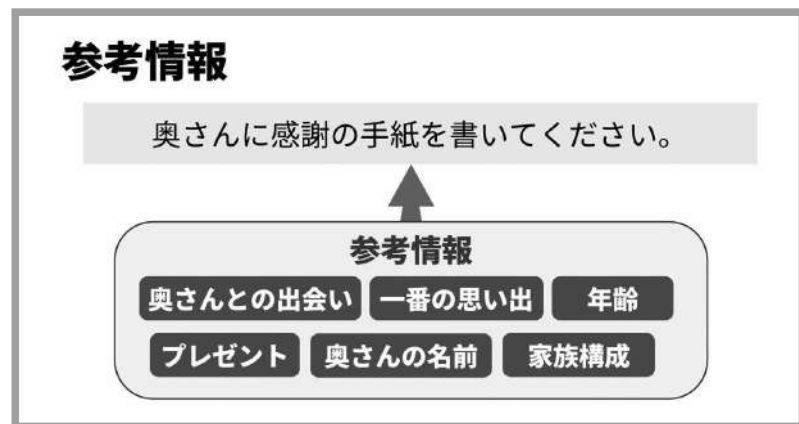
- 一貫性を保つ：一度設定したペルソナは、一貫して維持することが重要です。途中でペルソナが変わると、読者に違和感を与え、混乱させる可能性があります。
- 読者との関係性を意識する：書き手ペルソナは、読者との関係性の中で存在します。読者が誰であることを意識し、適切なペルソナを設定することが重要です。

●過剰な演出を避ける：ペルソナを演じさせることは重要ですが、過剰な演出は不自然さを生み出す可能性があります。自然で、読者に受け入れられる範囲でペルソナを設定することが重要です。

3-4

参考情報 (道しるべを与える!)

参考情報とは何か



参考情報とは、AIに対して、より具体的で質の高いアウトプットを生成させるために与える背景知識や追加情報のことです。キーワード、文章、データ、事実、事例、ウェブサイトのURLなど、様々な形式の情報が参考情報となり得ます。

参考情報を与える目的は、AIの知識を補完し、曖昧さを排除し、アウトプットの方向性を定めることです。

なぜ参考情報が必要なのか

参考情報を与えることには、以下のようなメリットがあります。

- **AIの出力の精度向上**：AIは与えられた情報に基づいて回答を生成するため、参考情報を提供することで、より正確で的確な情報を引き出すことができます。
- **具体的な回答の生成**：抽象的な質問や指示でも、参考情報を提

供することで、具体的な回答や解決策を引き出すことができます。

- **創造性の促進**：参考情報を基に、AIに新たなアイデアや発想を生み出させることができます。
- **時間の節約**：AIが自分で情報を収集する手間を省き、効率的にアウトプットを生成させることができます。
- **事実誤認の防止**：AIが誤った情報に基づいて回答することを防ぎ、信頼性の高いアウトプットを生成できます。

参考情報の種類

参考情報として利用できる情報の種類は多岐にわたります。

- **キーワード**：質問や指示に関連するキーワードを提示することで、AIの焦点を絞り込むことができます。
- **文章**：背景知識や文脈を説明する文章を提供することで、AIの理解を深めることができます。
- **データ**：数値データや統計情報を提供することで、客観的な根拠に基づいた回答を引き出すことができます。
- **事実**：事実関係を明確にすることで、AIが誤った情報を生成することを防ぐことができます。
- **事例**：具体的な事例を提供することで、AIに実践的な解決策を提案させることができます。
- **ウェブサイトのURL**：参考となるウェブサイトのURLを提供することで、AIに最新の情報を収集させることができます。
- **ファイル**：テキストファイル、PDF、画像など、参考となるファイルをアップロードすることも可能です。

参考情報の与え方

参考情報をプロンプトに組み込む方法はいくつかあります。

- **プロンプト文中に直接記述する**：質問や指示に関連するキーワ

ードや文章を、プロンプト文中に直接記述します。

- 箇条書きで提示する**：複数の参考情報を箇条書きで提示することで、AIに整理された情報を与えることができます。
- 引用符で囲む**：特定の文章やデータなどを引用符で囲むことで、参考情報であることを明確に示すことができます。
- 「参考情報：」などのキーワードを使う**：「参考情報：」「追加情報：」などのキーワードを使って、参考情報を明示的に示すことができます。
- ファイルを添付する**：参考となるファイルを添付することで、より詳細な情報をAIに与えることができます。

参考情報を活用する際の注意点

- 関連性の高い情報を提供する**：質問や指示と関連性の低い情報を提供しても、効果は期待できません。
- 情報の信頼性を確認する**：誤った情報や古い情報を提供すると、AIも誤った回答を生成する可能性があります。
- 情報の量を調整する**：情報量が多すぎるとAIの処理能力を超える可能性があり、少なすぎると十分な効果が得られない可能性があります。
- 最新の情報を与える**：特に時事問題やトレンドに関する情報を扱う場合は、最新の情報を与えるように心がけましょう。
- 個人情報や機密情報の扱いに注意する**：個人情報や機密情報を参考情報として与える場合は、情報漏洩のリスクに十分注意しましょう。

3-5

名詞 + 動詞 (行動を命令!)

名詞と動詞の役割

プロンプトにおいて、名詞と動詞はAIへの指示を構成する最も重要な要素です。名詞は指示の対象や内容を定め、動詞はAIに具体的な行動を指示します。この二つを適切に組み合わせることで、AIに意図した通りのアウトプットを生成させることができます。

名詞の役割

名詞の重要性

×評価書	×指示書	×マニュアル
○業績評価書	○作業指示書	○操作マニュアル
○顧客満足度調査	○業務指示書	○業務マニュアル
○自己評価シート	○製造指示書	○研修マニュアル
○商品評価レポート	○出荷指示書	○品質管理マニュアル
○人事評価書	○改善指示書	○安全管理マニュアル
○部門実績報告書	○品質管理指示書	○緊急時対応マニュアル
○品質管理リスト	○安全作業指示書	○サービスマニュアル

名詞は、プロンプトの中で「何を」対象とするかを明確にする役割を担います。指示の対象となる物、事柄、概念などを具体的に示すことで、AIが何について考え、どのような情報を出力すべきかを理解するのに役立ちます。

具体例：

●悪い例：「まとめて」

→何をまとめるのか不明確です。

●良い例：「レポートをまとめて」「箇条書きでアイデアをまとめて」「メールの文章をまとめて」

→「レポート」「アイデア」「メールの文章」という名詞を使うことで、何を対象に作業するのが明確になります。

「具体的な名詞」を使う

AIへの指示（プロンプト）において、名詞は指示対象を定める重要な役割を担います。しかし、曖昧な名詞を使用すると、AIは指示内容を正確に理解できず、期待通りのアウトプットが得られない可能性があります。

そこで、プロンプト作成においては、「曖昧な名詞」を「具体的な名詞」に変換することが重要です。これにより、AIは指示対象を明確に把握し、よりの確で質の高いアウトプットを生成できるようになります。

以下に、具体的な名詞への変換例をいくつか示します。

例1) 報告書 → 具体的な報告書の種類

×報告書

- 活動報告書
- 業務報告書
- 調査報告書
- 進捗報告書
- 結果報告書

「報告書」という言葉だけでは、どのような種類の報告書を指

しているのか曖昧です。活動内容、業務内容、調査結果、進捗状況、結果など、報告書の種類を具体的に示すことで、AIはよりの確なアウトプットを生成できます。

例2) 計画書 → 具体的な計画書の種類

×計画書

- 事業計画書
- 実施計画書
- 行動計画書
- 戦略計画書
- プロジェクト計画書

「計画書」という言葉だけでは、どのような計画書を指しているのか不明確です。事業、実施、行動、戦略、プロジェクトなど、計画の種類を具体的に示すことで、AIは計画の目的や内容を正確に把握できます。

このように、曖昧な名詞を具体的な名詞に変換することで、AIへの指示はより明確になり、期待通りのアウトプットを得られる可能性が高まります。

プロンプトを作成する際には、常に名詞の具体性を意識し、曖昧な表現を避けるように心がけましょう。

動詞の役割

動詞は、プロンプトの中でAIに「どのように」行動するかを指示する役割を担います。

AIに実行させたい具体的なアクションを動詞で示すことで、AIがどのような処理を行い、どのような形式でアウトプットを生成すべきかを理解するのに役立ちます。

具体例：

●悪い例：「レポートについて」

→レポートについて何をするのか不明確です。

●良い例：「レポートを要約して」「レポートを校正して」「レポートの問題点を指摘して」

→「要約する」「校正する」「指摘する」という動詞を使うことで、AIに具体的な行動を指示できます。

名詞と動詞の組み合わせ

名詞と動詞を組み合わせることで、AIへの指示はより具体的に明確になります。名詞で指示の対象を定め、動詞で具体的な行動を指示することで、AIはより正確に指示を理解し、意図した通りのアウトプットを生成することができます。

具体例：

●悪い例：「書いて」

→何を書くのか、どのように書くのか不明確です。

●良い例：「ブログ記事のタイトル案を5つ提案して」「顧客からの問い合わせ内容を分類して」「新商品のキャッチコピーを3パターン作成して」

→名詞（ブログ記事のタイトル案、顧客からの問い合わせ内容、新商品のキャッチコピー）で何を対象とするかを明確にし、動詞（提案して、分類して、作成して）で具体的な行動を指示することで、AIに何を求めているのかが明確に伝わります。

このように、名詞と動詞を適切に組み合わせることで、AIへの指示の精度を高め、より質の高いアウトプットを引き出すことができます。

名詞と動詞を選ぶ際の注意点

具体的で明確な言葉を選ぶ：曖昧な言葉や多義的な言葉は避け、具体的で明確な意味を持つ名詞と動詞を選びましょう。

AIが理解できる言葉を選ぶ：専門用語や俗語を使いすぎると、AIが正しく理解できない場合があります。AIが理解しやすい一般的な言葉を選ぶように心がけましょう。

目的に合った言葉を選ぶ：AIに生成させたいアウトプットの種類や形式に合わせて、適切な名詞と動詞を選びましょう。

指示語を避ける：「あれ」「それ」などの指示語は、AIが何を指しているのかを判断できないため、具体的な名詞に置き換えるようにしましょう。

3-6

形容詞＋副詞 (魔法の言葉で彩る!)

魔法の言葉で彩る！「形容詞＋副詞」

(魅力的な) ラブレターを (分かりやすく) 書いて
 (刺激的な) メルマガを (力強く) 作って
 (役立つ) サービスを (丁寧に) 比較
 (理論的に) 技術進化を (詳しく) 説明
 (楽しい) アイデアを (積極的に) 提案
 (感情揺さぶる) 物語を (巧みに) 作って
 (魅了する) ブログ記事を (面白く) 書いて
 (分かりやすい) データを (具体的に) 解説

プロンプトにおいて、形容詞は名詞を、副詞は動詞や形容詞を修飾し、AIへの指示をより具体的かつ詳細にする重要な役割を担います。これらの品詞を適切に用いることで、出力結果の質、トーン、スタイルなどをきめ細かくコントロールし、より望ましいアウトプットを生成させることができます。

形容詞と副詞の効果

これらを使用することで、以下のような効果が期待できます。

- **出力の具体化**：抽象的な名詞を形容詞で、動詞を副詞で修飾することで、AIが生成するアウトプットをより正確に具体化することができます。例えば「詳細な分析を効率的に行う」といった指示が可能です。
- **出力の質の向上**：望ましい出力の質を形容詞や副詞で指定することで、AIはより質の高いアウトプットを生成しようとしま

す。「詳細な」「正確な」といった形容詞や、「明確に」「効果的に」といった副詞を用いることで、出力の質を向上させることができます。

● **トーンとスタイルのコントロール**：「フォーマルな」「カジュアルな」といった形容詞や、「丁寧に」「親しみやすく」といった副詞を用いることで、出力のトーンとスタイルを細かく調整することができます。

● **AIの理解促進**：形容詞と副詞を適切に組み合わせることで、AIが指示内容をより深く理解し、より適切なアウトプットを生成できるようになります。

形容詞と副詞の選び方

これらを選ぶ際には、以下のポイントに注意しましょう。

- **具体的で明確な表現を選ぶ**：曖昧な表現は避け、具体的で明確な意味を持つ形容詞・副詞を選びましょう。
- **目的に合った表現を選ぶ**：生成したいアウトプットの種類や目的に合わせて、適切な形容詞・副詞を選びましょう。
- **効果的な組み合わせを考える**：形容詞と副詞を適切に組み合わせることで、より詳細な指示を与えることができます。
- **否定的な表現に注意する**：「～ではない」「～しないように」のような否定的な表現は、AIが指示を理解しにくくなる場合があるので、できるだけ具体的な指示に置き換えましょう。

使用例

以下に、具体的な形容詞と副詞の使用例を示します。

「詳細な市場分析を効率的に行ってください。」

「魅力的なキャッチコピーを創造的に考えてください。」

「フォーマルな手紙を丁寧に作成してください。」

「内容を分かりやすく説明し、簡潔な文章にまとめてください。」

「実践的なアドバイスを具体的に提案してください。」

「励みになるメッセージを心を込めて作成してください。」

「斬新なアイデアを論理的に展開してください。」

これらの例のように、形容詞と副詞を適切に組み合わせることで、AIへの指示がより具体的になり、出力結果の質を向上させることができます。

使用する際の注意点

●**使いすぎに注意**：形容詞や副詞を使いすぎると、指示が冗長になり、AIが指示を理解しにくくなる場合があります。必要な表現を厳選して使用しましょう。

●**矛盾する表現を避ける**：「詳細に簡略化する」のように矛盾する表現は、AIを混乱させる可能性があります。

●**適切な品詞の使用**：形容詞は名詞を、副詞は動詞や形容詞を修飾するものです。それぞれの品詞の特性を理解し、文法的に正しい形で使用しましょう。

3-7

出力形式 (形を整える!)

出力形式とは何か

出力形式（言葉で指示）

- ・箇条書きで
- ・ステップバイステップで
- ・ビフォーアフターで
- ・Q&A形式で
- ・表をつかって
- ・プロとの対話形式で
- ・ストーリー、物語形式で



出力形式とは、AIが生成するアウトプットの構造や表現方法のことです。出力形式を指定することで、AIは指示されたフォーマットに従って情報を整理し、出力します。これにより、情報がより見やすく、理解しやすくなり、利用目的に合致したアウトプットを得ることができます。

出力形式の指定方法

プロンプトで出力形式を指定するには、通常、指示文の最後に「〇〇の形式で出力してください」のように記述します。例えば、「箇条書きで出力してください」「表形式でまとめてください」といった具合です。より具体的なフォーマットを指定したい場合は、例を示すことも有効です。

出力形式の例

以下に、代表的な出力形式の例を挙げ、それぞれの特徴と用途を説明します。

●**箇条書き**：シンプルに情報を列挙する形式です。複数の項目を簡潔に伝えたい場合や、リストを作成したい場合に適しています。

例：買い物リスト、ToDoリスト、メリット・デメリットの比較など

●**ストーリー形式**：物語のように情報を展開する形式です。エンターテインメント性の高いコンテンツを作成したい場合や、複雑な情報を分かりやすく伝えたい場合に適しています。

例：小説、脚本、絵本、説明動画のナレーションなど

●**会話形式**：対話形式で情報を伝える形式です。キャラクター同士の会話を想定したコンテンツを作成したい場合や、異なる視点を取り入れたい場合に適しています。

例：チャットボットの応答、インタビュー記事、台本など

●**日記形式**：個人の記録として情報を記述する形式です。特定の出来事や感情を表現したい場合や、個人的な視点を強調したい場合に適しています。

例：日記、ブログ、体験談など

●**ロールプレイ形式**：特定の役割を設定し、その役割を演じる形で情報を伝える形式です。状況に応じた対応をシミュレーションしたい場合や、トレーニング教材を作成したい場合に適しています。

例：顧客対応の練習、面接の練習、ゲームのシナリオなど

●**スクリプト形式**：台本やコードのように、特定の構文や規則に従って情報を記述する形式です。プログラムを作成したい場合や、正確な手順を伝えたい場合に適しています。

例：プログラミングコード、調理手順、実験手順など

●**Q&A形式**：質問と答えの形式で情報を伝える形式です。FAQを作成したい場合や、特定の疑問に対する回答を提供したい場合に適しています。

例：FAQページ、ヘルプドキュメント、製品情報など

●**表形式**：行と列でデータを整理する形式です。大量のデータを分かりやすく提示したい場合や、複数の項目を比較したい場合に適しています。

例：比較表、売上データ、統計データなど

出力形式を選ぶ際のポイント

出力形式を選ぶ際には、以下のポイントを考慮しましょう。

●**情報の性質**：伝えたい情報の種類や量に合わせて、適切な出力形式を選びましょう。

●**利用目的**：アウトプットをどのように利用するかを考え、目的に合った出力形式を選びましょう。

●**読み手の特性**：誰に情報を伝えたいかを考え、読み手にとって理解しやすい出力形式を選びましょう。

出力フォーマット (お手本を見せる!)

出力フォーマットの説明

出力フォーマット (お手本を見せる)

手紙の出力フォーマット

[宛名] ○○様
[本文] ~~~~
[差出人] △△より

比較表の出力フォーマット

項目	A製品	B製品	C製品
---	---	---	---
価格	〇〇円	〇〇円	〇〇円
機能	〇〇	〇〇	〇〇
性能	〇〇	〇〇	〇〇

出力フォーマットとは、AIに生成させたいアウトプットの具体的な構造やレイアウトを指定するものです。いわば、AIのための「目次」や「設計図」のような役割を果たします。出力フォーマットを明確に指定することで、AIはどのような内容を、どのような順番で、どのような形式で書けば良いかを理解し、より意図に沿ったアウトプットを生成することができます。

なぜ出力フォーマットが必要なのか?

AIは強力なツールですが、必ずしも人間の意図を完璧に理解できるわけではありません。特に複雑な構造のアウトプットを生成させたい場合、出力フォーマットを指定することで、AIの理解を助け、出力の精度を向上させることができます。

出力フォーマットを指定することで得られるメリットは次のと

おりです。

- **AIの理解促進**：AIが生成するアウトプットの構造や内容を理解しやすくなります。
- **出力の質の向上**：指示が具体的になるため、より質の高いアウトプットが期待できます。
- **修正の手間削減**：最初から意図通りの構造でアウトプットが生成されるため、修正の手間を減らすことができます。
- **一貫性の確保**：複数のアウトプットを生成する場合でも、フォーマットを指定することで一貫性を保つことができます。

出力フォーマットの指定方法

出力フォーマットは、プロンプト内で具体的に記述することでAIに指示します。以下にいくつかの例を挙げ、それぞれの指定方法を説明します。

例1) 構造を説明

手紙のフォーマットを指定する場合：

[宛名] ○○様
[本文] ~~~~
[差出人] △△より

このように、各要素を括弧で囲み、具体的な配置を指示することで、AIは手紙の形式でアウトプットを生成します。

例2) 文章構造を明確に見せる

物語のフォーマットを指定する場合：

- 始まり：主人公の紹介と物語の舞台設定
- 中間：問題が発生し主人公が困難に立ち向かう

- 終わり：問題が解決し、物語が終結する

このように、物語の展開を箇条書きで示すことで、AIは物語の構成を理解し、それに沿ったアウトプットを生成します。

例3) 書いてもらいたい事一覧

商品紹介文のフォーマットを指定する場合：

- キャッチコピー：商品の魅力を一言で表現したフレーズ
- 商品説明：商品の機能や特徴を詳細に説明した文章
- お客様の声：実際に商品を使用したお客様の感想

このように、必要な要素をリストアップすることで、AIは不足なく必要な情報を盛り込んだアウトプットを生成します。

例4) 表形式

比較表を作成する場合：

項目	A 製品	B 製品	C 製品
---	---	---	---
価格	〇〇円	〇〇円	〇〇円
機能	〇〇	〇〇	〇〇
性能	〇〇	〇〇	〇〇

このように、表の形式を具体的に示すことで、AIは指定された形式で情報を整理し、出力します。

まとめ

出力フォーマットは、AIに具体的な指示を与えるための重要な要素です。出力フォーマットを適切に指定することで、AIは

より質の高い、意図に沿ったアウトプットを生成することができます。プロンプトを作成する際には、出力形式と合わせて出力フォーマットも意識することで、AIとのコミュニケーションをより円滑に進めることができるでしょう。

出力フォーマットを活用する際の注意点

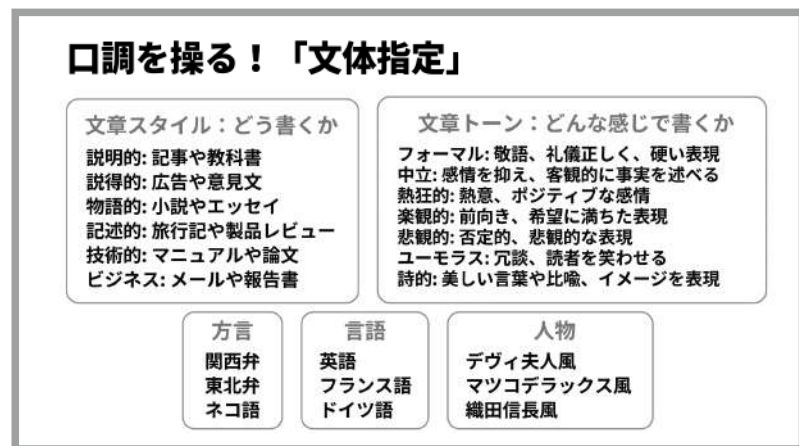
●**目的との適合性**：出力フォーマットは、作成したいアウトプットの目的に合致している必要があります。フォーマットの構造や内容が目的とずれていると、AIは適切なアウトプットを生成できません。

●**情報の過不足**：出力フォーマットには、AIが必要とする情報が過不足なく含まれている必要があります。情報が不足しているとAIは適切なアウトプットを生成できず、情報が多すぎるとAIが混乱する可能性があります。

●**AIの理解度**：出力フォーマットは、AIが理解できる形式で記述する必要があります。複雑すぎる構造や専門用語は避け、明確で簡潔な表現を用いることが重要です。

●**柔軟性**：出力フォーマットはあくまでガイドラインであり、状況に応じて柔軟に変更する必要があります。フォーマットに過度に固執すると、AIの創造性を阻害する可能性があります。

文体指定



文体指定の定義と目的

文体指定とは、AIが生成するテキストの表現方法を具体的に指示することです。単に「何を書くか」だけでなく、「どのように書くか」をAIに伝えることで、より目的に適った文章を生成することができます。

文体指定を行うことで、以下のような効果が期待できます：

- ・読み手に合わせた適切な表現の選択
- ・文章の印象や雰囲気のコントロール
- ・メッセージの効果的な伝達
- ・コンテンツの個性化や差別化

口調を操る重要性

AIを使って文章を生成する際、口調を適切に操ることは極めて重要です。

なぜなら、同じ内容でも、口調によって読み手への印象が大き

く変わるためです。目的や場面に応じた適切な表現を選ぶことで、読み手との適切な距離感を作り出すことができます。また、ブランドや個人の独自性を表現する手段としても効果的です。

文章スタイルと文章トーンの違い

多くの人が「スタイル」と「トーン」を混同しがちですが、これらは異なる要素です。適切に使い分けることで、より効果的な文章生成が可能になります。

文章スタイル：「どう書くか」

文章スタイルとは、文章の「構造」や「型」を指します。これは「情報をどのように組み立てて伝えるか」という方法論に関わります。例えば：

- ・説明文として書くか
- ・物語として書くか
- ・箇条書きで書くか
- ・レポート形式で書くか

文章トーン：「どんな感じで書くか」

文章トーンとは、文章の「調子」や「雰囲気」を指します。これは「どのような印象を与えるか」という感情的な側面に関わります。例えば：

- ・フォーマルな印象を与えるか
- ・カジュアルな雰囲気を出すか
- ・明るい調子で書くか
- ・厳かな印象を与えるか

それぞれの役割と使い分け

スタイルとトーンは、以下のように使い分けることで効果的な文章を作ることができます：

◆スタイルの選択基準：

- ・コンテンツの種類（記事、小説、マニュアルなど）
- ・情報の伝達方法
- ・文章の目的（説明、説得、物語など）
- ・読み手の理解しやすさ

◆トーンの選択基準：

- ・読み手との関係性
- ・伝えたい印象
- ・場面や状況の適切さ
- ・ブランドや個人の個性

これらを適切に組み合わせることで、より効果的なコミュニケーションが可能になります。例えば、技術的なマニュアルを書く場合でも、親しみやすいトーンを使うことで、難しい内容をより理解しやすく伝えることができます。

文章スタイルの種類

説明的：記事や教科書形式

- ・客観的な事実を正確に伝える
- ・分かりやすい言葉と論理的な構成を用いる
- ・例：「文体指定とは、AIが生成するテキストの表現方法を具体的に指示することです。」

説得的：広告や意見文

- ・読み手の行動や考えに影響を与えることを目的とする
- ・感情に訴えかける表現や具体的な根拠を使用
- ・例：「この文体指定の技術を使えば、あなたの文章は確実に魅力的になります！」

物語的：小説やエッセイ

- ・出来事や経験を物語として描写
- ・情景描写や心情表現を豊かに用いる
- ・例：「私がAIの文体指定と出会ったのは、ある雨の日のことでした...」

記述的：旅行記や製品レビュー

- ・対象の特徴や印象を詳細に描写
- ・具体的な観察や体験を基に書く
- ・例：「この機能は、まるで熟練の編集者が隣にいるかのような細やかなサポートを提供します。」

技術的：マニュアルや論文

- ・専門的な情報を正確に伝える
- ・術語や定型表現を適切に使用
- ・例：「本システムにおける文体指定の実装方法について詳述する。」

ビジネス：メールや報告書

- ・簡潔かつ正確な情報伝達を重視
- ・フォーマルな表現を用いる
- ・例：「文体指定機能の導入により、以下の成果が得られました。」

文章のトーンのバリエーション

フォーマル：敬語、礼儀正しく

- ・丁寧な言葉遣いと敬語を使用
- ・節度ある表現を心がける
- ・例：「ご指定いただいた文体に従って作成させていただきます。」

中立：感情を抑え、客観的に

- ・個人的な感情を排除
- ・事実に基づいた冷静な記述
- ・例：「文体指定には以下の特徴がある。」

熱狂的：熱意、ポジティブな感情

- ・強い感情を表現
- ・感嘆符や強調表現を多用
- ・例：「この文体指定がもたらす可能性は無限大です！」

楽観的：前向き、希望に満ちた表現

- ・肯定的な見方を示す
- ・将来への期待を込める
- ・例：「文体指定を使えば、きっと素晴らしい文章が書けるようになりますよ。」

悲観的：否定的、悲観的な表現

- ・マイナス面に焦点を当てる
- ・懸念や不安を強調
- ・例：「この文体指定では完璧な文章は作れないかもしれません...」

ユーモラス：冗談、読者を笑わせる

- ・面白さや軽さを意識
- ・ユーモアのある表現を使用
- ・例：「文体指定との出会いで、私の文章力が爆上がり...なんてね(笑)」

詩的：美しい言葉や比喩、イメージ表現

- ・美的な表現や比喩を多用
- ・感性に訴えかける言葉選び
- ・例：「文体指定は、言葉という画布に描く筆のように...」

特殊な文体指定

文体指定には、一般的なスタイルやトーンの指定に加えて、より特徴的な表現方法を選択することもできます。

これらの特殊な文体指定は、文章に独特の個性や魅力を加え、読み手の興味を引きつけたり、より印象的なメッセージを伝えたりする際に有効です。

方言や特定の言語、著名人の話し方を模倣することで、通常の文章では表現しきれない雰囲気や世界観を創り出すことができます。ただし、使用する際は文脈や目的に応じて適切に選択することが重要です。

方言

- ・関西弁、東北弁などの地域性のある言葉遣い
- ・ネコ語のような創作的な言葉遣い
- ・例：「ほな、この文体でいくでー！」(関西弁)

言語

- ・ 英語、フランス語、ドイツ語など
- ・ 各言語特有の表現やニュアンスを考慮
- ・ 例：「Hello, let's talk about writing styles!」

人物風

- ・ 特定の人物の話し方を模倣
- ・ キャラクター性を意識した表現
- ・ 例：「まあ、素晴らしいですわ」(デヴィ夫人風)

3-10

追加指示

(+ 1：さらなる高みを目指して)

追加指示の説明

追加指示

求める成果物が得られないとき、同じスレッドで
続けて指示をする



「〇〇について、より詳細な情報を加えてください。」

「〇〇の観点ではなく、〇〇の観点から説明してください。」

「〇〇という制約条件を加えて、アイデアを再考してください。」

「最も重要な3点に絞って説明してください。」

「必要な道具や、費用、時間などを含めて説明してください。」

追加指示とは、AIが生成した最初のアウトプットに対して、より詳細な指示や修正を伝えることで、出力の精度を向上させるための指示です。AIとの対話を重ねることで、より理想的なアウトプットに近づけることができます。

追加指示の例

既存の例に加え、より具体的に効果的な追加指示の例を挙げ、それぞれどのような状況で活用できるかを解説します。

■情報が不足■

1. 「〇〇について、より詳細な情報を加えてください。」：特定の情報が不足している場合、具体的にどの情報を追加してほしいかを指示します。

例：「バッテリーの持続時間について、より詳細な情報を加えてください。」

2. 「〇〇の具体的な数値データや統計情報を提示してください。」：定量的な情報が不足している場合、数値データや統計情報を求めることで、より説得力のあるアウトプットを得られます。
例：「市場シェアの具体的な数値データや統計情報を提示してください。」

■方向性を修正■

1. 「焦点を〇〇に合わせて、改めて説明してください。」：出力が焦点からずれている場合、改めて焦点を絞り直すように指示します。
例：「焦点を競合製品との比較に合わせて、改めて説明してください。」
2. 「〇〇の観点ではなく、〇〇の観点から説明してください。」：視点が不適切な場合、別の観点から説明するように指示します。
例：「消費者の観点ではなく、開発者の観点から説明してください。」

■成果物が不明確■

1. 「〇〇という観点で、結論をもう一度明確に提示してください。」：結論が不明確な場合、どのような観点で結論を導き出すべきかを指示します。
例：「費用対効果という観点で、結論をもう一度明確に提示してください。」
2. 「複数の選択肢を提示し、それぞれについてメリット・デメリットを比較してください。」：解決策が1つしか提示されていない場合、複数の選択肢を提示し、比較検討するように指示します。

■視覚的サポートを改善■

1. 「〇〇を用いて、情報を視覚的に分かりやすく表現してください。」

例：「グラフ、図表、画像など、視覚的な表現方法を具体的に指示します。」

例：「円グラフを用いて、市場シェアを視覚的に分かりやすく表現してください。」

2. 「〇〇に適したレイアウトに調整してください。」：プレゼンテーション、レポート、ウェブサイトなど、出力の用途に合わせたレイアウトを指示します。

例：「プレゼンテーションに適したレイアウトに調整してください。」

■新たな視点やアイデア■

1. 「〇〇という制約条件を加えて、アイデアを再考してください。」：制約条件を明確にすることで、より現実的なアイデアを生成させることができます。
例：「予算100万円という制約条件を加えて、アイデアを再考してください。」
2. 「〇〇の分野の専門家という視点で、アイデアを提案してください。」：専門家の視点を導入することで、より専門的で質の高いアイデアを生成させることができます。
例：「マーケティングの分野の専門家という視点で、アイデアを提案してください。」

■スタイルやトーンへの調整■

1. 「より〇〇な読者を想定して、文体を調整してください。」：ターゲット読者を具体的に示すことで、より適切な文体でテキストを生成させることができます。
例：「より若い読者を想定して、文体を調整してください。」
2. 「〇〇のような表現は避け、〇〇のような表現を使用してください。」：具体的な表現を指示することで、より細かい文体の調整

を行うことができます。

例:「専門用語は避け、より分かりやすい表現を使用してください。」

■知識レベルの不一致■

1. 「〇〇を前提知識として説明してください。」: 前提知識を明確にすることで、読者の知識レベルに合わせた説明を生成させることができます。

例:「高校レベルの数学を前提知識として説明してください。」

2. 「〇〇に関する知識は既に持っていると仮定して、説明してください。」: 既知の情報を省略することで、より効率的な説明を生成させることができます。

■単語の選択が不適切■

1. 「〇〇のような表現ではなく、〇〇のような表現を使ってください。」: 具体的な表現を指示することで、より適切な単語の選択を促すことができます。

2. 「対象読者の年齢層を考慮し、適切な言葉遣いにしてください。」: 読者層を意識させることで、より適切な言葉遣いを促すことができます。

■情報過剰が問題■

1. 「〇〇字以内で要約してください。」: 文字数制限を設けることで、簡潔な要約を生成させることができます。

2. 「最も重要な〇〇点に絞って説明してください。」: 重要な点の数を指定することで、情報の絞り込みを促すことができます。

■実践的な指示を求める■

1. 「各手順に具体的な行動と、期待される結果を記述してくださ

い。」: 手順をより具体的に記述することで、実行可能な指示を作成することができます。

2. 「必要な道具や材料、費用、時間などを含めて説明してください。」: 実行に必要な情報を網羅的に提示することで、より実践的な指示を作成することができます。

これらの追加指示を参考に、AIとの対話を重ね、より質の高いアウトプットを目指してください。

3-11 「8 + 1 の公式」について

プロンプトエンジニアリングの8 + 1の要素で 高精度なアウトプットを!

プロンプト8 + 1の公式

1.前提条件	依頼者、制作者、目的を提示して方向性を指示
2.ペルソナ設定	読み手と書き手のペルソナを指示する
3.参考情報	回答を作成するために情報を示す
4.名詞と動詞	何をすべきかを名詞と動詞を使って指示
5.形容詞と副詞	名詞と動詞を修飾して回答の精度を上げる
6.出力形式	出力を形式で指定する
7.出力フォーマット	文章構造を参考にするように指定する
8.文体指定	使用する言葉のスタイルやトーンを定義
+1 追加指示	再度指示で精度が上がる、繰り返しできる

プロンプトエンジニアリングは、AIとの効果的なコミュニケーションを実現するための重要な技術です。AIが期待通りのアウトプットを生成するためには、明確で具体的な指示を与える必要があります。これを可能にするのが、プロンプトと呼ばれる指示文です。

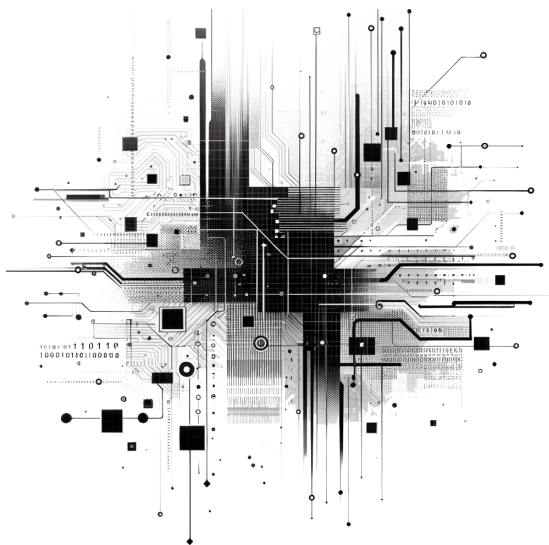
しかし、ただ漠然とした指示では、AIは意図を読み取れず、不正確な、あるいは的外れの結果を生み出す可能性があります。そこで、プロンプトの質を高めるために、以下の8+1の要素を意識的に活用することが重要です。これらを効果的に組み合わせることで、AIの能力を最大限に引き出し、高精度なアウトプットを得ることができます。

- 1.前提条件：タイトル、依頼者、前提知識、目的などを明確に示すことで、AIにタスクの全体像を理解させます。
 - 2.ペルソナ設定：読み手と書き手のペルソナを設定することで、AIに適切な文体やトーンを指示し、より共感性の高いアウトプットを生成させます。
 - 3.参考情報：AIに与える背景知識や追加情報を提供することで、出力の精度と具体性を高めます。
 - 4.名詞と動詞：名詞で指示の対象を、動詞でAIに実行させる動作を明確に指定することで、AIがタスクを正しく理解できるようにします。
 - 5.形容詞と副詞：名詞と動詞を修飾することで、出力の質、トーン、スタイルをより詳細に制御し、望ましいアウトプットを生成させます。
 - 6.出力形式：AIが生成するアウトプットの全体的な構造(例：手紙、ブログ記事、詩)を指定します。
 - 7.出力フォーマット：出力形式に加え、より具体的なレイアウトや構成要素(例：件名、本文、署名)を指定することで、AIが情報を整理しやすくします。
 - 8.文体指定：AIが生成するテキストの表現スタイルを指定することで、特定の雰囲気や個性を表現したテキストを作成します。
- +1 追加指示：最初のアウトプットに対して、より詳細な指示や修正を伝えることで、出力の精度を段階的に向上させます。

これらの8+1の要素は、プロンプト作成における重要なチェックポイントです。もしAIからの回答が期待に沿わない場合、これらの要素のうちどれが不足しているか、あるいは適切でないかを検討することで、プロンプトの改善点を明確に特定できます。逆に、プロンプト作成時にこれらの要素を意識的に組み込むこと

で、最初から質の高いプロンプトを作成し、修正の手間を最小限に抑えることができます。

プロンプトエンジニアリングは、AIとの協働を成功させるための必須スキルです。これらの要素を理解し、実践することで、AIの潜在能力を最大限に引き出し、様々なタスクを効率的にこなすことができるようになります。



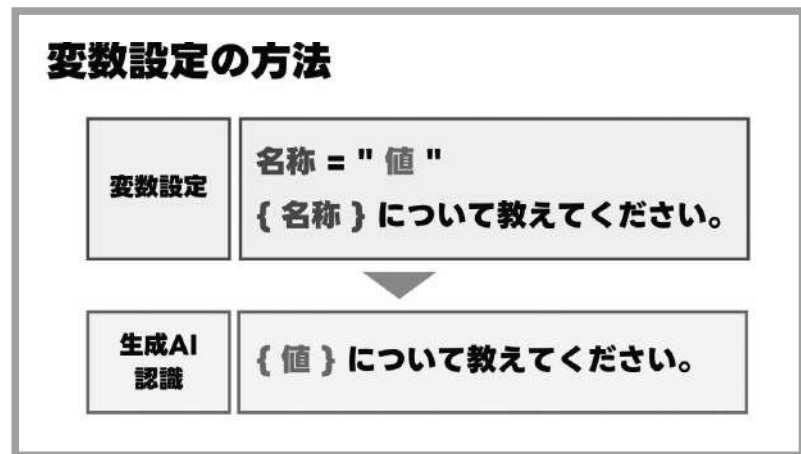
第4章

プロンプト応用編



4-1 変数を使うプロンプト技術

変数とは



変数とは、プログラミングやプロンプトにおいて、一時的に値を保存しておくための「名前付きの箱」のようなものです。

変数の役割

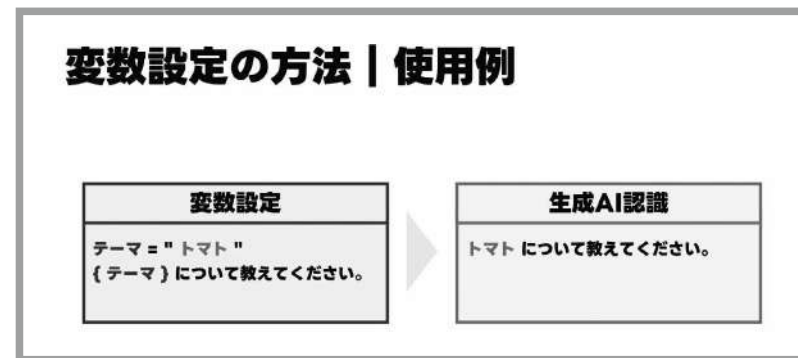
変数を使うことで、以下の2つの主なメリットが得られます。

1. 繰り返し利用される値を効率的に管理する：同じ値を何度も使う場合、その値をいちいち記述する代わりに、変数に値を保存しておき、変数名を使ってその値を参照することで、プロンプトを簡潔にできます。
2. 値を柔軟に変更できるようにする：プロンプト内で同じ値を複数箇所で使用している場合、その値を変更したい時は、すべての箇所を書き換える必要がありますが、変数を使っていれば、変数の値を変更するだけで済みます。

変数のイメージ

変数とは、ラベルの付いた箱のようなものを想像すると分かりやすいです。

- ラベル：変数名（箱の名前）
- 中身：変数に保存される値



ここでは、変数設定の基本的な方法を説明します。変数設定は、

●名称 = “値”

という形式で行います。例えば、「テーマ = “トマト”」と設定すると、「テーマ」という名前の変数に「トマト」という値が保存されます。

そして、プロンプトの中で変数を使いたい箇所は、

●{名称}

のように、波括弧で囲みます。例えば、「{テーマ}について教えてください。」と指示すると、生成AIは「トマトについて教えてください。」と認識します。

変数設定をする意味

プロンプトの再利用性と柔軟性を高める

テーマ = "ChatGPTの活用法"

{ テーマ }に関する
ブログ記事を作成してください。
また、{ テーマ }に関する
記事タイトルも作成してください。

テーマの中身のみ変更すれば
ほかのブログをすぐに作成できる

文章中に変数の値は何か所でも
使うことができる

変数設定のメリット

- プロンプトの再利用性の向上：変数を使う最大のメリットは、プロンプトを再利用しやすくなることです。
- プロンプトの柔軟性の向上：変数はプロンプト内で複数回使用できます。

この上図の例では、「{テーマ}に関するブログ記事を作成してください。」と「{テーマ}に関する記事タイトルも作成してください。」の2箇所に変数 {テーマ} を使用しています。

このように、複数の場所で同じ変数を使うことで、1つの変数の値を変更するだけで、プロンプト全体に反映させることができます。また、変数の値は文章中のあらゆる箇所に挿入できるので、プロンプトの表現力も向上します。

変数設定の注意点

変数名にも意味を持たせることで
指示の文脈が明確になり、生成AIの出力の精度が向上する

変数名に
意味がある

テーマ = " トマト "
{ テーマ } について教えてください。

変数名に
意味がない

変数1 = " トマト "
{ 変数1 } について教えてください。

変数設定の注意点として、変数名にも意味を持たせることが重要です。変数名に意味を持たせることで、指示の文脈が明確になり、生成AIの出力の精度が向上します。

- 変数名に意味がある例：「テーマ = “トマト”」「{テーマ}」について教えてください。」

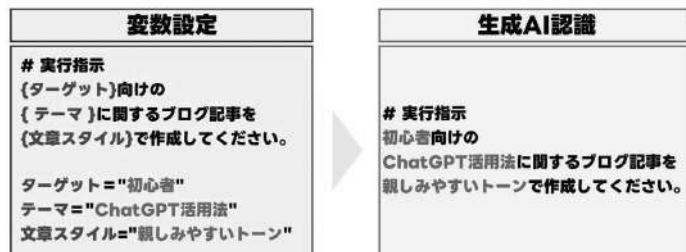
この場合、「テーマ」という変数名から、指示の内容がトマトに関するものであることが明確に分かります。

- 変数名に意味がない例：「変数1 = “トマト”」「{変数1}」について教えてください。」

この場合、「変数1」という変数名からは指示の内容が分かりにくく、生成AIの出力精度が低下する可能性があります。

複数の変数設定をしているプロンプト

変数が複数ある場合でも変更する箇所が明確なため、混乱を防ぎ、指示内容をより整理したプロンプトを作成できる。



変数が複数ある場合でも、変更する箇所が明確なため、混乱を防ぎ、指示内容をより整理したプロンプトを作成できます。

複数の変数を適切に使うことでプロンプトが整理され、分かりやすくなり、結果として生成AIが意図した通りの出力を生成しやすくなる、ということです。

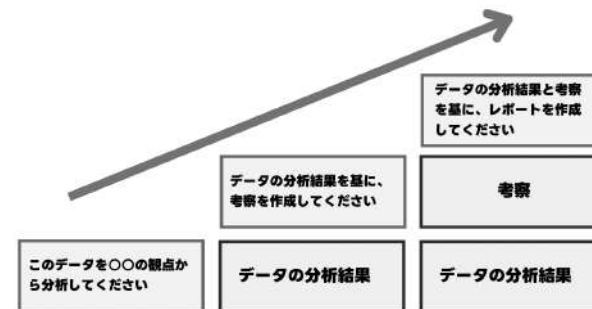
変数の値を変更する際にも、どの部分を変更すれば良いかが一目瞭然で、誤変更のリスクを減らせます。例えば、ターゲットを「初心者」から「上級者」に変更したい場合、「ターゲット = “上級者”」と書き換えるだけで済みます。プロンプト全体を書き換える必要がないため、ミスも起こりにくく、作業効率も向上します。

このように、複数の変数を使うことで、複雑な指示でも整理された形でプロンプトを記述できるようになり、生成AIへの指示がより明確になります。結果として、生成AIが意図を読み取りやすくなり、より適切な出力を得られる可能性が高まります。また、プロンプトの修正や再利用も容易になり、作業効率の向上にもつながります。

4-2

生成AIを段階的に使うメリット

段階的に作る（レポート作成の例）



生成AIで段階的にプロンプトを活用し、変数を使って前の段階の出力を次の段階の入力に用いることで、最終的な出力の精度と制御性を高め、改善も容易になります。それを分かりやすく説明するために、「ケーキ作り」に例えて説明します。

一気に作る場合（一度のプロンプト）

「イチゴのショートケーキを作ってください」と指示するようなものです。AIは材料集めからデコレーションまで、すべてを一度に行います。しかし、具体的な指示がないため、あなたの望むショートケーキとは違うものが出来上がるかもしれません。スポンジが硬い、クリームが甘すぎる、イチゴが少ないなど、修正したい点が出てきた場合、もう一度最初から指示を出し直す必要があります。手間がかかります。

段階的に作る場合(複数回のプロンプト+変数)

- ① スポンジ作り(プロンプト1):「ふわふわのスポンジを作ってください」と指示し、その結果を「スポンジ」という変数に保存します。
- ② クリーム作り(プロンプト2):「甘さ控えめの生クリームを作ってください」と指示し、その結果を「クリーム」という変数に保存します。
- ③ デコレーション(プロンプト3):「{スポンジ}に{クリーム}を塗り、新鮮なイチゴをたくさん乗せてデコレーションしてください」と指示します。

このように段階的に指示を出すと、各工程を細かく制御できます。例えば、スポンジが硬かった場合は、プロンプト1だけを「よりふわふわのスポンジを作ってください」と修正すればよく、クリームやデコレーションはそのまま再利用できます。

生成AIのプロンプトもこれと同じです。一度に複雑な指示を出すよりも、段階的に指示を出し、前の段階の出力を変数として次の段階に利用することで、より精度の高い、意図通りの結果を得ることができ、修正も容易になります。

複数回のプロンプトと変数を組み合わせることで、

- 各段階の出力を制御できる: 各プロンプトがシンプルになるため、生成AIが何をすべきか理解しやすくなり、意図しない出力を防ぎます。
- 最終的な出力を洗練できる: 前の段階の結果を踏まえて、次の段階の指示を調整できるため、より洗練された出力が期待できます。

●複雑なタスクを分解できる: 大きなタスクを小さなタスクに分解することで、生成AIが処理しやすくなり、全体的な精度の向上につながります。

●出力結果が思わしくない時に修正改善がしやすい: 一度に指示を出す場合、どこを修正すれば望む結果に近づくのかが分かりにくいことがあります。段階的に指示を出すことで、どの部分を修正すべきか特定しやすくなり、修正の手間を減らすことができます。

このように、生成AIを効果的に活用するためには、一度にすべてを指示するのではなく、段階的に指示を出し、変数を活用して前の段階の出力を次の段階につなげていくことが重要です。

初期入力値の参考情報の重要性

参考情報の重要性

{筋書き}に沿った小説を書いてください。

悪い例×

筋書き ="
友情の大切さに気づく話。
"

良い例○

筋書き ="
転勤先の工場で孤立していた29歳の優斗は、地元の少年たちと廃工場でサッカーを始める。最初は鬱陶しいと思っていた彼らとの交流を通じて、かつて自分が疎遠にしまった親友の存在を思い出し、失われた友情を取り戻そうと動き出す。
"

生成AIに質の高い、独自のアウトプットを生成させるためには、適切な「参考情報」の提供が不可欠です。参考情報こそが、生成AIの出力の方向性を定め、あなたの意図を正確に伝えるための羅針盤となるのです。

生成AIは、膨大なデータでトレーニングされていますが、それだけではあなたの具体的なニーズに応えることはできません。それはまるで、豊富な食材が揃っているキッチンで、レシピなしに料理を作るようなものです。どんなに腕の良いシェフでも、具体的な料理のイメージがなければ、美味しい料理を作ることは難しいでしょう。

そこで重要なのが「参考情報」です。参考情報とは、生成AIにとっての「レシピ」のようなものです。例えば、あなたが特定のテーマに関する記事を作成してほしい場合、そのテーマに関する

既存の記事やデータ、あるいはあなたが作成したい記事の目次を提供することで、生成AIはあなたの意図をより深く理解し、質の高い記事を生成することができます。

参考情報がない場合、生成AIは自身のトレーニングデータに基づいて出力を作成します。これは、ありきたりで一般的な情報になりがちで、あなたの求める独自性やオリジナリティに欠ける結果となる可能性があります。逆に、適切な参考情報を提供することで、生成AIはあなたの意図に沿った、より具体的で、オリジナリティの高いアウトプットを生成することが可能になります。

プロンプトは基本的に「名詞」と「動詞」で構成されます。「○○について書いてください」「○○を分析してください」といった指示がこれに該当します。しかし、この指示だけでは、生成AIは具体的に何をどのように出力すべきかを理解できません。

そこで、参考情報が「○○に基づいて」という形で追加されます。これによって、生成AIは出力の方向性を定めることができ、あなたの意図に沿った結果を生成できるようになります。

つまり、生成AIを活用して他の人とは違う、独自の成果物を生み出すためには、生成AIに与える最初の情報である「参考情報」が最も重要です。適切な参考情報を提供することで、生成AIはあなたの意図を正確に理解し、あなたの創造性を最大限に引き出す強力なツールとなるでしょう。

第 5 章

プロンプト8+1の 記載方法



前提条件:

タイトル:奥さんに感謝の手紙を書く
 依頼者条件:奥さんに感謝の気持ちを伝えたい旦那
 前提情報:感情を言葉に表現する能力
 目的と目標:感謝を心から伝える手紙を作成する

実行指示:

{書き手ペルソナ}が
 {読み手ペルソナ}に対して、
 {参考情報}を活用して、
 感謝を伝えるための感動する手紙を
 手紙形式で
 [#出力フォーマット]を参考にして
 [#文章ルール]で書いてください。

情報:

読み手ペルソナ ="
 名前:さちえ
 年齢:48歳
 性別:女性
 職業:専業主婦
 性格:内向的、おとなしい"

書き手ペルソナ ="

◆基本情報

- 名前:てつや
- 年齢:40歳
- 性別:男性
- 職業:カフェ経営(自営業)
- 性格:明るく前向きで、友人想いの気さくな性格
- 趣味:カフェ巡り、サーフィン、アウトドア活動"

◆文章スタイル

- 基本文体:打ち解けた親しみやすい文体
- 表現手法:日常的な出来事や感情を素直に伝える
- 構成方法:近況報告から始まり、相手を気遣う内容へと展開

◆文章トーン

- 基本姿勢:フレンドリーで親密な雰囲気
- 感情表現:素直な感情表現と相手への思いやりを示す
- 対話方針:対面で話するような自然な会話の流れを意識

◆表現設定

- 人称表現:
 - 一人称:「僕」「俺」
 - 二人称:「きみ」「(名前)」
 - 三人称:「(名前)」「あいつ」
- 定型表現:
 - 導入・展開句:「元気にしてる?」「そういえば最近ね」「実はこんなことがあってさ」
 - 特徴的表現:「～だったりして」「～なんだよね」「覚えてる?」

- 文末表現:

- 基本:「～だよ」「～ね」「～さ」
- バリエーション:「～かな」「～よね」

参考情報 ="

奥さんと旦那との出会い:高校の同級生
 感謝の具体例:美味しい料理と家族愛
 お礼:二泊三日北海道旅行"

出力フォーマット:

[宛名]:〇〇様
 [本文]:~~~~~
 [差出人]:△△より

文章ルール:

- カジュアルスタイルでフレンドリーなトーン
- 適切な改行と段落分けで、読みやすさを向上させる

補足:

- 指示の復唱はしないでください。
- 自己評価はしないでください。
- [#出力フォーマット]から外れた余計な前置き、結論やまとめは書かないでください。

5-1 #を使った段落分け

1.可読性の向上：各要素を#で始まる見出しで区切り、段落分けすることで、プロンプト全体が非常に読みやすくなっています。人間が理解しやすいため、修正や調整も容易になります。これは、プロンプトエンジニアリングにおいて非常に重要なポイントです。

2.要素の明確化：各段落に見出しをつけることで、どの部分がどの要素に対応しているかが明確になります。9つの公式に則ってプロンプトを設計する場合、この構造は各要素の有無や適切さを確認するのに役立ちます。

3.再利用性と柔軟性の向上：# 情報：セクションでペルソナや参考情報を定義し、# 実行指示：セクションでそれらを参照する構造にすることで、情報の変更が容易になります。例えば、別の内容の手紙を作成したい場合、# 情報：セクションの内容だけを書き換えれば、# 実行指示：セクションはそのまま流用できます。これは、プロンプトの再利用性と柔軟性を高める上で効果的な手法です。

5-2 2種類の変数を使う

2種類の変数

- ① #出力フォーマット:

[宛名] ○○様

[本文] ~~~~~

[差出人] △△より
- ② 書き手ペルソナ =

名前：てつや

年齢：48歳

性別：男性

職業：自営業

性格：行動的・楽しいことが好き

"
- ① [#出力フォーマット] に従って出力してください。
- ② {書き手ペルソナ} の人物として執筆してください。

変数名=“値”と[変数名]：主に「情報」の入力に使用。

変数名：値 と [#変数名]：主に「命令(指示)」に使用。

この使い分けが効果的な理由は、AIモデルの挙動とプロンプトの解釈方法に関係しています。

1.情報と命令の分離による明確化

AIモデルは、プロンプト全体を1つの指示として解釈しようとします。しかし、情報と命令が混在していると、AIが何を「情報」として扱い、何を「命令」として解釈すべきか混乱する可能性があります。

2種類の変数表記を導入することで、情報と命令を明確に分離することができます。# で始まる部分は「命令」に関連するメタ情報や設定であり、= で定義される部分は「情報」そのものだとAIが認識しやすくなります。これは、プロンプトの構造を整理し、AIの理解を助ける上で非常に効果的です。

2. コンテキストの維持

変数名="値" の形式で情報を定義することで、その情報は一種の「背景情報」としてプロンプト全体で共有されます。

{変数名} で参照することで、その背景情報を必要な場所に挿入することができます。

一方、# 変数名: 値 の形式は、命令の「実行方法」や「出力形式」を指定するためのメタ情報として機能します。[#変数名] で参照されることで、AI はそのメタ情報に基づいて出力を調整します。

このように、2種類の変数表記はそれぞれ異なる役割を担っており、両者を組み合わせることで、情報と命令のコンテキストを明確に分離し、AI がプロンプトを正しく解釈するのを支援します。

5-3

補足の重要性

補足

補足を使用して、AIの出力を制御する。

#補足:

- 指示の復唱はしない
- 自己評価はしないでください。
- [#出力フォーマット]から外れた余計な前置き、結論やまとめは書かない

「補足」の段落を追加した主な理由は、AIの挙動を制御し、出力の精度と安定性を高めるためです。具体的には、以下の3つの目的があります。

不要な出力の抑制:

- 指示の復唱はしないでください。
- 自己評価はしないでください。
- [#出力フォーマット]から外れた余計な前置き、結論やまとめは書かないでください。

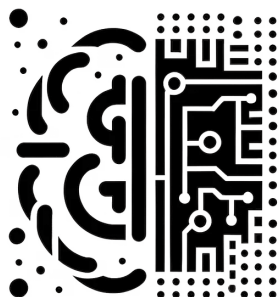
これらの指示は、AI が生成するテキストに不要な情報が含まれるのを防ぐためのものです。指示の復唱や自己評価、余計な前置きなどは、読み手にとってノイズとなるだけでなく、出力フォーマットの一貫性を損なう可能性があります。これらの指示を追加することで、AIは必要な情報だけを簡潔に伝え、指定された

フォーマットに厳密に従うようになります。

出力フォーマットの遵守:

●[#出力フォーマット]から外れた余計な前置き、結論やまとめは書かないでください。

この指示は、特に重要です。出力フォーマットは、AI が生成するテキストの構造を定義するものであり、フォーマットが崩れると、テキストの可読性や利用価値が低下する可能性があります。この指示を追加することで、AI は指定された出力フォーマットを厳守し、一貫性のあるテキストを生成するようになります。



生成 AI プロンプトエンジニア検定

問題編



1. 生成 AI とは何か？

第 1 問

生成 AI の特徴として最も適切なものはどれか。

- A : 既存のデータから学習し、新たなコンテンツを生成できる。
- B : 主にデータ分析や予測に用いられ、創造的なタスクは苦手。
- C : 特定の操作手順やコマンドをユーザーが理解する必要がある。
- D : 既存のデータの編集のみ可能で、新たなデータ生成はできない。

正解 A

解説：生成 AI は、既存のデータや情報を学習し、新たなテキスト、画像、音声、動画などのデジタルコンテンツを生成する AI 技術です。B は従来の AI の特徴、C は生成 AI 以前のソフトウェアの特徴、D は誤りです。

第 2 問

「営業部向けのプレゼン資料を作成してほしい」という指示に対して、生成 AI 搭載の Word が生成する可能性のあるコンテンツとして適切なものはどれか。

- A : 営業部の業績データに基づいた詳細な分析レポート
- B : プレゼンテーションのスライド構成案とサンプルテキスト
- C : 競合他社の分析と市場動向の予測データ
- D : 営業部員個人のスキルアップのためのトレーニング資料

正解 B

解説：生成 AI は、過去のデータや一般的なビジネス文書のパターンを学習しているため、抽象的な指示でも適切な構成や内容の資料を自動的に作成できます。この例では、プレゼン資料のスライド構成案やサンプルテキストなどが考えられます。A,C,D は指示の内容からやや逸脱しています。

第 3 問

生成 AI の登場によって変化した、ソフトウェアとの関わり方として最も適切なものはどれか。

- A : 専門的な知識やスキルが必須になった。
- B : ユーザーが具体的な操作手順を理解する必要性が高まった。
- C : ユーザーフレンドリーなインターフェースが減少した。
- D : 日本語での指示によるコンテンツ生成が可能になった。

正解 D

解説：生成 AI の登場により、ユーザーは自然な言葉で指示を出すことができるようになり、専門的な知識やスキルがなくてもコンテンツ生成が可能になりました。A,B,C は生成 AI の登場によって改善された点であり、変化した点としては不適切です。

第 4 問

生成 AI が人間の創作活動を支援・代替できる点について、最も適切な例はどれか。

- A：大量のデータに基づいて、将来の売上を予測する。
- B：顧客の購買履歴を分析し、ターゲット広告を配信する。
- C：ユーザーの指示に基づいて、小説のあらすじを生成する。
- D：工場の生産ラインを監視し、異常を検知する。

正解

C

解説：生成 AI は、小説のあらすじ生成のような創造的なタスクを実行できます。A,B,D はデータ分析や予測に関連しており、生成 AI の創造的な側面を示す例としては適切ではありません。

第 5 問

ChatGPT、Gemini、Claude の共通点として最も適切なものはどれか。

- A：すべて Google によって開発されている。
- B：すべてオープンソースとして公開されている。
- C：すべてテキスト生成 AI である。
- D：すべて有料版のみ提供されている。

正解

C

解説：ChatGPT (OpenAI)、Gemini (Google)、Claude (Anthropic) は、いずれもテキスト生成 AI です。A は Gemini のみ、B は Stable Diffusion などのモデル、D は無料版も提供されているため誤りです。

第 6 問

ChatGPT の最新モデル「o1」の特徴として適切なものはどれか。

- A：音声や画像を含むマルチモーダル対応が可能である。
- B：複雑な推論能力や理数系の問題解決に特化している。
- C：Google サービスと緊密に連携している。
- D：憲法 AI (Constitution AI) という設計原則に基づき開発されている。

正解

B

解説：o1 は複雑な推論能力や理数系の問題解決に特化しています。A は GPT-4o の特徴、C は Gemini の特徴、D は Claude の特徴です。

第 7 問

Gemini Advanced ユーザーが利用できる「Gems」の機能として適切なものはどれか。

- A：特定のキャラクターやスタイルの再現を可能にする。
- B：最大 20 万トークン（約 15 万文字）の長文データ処理が可能。
- C：ユーザー独自の AI チャットボットを作成・管理できる。
- D：音声生成に加えて効果音や環境音をテキストから生成する。

正解 C

解説：Gems は、ユーザー独自の AI チャットボットを作成・管理できる機能です。A は Stable Diffusion の LoRA、C は Claude、D は ElevenLabs の特徴です。

第 8 問

Claude の開発において重視されている点として最も適切なものはどれか。

- A：処理効率を重視した軽量化
- B：安全性と倫理性を重視した設計
- C：Google サービスとの緊密な連携
- D：詳細なパラメータ制御とバッチ処理

正解 B

解説：Claude は、「憲法 AI（Constitution AI）」という独自の設計原則に基づき、安全性と倫理性に重点を置いて開発されています。A は ChatGPT の o1-mini、C は Gemini、D は Midjourney の特徴です。

第 9 問

Adobe Firefly の画像生成における特徴として、適切なものはどれか。

- A：写真のようなリアルな画像生成が得意である。
- B：日本語の指示で、ベクター画像（イラストなど）を作ってくれる。
- C：詳細なパラメータ調整やカスタマイズ機能が豊富である。
- D：オープンソースとして公開されており、誰でも自由に利用できる。

正解 B

解説：Adobe Firefly は、日本語のプロンプトを基に高品質な画像やベクターグラフィックスを生成できます。A は写真のようなリアルな画像生成は他のツールより劣る、C はパラメータ調整はある程度可能だが、他のツールほどではない、D は Stable Diffusion の特徴のため誤りです。

第10問

FLUX.1 が特に優れた性能を発揮する画像生成の分野はどれか。

- A : アニメ・イラスト風の画像
- B : パターン柄の画像
- C : 抽象的なアート作品
- D : 実写風の画像

正解 D

解説：FLUX.1 は実写風の画像生成において高い評価を得ています。A はアニメ・イラスト風の画像生成は専用モデルを使用することで高品質な結果が得られる、B、C は本文に記載がないため誤りです。

第11問

DALL-E3 と ChatGPT の関係性について適切な記述はどれか。

- A : DALL-E3 は ChatGPT の言語理解能力を活かしてプロンプトを解釈する。
- B : DALL-E3 は ChatGPT の画像生成機能を拡張したツールである。
- C : DALL-E3 と ChatGPT はどちらも Google によって開発された。
- D : DALL-E3 と ChatGPT は競合関係にある異なる AI ツールである。

正解 A

解説：DALL-E3 は ChatGPT の言語理解能力を活用し、高度なプロンプト解釈を実現しています。B は ChatGPT がテキスト生成 AI、DALL-E3 が画像生成 AI なので誤り、C はどちらも OpenAI が開発、D はどちらも OpenAI が開発しているため誤りです。

第12問

Midjourney を利用するためのプラットフォームとして正しいものはどれか。

- A : Discord
- B : Gmail
- C : Photoshop
- D : Google マップ

正解 A

解説：Midjourney は Discord を通じて利用します。B、D は Google のサービス、C は Adobe のサービスのため誤りです。

第13問

ElevenLabs の音声生成における特徴として適切なものはどれか。

- A：日本語にのみ対応している。
- B：人間らしい自然な抑揚と感情表現を実現する。
- C：ニュース読み上げや館内放送に特化している。
- D：画像生成に加えて効果音や環境音を生成できる。

正解 B

解説：ElevenLabs は、人間らしい自然な抑揚と感情表現を実現した音声合成を提供します。A は 30 以上の言語に対応、C は VoiceSpace の特徴、D は画像生成ではなく音声生成 AI のため誤りです。

第14問

VoiceSpace が特に得意とする音声生成の分野として適切なものはどれか。

- A：キャラクターボイスやナレーション
- B：ニュース読み上げや館内放送
- C：効果音や環境音
- D：音楽トラックの生成

正解 B

解説：VoiceSpace は、ニュース読み上げや館内放送など、実務的なシーンに最適化された音声生成を得意としています。A は ElevenLabs の特徴、C は ElevenLabs の Sound Effects 機能、D は SunoAI などの音楽生成 AI の特徴です。

第15問

SunoAI の機能として適切なものはどれか。

- A：テキストから音楽トラックを生成する。
- B：リアルタイムで音声を変換するボイスチェンジャー機能を提供する。
- C：3D モデルや動画を生成する。
- D：テキストプロンプトから高品質な画像を生成する。

正解 A

解説：SunoAI は、テキスト入力から音楽トラックを生成する AI 音楽制作プログラムです。B は VoiceSpace の特徴、C は Luma AI の特徴、D は画像生成 AI の特徴です。

第16問

複数の音声生成 AI ツールを比較検討する際に重要な要素として、適切でないものはどれか。

- A：対応言語数
- B：音声の自然さ
- C：価格プラン
- D：生成可能な画像の解像度

正解 D

解説：音声生成 AI ツールを選ぶ際には、対応言語数、音声の自然さ、価格プランなどが重要な要素となります。生成可能な画像の解像度は画像生成 AI ツールにおける検討要素であり、音声生成 AI ツールには関係ありません。

第17問

Luma AI の Dream Machine の特徴として、適切なものはどれか。

- A：PC からのみ利用可能である
- B：専門的な知識が必須である
- C：スマートフォンからも利用可能である
- D：有料版でのみ利用可能である

正解 C

解説：Luma AI の Dream Machine は、誰でも無料で、スマートフォンからも利用可能です。専門的な知識がなくても高品質な動画を簡単に生成できる点が特徴です。

第18問

Runway の「Gen-3 Alpha」モデルの特徴として、適切でないものはどれか。

- A：自然で滑らかな動きを生成する
- B：高解像度で安定した映像を生成する
- C：物理法則を伴うモーションの再現が可能
- D：音声合成機能が搭載されている

正解 D

解説：Gen-3 Alpha モデルに音声合成機能はありません。このモデルは、自然で滑らかな動き、高解像度で安定した映像生成、複雑な物理法則を伴うモーションの再現が特徴として挙げられています。

第 19 問

HeyGen を用いて制作できるコンテンツとして最も適切なものはどれか。

- A : 3D モデルを使った製品紹介動画
- B : AI アバターによる商品説明動画
- C : 実写映像を使った企業 VP
- D : アニメーションによる教育コンテンツ

正解 B

解説 : HeyGen は、AI アバターを作成し、それらにテキストを読み上げさせる動画を生成できます。A は Luma AI、C は実写映像、D はアニメーションであるため HeyGen の得意分野ではありません。

第 20 問

Sora の開発元として正しいのはどれか。

- A : Adobe
- B : Google
- C : OpenAI
- D : Stability AI

正解 C

解説 : Sora は OpenAI が開発した動画生成 AI モデルです。A は Adobe Firefly、B は ImageFX、D は Stable Diffusion の開発元です。

第 21 問

SOUNDRAW の特徴として適切なものはどれか。

- A : Google DeepMind の元研究者によって開発された。
- B : ビデオプレビュー機能で動画と音楽を連動させ、曲の調整を容易にする。
- C : リアルタイム対応のボイスチェンジャー機能を提供する。
- D : iPhone で撮影したデータから 3D モデルを生成する。

正解 B

解説 : SOUNDRAW はビデオプレビュー機能を搭載し、動画と音楽を連動させて曲の調整を容易にしています。A は Udio、C は VoiceSpace、D は Luma AI の Luma 3D Capture の特徴です。

第22問

SOUNDRAW の特徴として、正しいものはどれか。

- A : 海外発の AI 音楽生成ツールである
- B : 社外のプロデューサーが作成したビートを使用している
- C : 動画プレビュー機能で映像と音楽の同期確認が可能である
- D : 英語のみのインターフェースを提供している

正解 C

解説 : SOUNDRAW は日本発の AI 音楽生成ツールで、社内のプロデューサーが作成したビートを使用し、日本語対応のインターフェースを提供しています。また、動画プレビュー機能で映像と音楽の同期をリアルタイムで確認することができます。

第23問

Udio で音楽を生成する際に利用する入力形式として正しいものはどれか。

- A : 音声入力
- B : 画像入力
- C : テキストプロンプト
- D : MIDI データ

正解 C

解説 : Udio は、シンプルなテキストプロンプトに基づいて音楽を生成します。A は SunoAI の最新バージョン、B は画像生成 AI、D は音楽データのため誤りです。

第24問

Perplexity AI の主な機能として、適切でないものはどれか。

- A : 回答の出典元を明示する。
- B : 最新の情報をリアルタイムで反映する。
- C : ユーザーの質問に応じて画像を生成する。
- D : 検索範囲を特定の分野に絞り込む。

正解 C

解説 : Perplexity AI は検索エンジン型のツールであり、画像生成は主要機能ではありません。画像生成は、有料版で提供される追加機能の一部です。A、B、D は Perplexity AI の主要機能です。

第25問

Perplexity AI の「スペース」機能と他の機能との関係性について、適切な説明はどれか。

- A：スペース機能は、他の機能を利用するための前提条件である。
- B：スペース機能は、他の機能と組み合わせて利用することで、より効果を発揮する。
- C：スペース機能は、他の機能とは独立して動作し、連携することはない。
- D：スペース機能は、他の機能よりも優先的に動作し、他の機能の動作に影響を与える。

正解 B

解説：スペース機能は、ファイル管理やチームコラボレーションを他の検索機能と組み合わせることで、情報共有や共同作業をより効率的に行うことができます。A、C、D は誤りです。

第26問

Perplexity AI をビジネスシーンで活用する例として、適切なものはどれか。

- A：顧客の購買履歴を分析し、パーソナライズされた広告を配信する。
- B：社内資料と Web 情報を組み合わせて、市場調査レポートを作成する。
- C：商品の 3D モデルを生成し、オンラインストアで公開する。
- D：AI アバターを作成し、顧客対応のチャットボットとして活用する。

正解 B

解説：Perplexity AI のスペース機能は、社内資料と Web 情報を統合的に検索できるため、市場調査レポート作成のような業務に役立ちます。A は広告配信システム、C は 3D モデリングツール、D は AI チャットボットの機能です。

第27問

プロンプトエンジニアリングの目的として最も適切なものはどれか。

- A：AI に人間の意図を正確に伝え、望む結果を得る。
- B：AI のアルゴリズムを理解し、改良を加える。
- C：AI に感情を持たせ、人間と自然な対話をする。
- D：AI を人間の指示なしで自律的に動作させる。

正解 A

解説：プロンプトエンジニアリングは、AI に対して明確で的確な指示を作成し、望む結果を得るための技術です。B は AI 開発者の役割、C は現在の AI 技術では不可能、D は AI の自律的な動作はプロンプトエンジニアリングの目的ではありません。

第28問

「カッコいいロゴを作ってください」というプロンプトの問題点として適切なものはどれか。

- A：AIにとって指示が具体的ではなく、期待する結果が得られない可能性がある。
- B：AIがロゴ作成に必要な情報を持っていないため、ロゴを生成できない。
- C：AIが「カッコいい」という概念を理解できないため、エラーが発生する。
- D：AIがロゴ作成を拒否するため、別の指示を出す必要がある。

正解 A

解説：「カッコいい」は抽象的な表現であるため、AIにとって解釈の幅が広すぎ、ユーザーの意図と異なるロゴが生成される可能性があります。B,C,DはAIの能力を過小評価した誤りです。

第29問

プロンプトエンジニアリングを行う際に重要な点として、最も適切なものはどれか。

- A：AIのアルゴリズムを深く理解すること
- B：AIに親しみやすいニックネームをつけること
- C：AIに明確で具体的な指示を出すこと
- D：AIに冗談を交えて指示を出すこと

正解 C

解説：プロンプトエンジニアリングで重要なのは、AIが誤解なく処理できるよう、明確で具体的な指示を出すことです。AはAIの活用にはアルゴリズムの理解は必ずしも必要ではない、Bは関係ない、Dは冗談は誤解を招く可能性があるため不適切です。

第30問

「絵本を作成してください。」というプロンプトを改善する例として、最も適切なものはどれか。

- A：「3歳児向けの絵本を作成してください。」
- B：「人気作家の絵のような絵本を作成してください。」
- C：「100ページの絵本を作成してください。」
- D：「動物を主人公にした、友情をテーマにした、3歳児向けの、優しい絵柄で描かれた、20ページほどの絵本を作成してください。」

正解 D

解説：Dは対象年齢、テーマ、ページ数、絵柄など、絵本作成に必要な情報を具体的に示しています。Aは対象年齢のみ、Bは絵柄の指示が曖昧、Cはページ数のみの指定では情報不足です。

第 31 問

プロンプトエンジニアリングと AI の進化の関係性について、適切な記述はどれか。

- A : AI の進化はプロンプトエンジニアリングの必要性をなくす。
- B : AI の進化に伴い、プロンプトエンジニアリングの重要性が増している。
- C : プロンプトエンジニアリングは AI の進化を阻害する要因となる。
- D : プロンプトエンジニアリングと AI の進化は互いに無関係である。

正解 B

解説 : AI が高度化するほど、その能力を最大限に引き出すためのプロンプトエンジニアリングの重要性が増します。A,C,D は誤りです。

第 32 問

次のうち、プロンプトエンジニアリングのスキルが役立つ場面として、最も適切でないものはどれか。

- A : 生成 AI を用いてマーケティング資料を作成する。
- B : 生成 AI を用いて小説のストーリーを生成する。
- C : 生成 AI を用いてシステムの脆弱性を発見する。
- D : 生成 AI を用いてプレゼンテーション資料を作成する。

正解 C

解説 : プロンプトエンジニアリングは、生成 AI を利用してコンテンツを作成する際に役立ちます。システムの脆弱性発見は、セキュリティの専門知識が必要なタスクであり、プロンプトエンジニアリングのスキルだけでは不十分です。A,B,D はプロンプトエンジニアリングが役立つ場面です。

2. 生成 AI でできること

第 33 問

生成 AI を活用したコンテンツ制作でできないことはどれですか？

- A : 動画に AI 生成のナレーションを追加する
- B : ブログ記事に AI 生成のイラストを挿入する
- C : プレゼンテーション資料にアニメーションを組み込む
- D : 顧客からの電話応答を自動化する

正解 D

解説：生成 AI は、動画へのナレーション追加、ブログ記事へのイラスト挿入、プレゼンテーション資料へのアニメーション組み込みなど、多様なコンテンツ制作を支援します。顧客からの電話応答の自動化は、カスタマーサポートの領域です。

第 34 問

ChatGPT や Gemini のような生成 AI ツールは、コンテンツ制作においてどのような役割を果たしますか？

- A : 主に文章やコードの生成を担う
- B : 主に画像の生成を担う
- C : 主に音声の生成を担う
- D : 主に動画の生成を担う

正解 A

解説：ChatGPT や Gemini は、主に文章やコードの生成に特化した AI ツールです。Midjourney は画像生成に、その他 AI ツールは音声や動画生成に特化したものがあります。

第 35 問

生成 AI を用いたコンテンツ制作は、従来の手法と比較してどのような利点がありますか？

- A : あらゆるコンテンツの自動生成による質の向上
- B : 人間のクリエイティビティの完全な代替
- C : 著作権や倫理的問題の完全な解決
- D : 制作時間の大幅な短縮、制作コストの削減

正解 D

解説：生成 AI は、自動化により制作時間とコストを削減できます。しかし、人間のクリエイティビティを完全に代替することはできず、著作権や倫理的問題も依然として存在します。また、自動生成による質の向上は限定的です。

第 36 問

ブログ記事の自動生成において、生成 AI はどのようなタスクを支援できますか？

- A：読者からのフィードバックの分析
- B：記事の校正や編集、事実確認
- C：キーワードに基づいたテキスト生成、タイトルや見出しの提案
- D：記事の公開とプロモーション

正解 C

解説：生成 AI は、キーワードに基づいたテキスト生成、タイトル・見出し・ハッシュタグの提案などを支援します。校正・編集・事実確認は人間のチェックが必要です。読者からのフィードバック分析や記事の公開・プロモーションは別ツールを活用します。

第 37 問

生成 AI は、どのような手順や工程の文書化に役立ちますか？

- A：カレーの作り方、ワイン製造、システム開発
- B：顧客対応、クレーム処理、市場調査
- C：採用活動、人事評価、従業員教育
- D：会計処理、財務分析、投資戦略

正解 A

解説：生成 AI は、カレーの作り方のような料理のレシピ、ワイン製造のような複雑な工程、システム開発のような技術文書の作成など、様々な手順や工程の文書化に役立ちます。その他の選択肢は、手順や工程の文書化とは異なる業務です。

第 38 問

生成 AI を用いてカレーの作り方を文書化する際、どのような情報を生成できますか？

- A：歴史、文化、地域性
- B：栄養価、カロリー、アレルギー情報
- C：調理器具、調理時間、費用
- D：材料、分量、手順、画像、動画

正解 D

解説：生成 AI は、カレー作りの材料、分量、手順といった基本情報の他に、画像や動画を生成することで、より分かりやすい説明を作成できます。栄養価やカロリー、調理器具などは別途調べる必要があります。歴史や文化はレシピとは直接関係ありません。

第 39 問

ワイン製造において、生成 AI はどのように活用できますか？

- A：ワインの販売促進、マーケティング戦略
- B：ブドウの品種、栽培方法、醸造工程の記録、品質管理
- C：ワインの試飲会、イベント企画
- D：ワインのラベルデザイン、パッケージ制作

正解 B

解説：生成 AI は、ワイン製造におけるブドウの品種、栽培方法、醸造工程などの記録、品質管理に役立ちます。販売促進やイベント企画、ラベルデザインなどは別の用途です。

第 40 問

システム開発において、生成 AI はどのような文書作成を支援しますか？

- A：設計書、仕様書、テストケース
- B：ユーザーマニュアル、操作ガイド
- C：販売資料、プレゼンテーション資料
- D：契約書、法的文書

正解 A

解説：生成 AI は、システム開発における設計書、仕様書、テストケースといった技術文書の作成を支援します。ユーザーマニュアルや販売資料、契約書などは別の用途の文書です。

第 41 問

生成 AI は、プロジェクト管理においてどのような思考のアシストを提供できますか？

- A：人事評価、チーム編成、リーダーシップ
- B：目標設定、計画立案、進捗管理
- C：市場分析、競合分析、顧客分析
- D：資金調達、投資戦略、リスク管理

正解 B

解説：生成 AI は、プロジェクトの目標設定、計画立案、進捗管理といった思考プロセスをアシストできます。人事評価や市場分析、資金調達は別の領域です。

第42問

旅行計画において、生成 AI にどのような情報を提供することで、適切な提案を得られますか？

- A：趣味、嗜好、同行者
- B：過去の旅行経験、行きたい場所リスト
- C：目的地、日程、予算
- D：交通手段の好み、宿泊施設の希望

正解

C

解説：旅行計画では、目的地、日程、予算を生成 AI に提供することで、最適な旅程、交通手段、宿泊施設の提案を得られます。趣味嗜好や過去の旅行経験などは追加情報として役立ちますが、必須ではありません。

第43問

生成 AI による学習計画のアシストと、従来の学習計画作成の違いは何ですか？

- A：画一的なカリキュラムに基づいた計画作成
- B：教材の選定と購入のみを支援
- C：学習進捗の記録と管理のみを支援
- D：個々の学習レベルや目標に合わせたパーソナライズされた計画作成

正解

D

解説：生成 AI は、個々の学習レベル、学習スタイル、目標に合わせたパーソナライズされた学習計画を作成できます。従来の方法は画一的で個別対応が難しい場合が多く、AI によって柔軟な計画立案が可能になります。

第44問

イベント準備において、生成 AI はどのような点を支援できますか？

- A：企画立案、集客戦略、タイムテーブル作成
- B：会場設営、機材準備、スタッフ手配
- C：参加者登録、受付対応、アンケート回収
- D：事後報告、費用精算、成果分析

正解

A

解説：生成 AI は、イベントの企画立案、集客戦略、タイムテーブル作成など、思考や計画策定を支援します。会場設営や受付対応、事後分析は別の領域です。

第 45 問

生成 AI はカスタマーサポートにおいてどのような役割を果たすことができますか？

- A：顧客満足度調査の実施、分析
- B：電話応答、問い合わせ対応の自動化、多言語対応
- C：新製品開発のための顧客ニーズ調査
- D：販売戦略の立案、実行

正解 B

解説：生成 AI は、電話応答や問い合わせ対応の自動化、多言語対応など、カスタマーサポート業務を効率化できます。顧客満足度調査や新製品開発、販売戦略は別の領域です。

第 46 問

生成 AI を活用した FAQ システムは、どのような利点がありますか？

- A：顧客一人ひとりに合わせた個別対応
- B：複雑な問題やクレームへの対応
- C：24 時間 365 日対応、よくある質問への迅速な回答
- D：人間味あふれる対応

正解 C

解説：生成 AI を活用した FAQ システムは、24 時間 365 日対応可能で、よくある質問に迅速に回答できます。個別対応やクレーム対応、人間味のある対応は人間オペレーターが必要です。

第 47 問

生成 AI による多言語対応は、どのような仕組みで実現されますか？

- A：画像認識、画像処理、画像生成
- B：自然言語処理、感情分析、知識ベース
- C：機械学習、深層学習、強化学習
- D：音声認識、翻訳エンジン、音声合成

正解 D

解説：生成 AI による多言語対応は、音声認識で言語をテキスト化し、翻訳エンジンで目的の言語へ変換し、音声合成で再出力する仕組みによって実現されます。

第 48 問

生成 AI は教育や学習において、どのような形で活用できますか？

- A : 教材の販売、学習塾の運営、家庭教師の派遣
- B : 宿題の補助、弱点分野の補足説明、AI との会話練習
- C : 学校施設の管理、教員の採用、教育予算の編成
- D : 生徒の成績評価、進路指導、生活指導

正解 B

解説：生成 AI は、宿題の補助や弱点補強、AI との会話練習など、学習者を直接サポートする形で活用できます。

第 49 問

生成 AI を活用した言語学習では、どのような学習支援が期待できますか？

- A : ネイティブスピーカーとの会話、海外留学
- B : 言語学の研究、辞書の作成
- C : AI との会話練習、文法チェック、翻訳支援
- D : 通訳、翻訳の仕事

正解 C

解説：生成 AI は、言語学習者向けに AI との会話練習、文法チェック、翻訳支援などを提供し、学習者の学びを強化します。

第 50 問

生成 AI は、国家試験対策においてどのように役立ちますか？

- A : 試験会場の手配、受験料の支払い
- B : 合格発表、証明書の発行
- C : 就職活動、キャリアカウンセリング
- D : 過去問の分析、模擬試験の作成、弱点分野の学習プラン提案

正解 D

解説：生成 AI は、過去問分析や模擬試験作成、弱点領域の学習プラン提案など、試験対策に特化したサポートが可能です。

第 51 問

生成 AI を活用した「完全オーダーメイドの教育」とは、どのような教育形態ですか？

- A：個々の学習レベル、学習スタイル、目標に合わせた最適な学習パスを提供
- B：全員が同じ教材、同じカリキュラムで学習する
- C：特定の教科に特化した専門教育
- D：集団授業形式による一斉指導

正解 A

解説：生成 AI を活用したオーダーメイド教育は、学習者個々のニーズに応じた最適な学習パスを提示します。

第 52 問

生成 AI を用いて、Python で特定の機能を実装するコードを生成したい場合、どのように指示すれば良いですか？

- A：Python の構文をすべて覚える必要がある
- B：手作業でコードを記述する必要がある
- C：「Python で〇〇の機能を実装するコードを書いて」と指示する
- D：AI に Python のインストールを依頼する必要がある

正解 C

解説：生成 AI に対して自然言語で「Python で〇〇を実装するコードを書いて」と指示すれば、コード例を提示してくれます。

第 53 問

生成 AI によるコーディングの自動化は、エンジニアの役割にどのような影響を与えますか？

- A：すべてのエンジニアが不要になる
- B：エンジニアの需要は増加するが、求められるスキルは変わらない
- C：AI はコーディング以外の作業のみを支援する
- D：単純なコーディングや反復作業は AI によって代替される可能性がある

正解 D

解説：生成 AI によって単純なコーディングは代替可能ですが、エンジニアが不要になるわけではありません。むしろ AI を活用するスキルが求められます。

第 54 問

生成 AI は、どのような種類の規約や契約書の作成を支援できますか？

- A：企画書、提案書、報告書
- B：雇用契約書、賃貸借契約書、秘密保持契約書
- C：小説、詩、脚本
- D：論文、レポート、エッセイ

正解

B

解説：生成 AI は、雇用契約書や賃貸借契約書、秘密保持契約書などの法的文書作成を支援できます。

第 55 問

ChatGPT や Gemini を用いて、賃貸借契約書の雛形を作成する場合、どのような手順を踏みますか？

- A：法律の専門家に依頼する必要がある
- B：自分で一から契約書を作成する必要がある
- C：ツールに「賃貸借契約書の雛形を作成してください」といった指示を与える
- D：必要な情報をツールに入力する必要がある

正解

C

解説：生成 AI ツールに自然言語で指示すれば、賃貸借契約書の雛形を自動生成します。

第 56 問

生成 AI による規約・契約書作成支援と、法律の専門家による作成の違いは何ですか？

- A：生成 AI は法的助言を提供できる
- B：法律の専門家は雛形作成しかできない
- C：生成 AI は契約書の最終的な法的責任を負う
- D：生成 AI は雛形作成や修正提案を迅速に行えるが、法的助言はできない

正解

D

解説：生成 AI は雛形作成や修正提案を行えますが、法的助言はできません。法的リスク評価や助言は専門家が行います。

3. プロンプト 8+1 の公式

第 57 問

プロンプト 8+1 の公式において、名詞と動詞は何を指示するために使われますか？

- A : AI の出力形式を指定する
- B : AI に具体的な行動を指示する
- C : AI の文体を指定する
- D : AI にペルソナを設定する

正解

B

解説：プロンプト 8+1 の公式において、名詞と動詞は AI への指示を構成する最も重要な要素です。名詞は指示の対象や内容を定め、動詞は AI に具体的な行動を指示します。これにより、AI に意図した通りのアウトプットを生成させることができます。他の選択肢は、プロンプト 8+1 の公式の別の要素に関連しています。

第 58 問

プロンプト 8+1 の公式において、形容詞と副詞はどのような役割を果たしますか？

- A : AI の出力形式を指定する
- B : AI にペルソナを設定する
- C : AI に参考情報を提供する
- D : AI の出力の質、トーン、スタイルを詳細に制御する

正解

D

解説：プロンプト 8+1 の公式において、形容詞と副詞は名詞と動詞を修飾することで、AI の出力の質、トーン、スタイルをより詳細に制御し、望ましいアウトプットを生成させる役割を果たします。これにより、AI の出力をより細かく調整することができます。他の選択肢は、プロンプト 8+1 の公式の別の要素に関連しています。

第 59 問

プロンプト 8+1 の公式において、「+1」は何を指しますか？

- A : 前提条件
- B : ペルソナ設定
- C : 追加指示
- D : 文体指定

正解

C

解説：プロンプト 8+1 の公式において、「+1」は追加指示を指します。これは最初のアウトプットに対して、より詳細な指示や修正を伝えることで、出力の精度を段階的に向上させるものです。追加指示を行うことで、AI との対話を重ね、より理想的なアウトプットに近づけることができます。他の選択肢は、プロンプト 8+1 の公式の 8 つの要素に含まれていません。

第 60 問

前提条件を設定することの主な目的は何ですか？

- A : AI の処理速度を向上させる
- B : AI にタスクの全体像を理解させる
- C : AI の出力形式を指定する
- D : AI の文体を決定する

正解 B

解説：前提条件の主な目的は、AI にタスクの全体像を理解させることです。タイトル、依頼者、前提知識、目的などを明確に示すことで、AI はタスクの方向性や背景を把握し、より適切なアウトプットを生成することができます。他の選択肢は、前提条件の主な目的とは異なる機能や効果を示しています。

第 61 問

前提条件が不必要な場合として、適切でないものはどれですか？

- A : 句読点の修正
- B : 創造性の高いアウトプットを求める場合
- C : 誤字脱字の修正
- D : 文章の要約

正解 B

解説：創造性の高いアウトプットを求める場合は、前提条件が必要です。詩、キャッチコピー、アイデア出しなど、創造性を必要とするタスクの場合、前提条件によって方向性や制約を与えることで、AI がよりユニークで質の高いアウトプットを生み出すことができます。一方、句読点の修正、誤字脱字の修正、文章の要約などのシンプルなタスクでは、前提条件は基本的に不要です。

第 62 問

前提条件の例として適切なものはどれですか？

- A : 出力フォーマットの指定
- B : 文体の指定
- C : 依頼者情報の提供
- D : 追加指示の提示

正解 C

解説：依頼者情報の提供は、前提条件の適切な例です。前提条件には、タイトル、依頼者情報、前提知識などが含まれます。例えば、「依頼者情報：感謝の気持ちを伝えたい夫」のように、依頼者の状況や目的を示すことで、AI はタスクの背景を理解し、より適切なアウトプットを生成することができます。出力フォーマットの指定、文体の指定、追加指示の提示は、プロンプト 8+1 の公式の別の要素に該当します。

第 63 問

読み手ペルソナを設定する主な目的は何ですか？

- A : AI の処理速度を向上させる
- B : AI により適切な情報を生成させる
- C : AI の出力形式を指定する
- D : AI の学習データを増やす

正解

B

解説：読み手ペルソナを設定する主な目的は、AI により適切な情報を生成させることです。読み手の属性や特徴を具体的に設定することで、AI はその読者に響くような表現や内容でアウトプットを生成することができます。これにより、AI の出力の精度が向上し、読み手のニーズや興味関心に合致した、より適切な情報を生成できるようになります。

第 64 問

読み手ペルソナを設定することのメリットとして、適切でないものはどれですか？

- A : AI の出力の精度向上
- B : 共感性の高い文章の生成
- C : AI の処理速度の向上
- D : 効果的なコミュニケーションの実現

正解

C

解説：読み手ペルソナの設定は、AI の処理速度の向上とは直接関係がありません。一方で、AI の出力の精度向上、共感性の高い文章の生成、効果的なコミュニケーションの実現は、読み手ペルソナを設定することの主要なメリットです。これらにより、読み手のニーズや感情に寄り添った、より適切で効果的な情報発信が可能になります。

第 65 問

読み手ペルソナの設定項目として、適切でないものはどれですか？

- A : 基本情報（年齢、性別、職業など）
- B : 興味関心
- C : AI の処理能力
- D : 期待すること

正解

C

解説：AI の処理能力は、読み手ペルソナの設定項目としては適切ではありません。読み手ペルソナは、アウトプットの対象となる仮想の読者像を設定するものであり、AI の性能とは関係ありません。一方、基本情報（年齢、性別、職業など）、興味関心、期待することは、読み手ペルソナの重要な設定項目です。これらの情報を設定することで、AI はより具体的な読者像を理解し、適切なアウトプットを生成することができます。

第 66 問

書き手ペルソナを設定する主な目的は何ですか？

- A : AI に特定の役割や個性を持たせる
- B : AI により適切な情報を収集させる
- C : AI の処理速度を向上させる
- D : AI の学習データを増やす

正解 A

解説：書き手ペルソナを設定する主な目的は、AI に特定の役割や個性を持たせることです。書き手の趣味や性格、文章スタイルとトーン、感情表現などを設定することで、AI はその書き手らしい表現や内容でアウトプットを生成することができます。これにより、特定の視点や専門性を持った文章を生成したり、ブランドイメージに合致した情報発信を行ったりすることが可能になります。

第 67 問

参考情報を与える主な目的は何ですか？

- A : AI の処理速度を向上させる
- B : AI の知識を補完し、アウトプットの方向性を定める
- C : AI の出力形式を指定する
- D : AI の文体を決定する

正解 B

解説：参考情報を与える主な目的は、AI の知識を補完し、アウトプットの方向性を定めることです。具体的な背景知識や追加情報を提供することで、AI はより正確で的確な情報を引き出し、具体的な回答や解決策を生成することができます。これにより、AI の出力の精度が向上し、より質の高いアウトプットを得ることができます。

第 68 問

参考情報として利用できる情報の種類として、適切でないものはどれですか？

- A : キーワード
- B : データ
- C : AI の内部構造
- D : ウェブサイトの URL

正解 C

解説：AI の内部構造は、参考情報として利用するのに適切ではありません。参考情報は、AI に与える背景知識や追加情報のことを指し、キーワード、データ、ウェブサイトの URL などが含まれます。これらの情報はAI がタスクを理解し、適切なアウトプットを生成するのに役立ちますが、AI の内部構造はユーザーがプロンプトとして提供する情報ではありません。

第 69 問

参考情報を活用する際の注意点として、適切でないものはどれですか？

- A：関連性の高い情報を提供する
- B：情報の信頼性を確認する
- C：できるだけ多くの情報を提供する
- D：最新の情報を与える

正解 C

解説：できるだけ多くの情報を提供することは、必ずしも適切ではありません。情報量が多すぎると AI の処理能力を超える可能性があり、逆に質の低いアウトプットにつながる可能性があります。一方で、関連性の高い情報を提供すること、情報の信頼性を確認すること、最新の情報を与えることは、参考情報を活用する際の重要な注意点です。これらに注意することで、AI はより適切で信頼性の高いアウトプットを生成することができます。

第 70 問

プロンプトにおいて、名詞の役割は何ですか？

- A：AI に具体的な行動を指示する
- B：AI の出力の質を制御する
- C：指示の対象や内容を定める
- D：AI の文体を指定する

正解 C

解説：名詞は、プロンプトの中で「何を」対象とするかを明確にする役割を担います。指示の対象となる物、事柄、概念などを具体的に示すことで、AI が何について考え、どのような情報を出力すべきかを理解するのに役立ちます。動詞が AI に具体的な行動を指示するのに対し、名詞はその行動の対象を定めるという重要な役割を果たします。

第 71 問

プロンプトにおいて、動詞の役割は何ですか？

- A：AI に具体的な行動を指示する
- B：AI の出力の質を制御する
- C：指示の対象や内容を定める
- D：AI の文体を指定する

正解 A

解説：動詞は、プロンプトの中で AI に「どのように」行動するかを指示する役割を担います。AI に実行させたい具体的なアクションを動詞で示すことで、AI がどのような処理を行い、どのような形式でアウトプットを生成すべきかを理解するのに役立ちます。名詞が指示の対象を定めるのに対し、動詞はその対象に対してどのような行動を取るべきかを指示するという重要な役割を果たします。

第 72 問

プロンプトにおいて、名詞と動詞を適切に組み合わせることの効果は何ですか？

- A : AI の処理速度が向上する
- B : AI の学習データが増える
- C : AI への指示がより具体的で明確になる
- D : AI の文体が自動的に決定される

正解 C

解説：名詞と動詞を適切に組み合わせることで、AI への指示はより具体的で明確になります。名詞で指示の対象を定め、動詞で具体的な行動を指示することで、AI はより正確に指示を理解し、意図した通りのアウトプットを生成することができます。これにより、AI とのコミュニケーションがより効果的になり、期待通りの結果を得やすくなります。

第 73 問

プロンプトにおいて、「具体的な名詞」を使うことが重要な理由は何ですか？

- A : AI の処理速度を向上させるため
- B : AI の学習データを増やすため
- C : AI が指示対象を明確に把握し、よりの確なアウトプットを生成できるようにするため
- D : AI の文体を自動的に決定するため

正解 C

解説：「具体的な名詞」を使うことが重要な理由は、AI が指示対象を明確に把握し、よりの確なアウトプットを生成できるようにするためです。曖昧な名詞を使用すると、AI は指示内容を正確に理解できず、期待通りのアウトプットが得られない可能性があります。具体的な名詞を使用することで、AI は指示対象を明確に理解し、より質の高い、的確なアウトプットを生成することができます。

第 74 問

形容詞と副詞の主な役割は何ですか？

- A : AI に具体的な行動を指示する
- B : AI の出力形式を指定する
- C : AI にタスクの全体像を理解させる
- D : AI の出力の質、トーン、スタイルを詳細に制御する

正解 D

解説：形容詞と副詞の主な役割は、AI の出力の質、トーン、スタイルを詳細に制御することです。形容詞は名詞を、副詞は動詞や形容詞を修飾し、AI への指示をより具体的かつ詳細にします。これにより、出力結果の質、トーン、スタイルなどをきめ細かくコントロールし、より望ましいアウトプットを生成させることができます。

第 75 問

形容詞と副詞を使用することで期待できる効果として、適切でないものはどれですか？

- A：出力の具体化
- B：AI の処理速度の向上
- C：出力の質の向上
- D：トーンとスタイルのコントロール

正解 B

解説：形容詞と副詞の使用は、AI の処理速度の向上とは直接関係がありません。一方で、出力の具体化、出力の質の向上、トーンとスタイルのコントロールは、形容詞と副詞を使用することで期待できる主要な効果です。これらの効果により、AI はより具体的で質の高い、適切なトーンとスタイルを持つアウトプットを生成することができます。

第 76 問

形容詞と副詞を選ぶ際の注意点として、適切でないものはどれですか？

- A：具体的で明確な表現を選ぶ
- B：目的に合った表現を選ぶ
- C：できるだけ多くの形容詞と副詞を使用する
- D：効果的な組み合わせを考える

正解 C

解説：できるだけ多くの形容詞と副詞を使用することは、適切な注意点ではありません。形容詞や副詞を使いすぎると、指示が冗長になり、AI が指示を理解しにくくなる場合があります。代わりに、具体的で明確な表現を選ぶ、目的に合った表現を選ぶ、効果的な組み合わせを考えるなど、必要な表現を厳選して使用することが重要です。

第 77 問

形容詞と副詞の使用例として、適切でないものはどれですか？

- A：「詳細な市場分析を効率的に行ってください。」
- B：「魅力的なキャッチコピーを創造的に考えてください。」
- C：「フォーマルな手紙を丁寧に作成してください。」
- D：「できるだけ多くの形容詞と副詞を使って文章を書いてください。」

正解 D

解説：「できるだけ多くの形容詞と副詞を使って文章を書いてください。」という指示は適切ではありません。形容詞と副詞は適切に使用することが重要であり、単に数を増やすことが目的ではありません。一方、他の選択肢ではそれぞれ形容詞や副詞を的確に用いており、指示や依頼の内容が具体的かつ明確に示されています。

第 78 問

出力形式とは、AI が生成するアウトプットの何を指定するものですか？

- A：内容の正確性
- B：文章の長さ
- C：構造や表現方法
- D：処理速度

正解 C

解説：出力形式とは、AI が生成するアウトプットの構造や表現方法を指定するものです。これにより、情報がより見やすく、理解しやすくなり、利用目的に合致したアウトプットを得ることができます。内容の正確性、文章の長さ、処理速度は出力形式の主な目的ではありません。

第 79 問

出力形式を指定する際、通常どのように記述しますか？

- A：「〇〇の内容で出力してください」
- B：「〇〇の形式で出力してください」
- C：「〇〇の速度で出力してください」
- D：「〇〇の長さで出力してください」

正解 B

解説：出力形式を指定する際は、通常「〇〇の形式で出力してください」のように記述します。例えば、「箇条書きで出力してください」「表形式でまとめてください」といった具合です。これにより、AI に対して具体的な出力形式を指示し、目的に合ったアウトプットを得ることができます。

第 80 問

以下のうち、出力形式の例として適切でないものはどれですか？

- A：ストーリー形式
- B：会話形式
- C：AI 形式
- D：Q&A 形式

正解 C

解説：AI 形式は出力形式の適切な例ではありません。ストーリー形式、会話形式、Q&A 形式はすべて有効な出力形式の例です。これらの形式は、情報を特定の方法で構造化または表現するために使用されます。AI 形式という特定の形式は存在せず、AI は様々な形式で出力を生成することができます。

第 81 問

出力形式を選ぶ際に考慮すべきポイントとして、適切でないものはどれですか？

- A：情報の性質
- B：利用目的
- C：読み手の特性
- D：AI の処理能力

正解 D

解説：AI の処理能力は、出力形式を選ぶ際の主要な考慮点ではありません。情報の性質、利用目的、読み手の特性は、出力形式を選ぶ際に重要な考慮点です。これらのポイントを考慮することで、伝えたい情報の種類や量、アウトプットの使用目的、読み手の理解しやすさに合わせた適切な出力形式を選択することができます。

第 82 問

次のうち、出力形式の例として適切でないものはどれですか？

- A：表形式
- B：スクリプト形式
- C：学習形式
- D：日記形式

正解 C

解説：学習形式は出力形式の適切な例ではありません。表形式、スクリプト形式、日記形式はすべて有効な出力形式の例です。これらの形式は、特定の目的や情報の性質に応じて選択され、AI が生成するアウトプットの構造や表現方法を定義します。学習形式は AI の処理方法に関するものであり、出力形式とは異なる概念です。

第 83 問

出力フォーマットとは、AI に生成させたいアウトプットの何を指定するものですか？

- A：内容の正確性
- B：文章の長さ
- C：具体的な構造やレイアウト
- D：処理速度

正解 C

解説：出力フォーマットは、AI に生成させたいアウトプットの具体的な構造やレイアウトを指定するものです。これは AI のための「目次」や「設計図」のような役割を果たし、AI がどのような内容を、どのような順番で、どのような形式で書けば良いかを理解させるのに役立ちます。内容の正確性、文章の長さ、処理速度は出力フォーマットの主な目的ではありません。

第 84 問

出力フォーマットの指定方法として、適切でないものはどれですか？

- A：構造を説明する
- B：文章構造を明確に見せる
- C：AI の内部構造を指定する
- D：表形式で示す

正解 C

解説：AI の内部構造を指定することは、出力フォーマットの適切な指定方法ではありません。構造を説明する、文章構造を明確に見せる、表形式で示すなどは、有効な出力フォーマットの指定方法です。これらの方法を用いることで、AI に具体的なアウトプットの構造やレイアウトを理解させ、より意図に沿ったアウトプットを生成させることができます。

第 85 問

出力フォーマットを活用する際の注意点として、適切でないものはどれですか？

- A：目的との適合性を確認する
- B：情報の過不足に注意する
- C：AI の理解度を考慮する
- D：できるだけ複雑なフォーマットを使用する

正解 D

解説：できるだけ複雑なフォーマットを使用することは、適切な注意点ではありません。複雑すぎる構造や専門用語はAI の理解を妨げる可能性があります。代わりに、目的との適合性を確認する、情報の過不足に注意する、AI の理解度を考慮するなど、AI が理解しやすく、目的に合ったフォーマットを選択することが重要です。

第 86 問

出力フォーマットの指定例として、適切でないものはどれですか？

- A：AI の学習アルゴリズムを指定する
- B：物語の展開を箇条書きで示す
- C：商品紹介文の必要な要素をリストアップする
- D：手紙のフォーマットを指定する

正解 A

解説：AI の学習アルゴリズムは、出力フォーマットの指定ではなく、AI システムの内部処理に関する指示であるため、不適切です。

第 87 問

文体指定とは、AI が生成するテキストの何を具体的に指示するものですか？

- A：内容の正確性
- B：文章の長さ
- C：表現方法
- D：処理速度

正解 C

解説：文体指定とは、AI が生成するテキストの表現方法を具体的に指示することです。これにより、単に「何を書くか」だけでなく、「どのように書くか」を AI に伝え、目的に適った文章を生成することができます。文体指定によって、読み手に合わせた適切な表現の選択、文章の印象や雰囲気のコントロール、メッセージの効果的な伝達が可能になります。

第 88 問

文章スタイルと文章トーンの違いについて、正しい説明はどれですか？

- A：文章スタイルは「どう書くか」、文章トーンは「どんな感じで書くか」を指す
- B：文章スタイルは「どんな感じで書くか」、文章トーンは「どう書くか」を指す
- C：文章スタイルと文章トーンは同じ意味である
- D：文章スタイルは AI の処理方法、文章トーンは出力の形式を指す

正解 A

解説：文章スタイルは「どう書くか」、つまり文章の「構造」や「型」を指し、情報をどのように組み立てて伝えるかという方法論に関わります。一方、文章トーンは「どんな感じで書くか」、つまり文章の「調子」や「雰囲気」を指し、どのような印象を与えるかという感情的な側面に関わります。この2つは異なる要素であり、適切に使い分けることでより効果的な文章生成が可能になります。

第 89 問

文章スタイルの例として、適切でないものはどれですか？

- A：説明的
- B：説得的
- C：感情的
- D：技術的

正解 C

解説：感情的は文章スタイルの例としては適切ではありません。感情的な表現は文章トーンに関連するものです。一方、説明的、説得的、技術的は有効な文章スタイルの例です。これらのスタイルは、情報の伝達方法や文章の目的に応じて選択されます。例えば、説明的スタイルは客観的な事実を正確に伝えるために、説得的スタイルは読み手の行動や考えに影響を与えるために、技術的スタイルは専門的な情報を正確に伝えるために使用されます。

第 90 問

文章トーンのバリエーションとして、適切でないものはどれですか？

- A：フォーマル
- B：中立
- C：論理的
- D：ユーモラス

正解 C

解説：論理的は文章トーンのバリエーションとしては適切ではありません。論理的であることは文章の構造や内容に関わるものであり、文章スタイルに近いものです。一方、フォーマル、中立、ユーモラスは有効な文章トーンのバリエーションです。これらのトーンは、文章の「調子」や「雰囲気」を表現するために使用されます。

第 91 問

追加指示とは、AI が生成した最初のアウトプットに対して何を行うものですか？

- A：AI の処理速度を向上させる
- B：より詳細な指示や修正を伝える
- C：AI の学習データを増やす
- D：AI の出力形式を変更する

正解 B

解説：追加指示は、AI が生成した最初のアウトプットに対して、より詳細な指示や修正を伝えるものです。これにより、出力の精度を段階的に向上させることができます。AI との対話を重ねることで、より理想的なアウトプットに近づけることが可能になります。追加指示は処理速度の向上や学習データの増加、出力形式の変更を直接的な目的としているわけではありません。

第 92 問

追加指示の例として、適切でないものはどれですか？

- A：「〇〇について、より詳細な情報を加えてください。」
- B：「焦点を〇〇に合わせて、改めて説明してください。」
- C：「AI の内部構造を変更してください。」
- D：「〇〇という観点で、結論をもう一度明確に提示してください。」

正解 C

解説：「AI の内部構造を変更してください。」は適切な追加指示の例ではありません。AI の内部構造の変更はユーザーが直接指示できるものではなく、また追加指示の目的とも異なります。一方、他の選択肢はすべて適切な追加指示の例です。これらの指示は、情報の追加、焦点の調整、結論の明確化などを求めるもので、AI のアウトプットの質を向上させるのに役立ちます。

第 93 問

追加指示を行う際の注意点として、適切でないものはどれですか？

- A : 具体的な指示を与える
- B : AI の処理能力を考慮する
- C : できるだけ多くの追加指示を一度に与える
- D : 目的に沿った指示を与える

正解 C

解説：できるだけ多くの追加指示を一度に与えることは適切な注意点ではありません。多すぎる指示は AI を混乱させる可能性があり、効果的なアウトプットの改善につながらない可能性があります。代わりに、具体的な指示を与える、AI の処理能力を考慮する、目的に沿った指示を与えるなど、質の高い追加指示を段階的に行うことが重要です。これにより、AI のアウトプットを効果的に改善することができます。

第 94 問

追加指示の効果として、適切でないものはどれですか？

- A : AI の学習速度の向上
- B : AI とのコミュニケーションの改善
- C : アウトプットの精度向上
- D : より理想的なアウトプットへの接近

正解 A

解説：AI の学習速度の向上は、追加指示の直接的な効果ではありません。追加指示は個々のタスクにおけるアウトプットの改善を目的としており、AI のトレーニングや学習プロセスそのものには影響を与えません。一方、AI とのコミュニケーションの改善、アウトプットの精度向上、より理想的なアウトプットへの接近は、追加指示の適切な効果です。

第 95 問

プロンプト 8+1 の公式を使用する主な目的は何ですか？

- A : AI の処理速度を向上させる
- B : AI との効果的なコミュニケーションを実現する
- C : AI の学習データを増やす
- D : AI のエネルギー効率を改善する

正解 B

解説：プロンプト 8+1 の公式を使用する主な目的は、AI との効果的なコミュニケーションを実現することです。この公式は、AI に明確で具体的な指示を与えるためのフレームワークであり、AI が期待通りのアウトプットを生成するのを助けます。これにより、AI の能力を最大限に引き出し、高精度なアウトプットを得ることができます。処理速度の向上、学習データの増加、エネルギー効率の改善は、この公式の主な目的ではありません。

4. プロンプト応用編

第 96 問

変数を使うことで得られる主なメリットは何ですか？

- A：データの永続的な保存
- B：プログラムの実行速度の向上
- C：繰り返し利用される値の効率的な管理
- D：ハードウェアリソースの節約

正解

C

解説：変数を使うことの主なメリットは、繰り返し利用される値を効率的に管理できることです。同じ値を何度も使う場合、その値を変数に保存しておき、変数名を使って参照することで、プロンプトを簡潔にできます。また、値を柔軟に変更できるようにすることも変数の重要な役割です。選択肢 A、B、D は変数の主なメリットとして適切ではありません。

第 97 問

プロンプトにおける変数設定の基本的な形式は次のうちどれですか？

- A：変数名 → " 値 "
- B：名称 = " 値 "
- C：{ 名称 } = 値
- D：変数 := " 値 "

正解

B

解説：プロンプトにおける変数設定の基本的な形式は「名称 = " 値 "」です。例えば、「テーマ = " トマト "」と設定すると、「テーマ」という名前の変数に「トマト」という値が保存されます。他の選択肢は正しい変数設定の形式ではありません。

第 98 問

プロンプト内で変数を使用する際の正しい記述方法は次のうちどれですか？

- A：(名称)
- B：[名称]
- C：{ 名称 }
- D：< 名称 >

正解

C

解説：プロンプト内で変数を使用する際は、変数名を波括弧で囲みます。つまり、「{ 名称 }」の形式で記述します。例えば、「{ テーマ } について教えてください。」と指示すると、生成 AI は変数「テーマ」に保存された値を認識します。他の括弧の使用は正しくありません。

第 99 問

変数を使用することによるプロンプトの主なメリットは何ですか？

- A：プロンプトの実行速度が向上する
- B：プロンプトの再利用性と柔軟性が向上する
- C：プロンプトの文字数を増やせる
- D：プロンプトの暗号化が可能になる

正解 B

解説：変数を使用することの主なメリットは、プロンプトの再利用性と柔軟性が向上することです。同じプロンプトを異なる値で使用したり、プロンプト内の複数箇所で同じ値を簡単に変更したりできます。これにより、プロンプトの管理が容易になり、効率的に作業を進めることができます。選択肢 A、C、D は変数使用の主なメリットではありません。

第 100 問

変数名を設定する際の重要なポイントは何ですか？

- A：できるだけ短い名前をつける
- B：数字だけの名前をつける
- C：意味を持たせた名前をつける
- D：すべて大文字で書く

正解 C

解説：変数名を設定する際の重要なポイントは、変数名に意味を持たせることです。変数名に意味を持たせることで、指示の文脈が明確になり、生成 AI の出力の精度が向上します。例えば、「テーマ = "トマト"」という変数設定は、単に「変数 1 = "トマト"」とするよりも指示の内容が明確になります。意味のない名前や、単純な短縮形は避けるべきです。

第 101 問

生成 AI を段階的に使うことの主なメリットは何ですか？

- A：処理速度が向上する
- B：出力の精度と制御性が高まる
- C：データの保存容量が増える
- D：AI の学習効率が上がる

正解 B

解説：生成 AI を段階的に使うことの主なメリットは、出力の精度と制御性が高まることです。段階的なプロンプトの使用により、各段階の出力を細かく制御でき、最終的な結果をより洗練させることができます。また、複雑なタスクを小さな部分に分解することで、AI がより理解しやすくなり、全体的な精度の向上につながります。

第 102 問

段階的なプロンプト使用を「ケーキ作り」に例えた場合、一気に作る方法と比べてどのような利点がありますか？

- A：材料費が安くなる
- B：調理時間が短縮される
- C：各工程を細かく制御できる
- D：より大きなケーキが作れる

正解

C

解説：段階的なプロンプト使用を「ケーキ作り」に例えた場合、各工程を細かく制御できることが主な利点です。例えば、スポンジ、クリーム、デコレーションなど、各段階で細かい指示を出すことができ、それぞれの部分を個別に調整することが可能になります。これにより、最終的な出力（ケーキ）の品質を高め、意図した結果に近づけることができます。

第 103 問

段階的なプロンプト使用において、変数を活用する主な目的は何ですか？

- A：AI の処理速度を上げるため
- B：前の段階の出力を次の段階の入力に用いるため
- C：プロンプトの文字数を減らすため
- D：AI の学習データを増やすため

正解

B

解説：段階的なプロンプト使用において、変数を活用する主な目的は、前の段階の出力を次の段階の入力に用いるためです。これにより、各段階の結果を踏まえて次の指示を調整でき、最終的な出力をより洗練させることができます。また、複雑なタスクを小さな部分に分解し、それぞれの結果を変数として保存することで、全体的な精度の向上にもつながります。

第 104 問

段階的なプロンプト使用の利点として、出力結果が思わしくない時に得られるメリットは何ですか？

- A：AI が自動的に修正してくれる
- B：修正改善がしやすくなる
- C：出力結果が常に完璧になる
- D：修正の必要がなくなる

正解

B

解説：段階的なプロンプト使用の利点として、出力結果が思わしくない時に修正改善がしやすくなることが挙げられます。一度にすべての指示を出す場合と比べ、どの部分を修正すべきか特定しやすくなり、修正の手間を減らすことができます。例えば、特定の段階の出力だけを調整することで、全体の結果を改善できるため、効率的に望む結果に近づけることができます。

第 105 問

段階的なプロンプト使用を「ケーキ作り」に例えた場合、スポンジが硬かった時の対処方法として最も適切なのは次のうちどれですか？

- A：ケーキ全体を作り直す
- B：クリームを変更する
- C：スポンジ作りの段階のみを修正する
- D：デコレーションを増やす

正解

C

解説：段階的なプロンプト使用を「ケーキ作り」に例えた場合、スポンジが硬かった時は、スポンジ作りの段階のみを修正するのが最も適切です。例えば、「よりふわふわのスポンジを作ってください」とプロンプトを修正することで、スポンジの質だけを改善できます。この方法では、クリームやデコレーションなど、他の部分は変更せずに再利用できるため、効率的に問題を解決できます。全体を作り直したり、関係ない部分を変更したりする必要はありません。

第 106 問

生成 AI に質の高い、独自のアウトプットを生成させるために最も重要なものは何ですか？

- A：AI の処理速度
- B：適切な参考情報の提供
- C：プロンプトの長さ
- D：AI の学習データ量

正解

B

解説：生成 AI に質の高い、独自のアウトプットを生成させるために最も重要なのは、適切な参考情報の提供です。参考情報は生成 AI にとっての「レシピ」のようなもので、AI の出力の方向性を定め、ユーザーの意図を正確に伝えるための羅針盤となります。適切な参考情報があることで、AI はユーザーの具体的なニーズに応え、オリジナリティの高いアウトプットを生成することができます。

第 107 問

参考情報がない場合、生成 AI の出力はどのようになりがちですか？

- A：常に高品質な出力になる
- B：ユーザーの意図に完全に沿った出力になる
- C：ありきたりで一般的な情報になりがちである
- D：全く関係のない情報を出力する

正解

C

解説：参考情報がない場合、生成 AI は自身のトレーニングデータに基づいて出力を作成します。これは、ありきたりで一般的な情報になりがちで、ユーザーの求める独自性やオリジナリティに欠ける結果となる可能性があります。適切な参考情報を提供することで、AI はユーザーの意図に沿った、より具体的でオリジナリティの高いアウトプットを生成することができます。

第 108 問

プロンプトの基本的な構成要素は何ですか？

- A：名詞と動詞
- B：形容詞と副詞
- C：代名詞と接続詞
- D：前置詞と感嘆詞

正解 A

解説：プロンプトの基本的な構成要素は「名詞」と「動詞」です。「〇〇について書いてください」「〇〇を分析してください」といった指示がこれに該当します。しかし、この基本構成だけでは生成 AI が具体的に何をどのように出力すべきかを理解するのは難しいため、参考情報を追加することが重要です。

第 109 問

生成 AI を活用して独自の成果物を生み出すために最も重要な要素は何ですか？

- A：AI の処理能力
- B：プロンプトの長さ
- C：初期の参考情報
- D：出力フォーマットの指定

正解 C

解説：生成 AI を活用して独自の成果物を生み出すために最も重要な要素は、初期の参考情報です。適切な参考情報を提供することで、生成 AI はユーザーの意図を正確に理解し、ユーザーの創造性を最大限に引き出す強力なツールとなります。参考情報は生成 AI の出力の方向性を定め、ありきたりな情報ではなく、ユーザーの求める独自性やオリジナリティのある結果を生成するための重要な要素となります。

第 110 問

参考情報をプロンプトに追加する際、どのような形で追加されますか？

- A：「〇〇のように」
- B：「〇〇に基づいて」
- C：「〇〇を参考に」
- D：「〇〇と同じく」

正解 B

解説：参考情報をプロンプトに追加する際、一般的に「〇〇に基づいて」という形で追加されます。これにより、生成 AI は出力の方向性を定めることができ、ユーザーの意図に沿った結果を生成できるようになります。「〇〇に基づいて」という表現は、AI に対して具体的な参照点を提供し、より精度の高い、ユーザーの期待に沿った出力を促すのに効果的です。

5. プロンプト 8+1 の記載方法

第 111 問

を使った段落分けの主な目的は何ですか？

- A : プロンプトの長さを短くする
- B : AI の処理速度を上げる
- C : プロンプトの可読性を向上させる
- D : AI の回答精度を高める

正解

C

解説：# を使った段落分けの主な目的は、プロンプトの可読性を向上させることです。各要素を # で始まる見出しで区切り、段落分けすることで、プロンプト全体が非常に読みやすくなります。これにより、人間が理解しやすくなり、修正や調整も容易になります。プロンプトエンジニアリングにおいて、可読性の向上は非常に重要なポイントです。

第 112 問

を使った段落分けによって、各要素の明確化がどのように実現されますか？

- A : 各段落に番号をつける
- B : 各段落に見出しをつける
- C : 各段落を色分けする
- D : 各段落を異なるフォントで表示する

正解

B

解説：# を使った段落分けでは、各段落に見出しをつけることで、どの部分がどの要素に対応しているかが明確になります。これにより、9 つの公式に則ってプロンプトを設計する場合、各要素の有無や適切さを確認するのが容易になります。見出しによる構造化は、プロンプトの各部分の役割を明確にする効果的な方法です。

第 113 問

を使った段落分けが再利用性と柔軟性を向上させる理由として、最も適切なものはどれですか？

- A : プロンプトの長さが短くなるから
- B : AI の処理速度が上がるから
- C : 情報と実行指示を分離できるから
- D : プロンプトの見た目が綺麗になるから

正解

C

解説：# を使った段落分けにより、情報と実行指示を分離することができます。例えば、「# 情報 :」セクションでペルソナや参考情報を定義し、「# 実行指示 :」セクションでそれらを参照する構造にすることで、情報の変更が容易になります。これにより、プロンプトの再利用性と柔軟性が向上し、異なる内容に対しても同じ構造のプロンプトを効率的に使用できるようになります。

第 114 問

を使った段落分けの効果として、適切でないものはどれですか？

- A : プロンプトの可読性が向上する
- B : 要素の明確化ができる
- C : 再利用性と柔軟性が向上する
- D : AI の回答生成速度が上がる

正解

D

解説：# を使った段落分けは、プロンプトの可読性向上、要素の明確化、再利用性と柔軟性の向上に効果があります。しかし、AI の回答生成速度を直接的に上げる効果はありません。段落分けは主にプロンプトの構造化と理解のしやすさを改善するものであり、AI の処理速度には直接影響しません。

第 115 問

を使った段落分けにおいて、「# 情報 :」セクションと「# 実行指示 :」セクションを分けることの利点は何ですか？

- A : AI の回答精度が向上する
- B : プロンプトの長さが短くなる
- C : 情報の変更が容易になる
- D : AI の処理負荷が軽減される

正解

C

解説：「# 情報 :」セクションと「# 実行指示 :」セクションを分けること主な利点は、情報の変更が容易になることです。例えば、別の内容の手紙を作成したい場合、「# 情報 :」セクションの内容だけを書き換えれば、「# 実行指示 :」セクションはそのまま流用できます。これにより、プロンプトの再利用性と柔軟性が高まり、効率的なプロンプト設計が可能になります。

第 116 問

プロンプトにおいて、変数名="値" と { 変数名 } の形式は主にどのような目的で使用されますか？

- A : 命令の入力
- B : 情報の入力
- C : 出力形式の指定
- D : AI モデルの選択

正解

B

解説：変数名="値" と { 変数名 } の形式は、主に「情報」の入力に使用されます。この形式を使用することで、背景情報をプロンプト全体で共有し、必要な場所に挿入することができます。これにより、情報の管理が容易になり、プロンプトの柔軟性が向上します。

第 117 問

プロンプトにおいて、# 変数名:値 と [# 変数名] の形式は主にどのような目的で使用されますか？

- A：情報の入力
- B：命令の入力
- C：AI モデルの設定
- D：プロンプトの長さの調整

正解 B

解説：# 変数名:値 と [# 変数名] の形式は、主に「命令（指示）」に使用されます。この形式は、命令の「実行方法」や「出力形式」を指定するためのメタ情報として機能します。AI はこのメタ情報に基づいて出力を調整するため、より精密な指示が可能になります。

第 118 問

2 種類の変数表記を使用することの主な利点は何ですか？

- A：プロンプトの長さを短くできる
- B：情報と命令を明確に分離できる
- C：AI の処理速度を向上させる
- D：プロンプトの見た目を改善する

正解 B

解説：2 種類の変数表記を使用する主な利点は、情報と命令を明確に分離できることです。これにより、AI が何を「情報」として扱い、何を「命令」として解釈すべきか明確になります。結果として、プロンプトの構造が整理され、AI の理解が促進されます。

第 119 問

変数名 =" 値 " の形式で定義された情報は、プロンプト内でどのように機能しますか？

- A：命令として解釈される
- B：背景情報として共有される
- C：出力形式を決定する
- D：AI モデルの設定を変更する

正解 B

解説：変数名 =" 値 " の形式で定義された情報は、プロンプト全体で「背景情報」として共有されます。{ 変数名 } で参照することで、この背景情報を必要な場所に挿入することができます。これにより、情報の一貫性が保たれ、プロンプト全体のコンテキストが維持されます。

第120問

2種類の変数表記を組み合わせることの効果として、最も適切なものはどれですか？

- A：AIの回答速度が向上する
- B：プロンプトの長さが短くなる
- C：情報と命令のコンテキストが明確に分離される
- D：AIモデルの選択が容易になる

正解 C

解説：2種類の変数表記を組み合わせることの主な効果は、情報と命令のコンテキストを明確に分離できることです。これにより、AIがプロンプトを正しく解釈しやすくなります。情報は背景として共有され、命令はメタ情報として機能するため、プロンプトの構造が整理され、AIの理解と適切な応答が促進されます。

第121問

「補足」の段落を追加する主な目的は何ですか？

- A：AIの処理速度を上げる
- B：プロンプトの長さを短くする
- C：AIの出力の精度と安定性を高める
- D：AIの創造性を向上させる

正解 C

解説：「補足」の段落を追加する主な目的は、AIの出力の精度と安定性を高めることです。この段落には、不要な出力の抑制や出力フォーマットの遵守など、AIの挙動を制御するための具体的な指示が含まれています。これにより、AIがより正確で一貫性のある回答を生成することが期待できます。

第122問

「補足」の段落に含まれる指示の中で、不要な出力を抑制するものはどれですか？

- A：出力フォーマットを変更してください
- B：指示の復唱はしないでください
- C：AIモデルを選択してください
- D：プロンプトの長さを調整してください

正解 B

解説：「指示の復唱はしないでください」という指示は、不要な出力を抑制するためのものです。この指示により、AIが与えられた指示を単に繰り返すことを防ぎ、必要な情報のみを出力することが期待されます。これは、出力の簡潔さと効率性を高めるために重要な指示です。

第123問

「補足」の段落にある「自己評価はしないでください」という指示の目的は何ですか？

- A：不要な出力を抑制する
- B：AIの学習能力を向上させる
- C：AIの創造性を高める
- D：出力の長さを調整する

正解 A

解説：「自己評価はしないでください」という指示の目的は、不要な出力を抑制することです。AIが自身の回答の質や適切さについてコメントすることを防ぎ、純粋に要求された情報や回答のみを提供することを意図しています。これにより、出力がより簡潔で焦点の合ったものになります。

第124問

「補足」の段落で、出力フォーマットに関する指示はどのようなものですか？

- A：出力フォーマットを自由に変更してください
- B：出力フォーマットから外れた余計な内容を書かないでください
- C：出力フォーマットを無視してください
- D：出力フォーマットを複数用意してください

正解 B

解説：「補足」の段落では、「出力フォーマットから外れた余計な前置き、結論やまとめは書かないでください」という指示が含まれています。これは、AIが指定された出力フォーマットを厳密に守り、不要な追加情報を含めないようにするための指示です。この指示により、一貫性のある、構造化された回答が得られることが期待されます。

第125問

「補足」の段落を追加することで得られる効果として、最も適切なものはどれですか？

- A：AIの創造性が向上する
- B：プロンプトの長さが短くなる
- C：AIの出力が指定されたフォーマットに従う
- D：AIの処理速度が向上する

正解 C

解説：「補足」の段落を追加することで得られる最も適切な効果は、AIの出力が指定されたフォーマットに従うことです。この段落には、不要な出力の抑制や出力フォーマットの遵守に関する具体的な指示が含まれており、これによりAIは指定されたフォーマットを厳守し、一貫性のあるテキストを生成するようになります。これは、出力の質と使用性を高める上で非常に重要です。

【オンライン検定受験について】

●検定受講料は本誌に含まれています

下記に記載されている専用コードを使うことで、生成AIプロンプト研究所の公式サイトにてオンライン学科検定を受けることができます。

●専用コード KEHA-587168

検定に合格されたら正式な認証と証明書を発行しますので、本書を手に持った状態がわかる形で顔写真を撮影し、下記のURLより送信してください。送信された写真を確認後、正式な認証と証明書を送らせて頂きます。

※顔写真は、一部隠したり不鮮明でも構いません。

●写真送付先URL

生成AIプロンプト研究所 チャプロ <https://chapro.jp/>

ChatGPT Geminai Claude 生成AIプロンプトエンジニア検定 公式テキスト&問題集 [改訂版] 2025年度版

2025年2月15日 初版発行

編集／株式会社ビーパブリッシング

発行・発売／生成AIプロンプト研究所 チャプロ

〒160-0023 新宿区西新宿7-7-30 <https://chapro.jp/>

©Generation AI prompt research center Chapro 2025, Printed in Japan
ISBN 978-4-911384-01-5 C3055

※本書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することを禁じます。